

那珂川町子ども読書活動推進計画 (第3期)



那珂川町教育委員会

令和4年3月

はじめに

子どもの読書離れが危惧されて久しく感じます。さらにインターネットの普及とコンピュータのタブレット化によって読書そのものの形態が変化しつつあります。このような状況の中で本町の子どもたちはどのような読書活動を行っているのでしょうか。

このたび子どもたちの読書活動の現状を把握し今後の読書活動推進のための目標を設定し、目標達成のための施策をまとめた「那珂川町子ども読書活動推進計画」を策定いたしました。これは平成20年度に策定した計画を継承するもので「生涯学習推進計画（2期計画）」の改訂に合わせて策定したものです。

子どもたちは生まれて言葉を覚え文字を操るようになって読書の楽しみを感じてまいります。読書は感性を磨き、創造力を豊かにし人生の幅を広げます。いわば人間としてよりよく生きる力を養うといえるでしょう。そのためにも成長の過程で適切な書物に出会い自分の生き方の糧にすることはとても大切なことと考えます。子どもたちにどのような読書活動を提供するか、どのような環境を整えるかは私たち大人の責務です。

本計画では新たな推進目標と基本方針を設定し「発達段階に応じた推進」「家庭・地域・学校における推進」「啓発・広報」に大別して計画を策定いたしました。さらに那珂川町図書館協議会の協力を得て「子どもたちに読んでほしい本100選」を選定いたしました。また電子図書館の開館に伴って子どもたちの利活用のための環境整備や周知・啓発を図ってまいります。

子どもたちを取り巻く社会環境が劇的に変化する中であっても、子どもたちが主体的に読書に親しむことによってより一層豊かな人生を送り、生きる力の育成となるよう、町全体で推進いたします。最後になりますが、那珂川町図書館協議会委員の皆様をはじめ、子どもの読書活動の推進に携わるすべての関係各位に感謝の意を表するとともに子どもたちの健やかな読書活動を祈念いたします。

令和4年3月

那珂川町教育委員会教育長 吉成 伸也

人生の書 ～誰にでも生き方や心に影響した書物があるものです～

私が薦めるのは松本清張氏の「砂の器」です。教員として心身ともに充実していた時にあらためて気づかされた思い出の書です。物語の後半で容疑者が幼い頃一緒に流浪の旅をした老人に刑事が面会する場面があります。この老人の証言で容疑者を犯人と断定することができる重要な場面です。容疑者の写真を見せられた老人は涙を流しながら嗚咽を繰り返し「知らない」と答えるのです。教員は多くの生徒を教え、「幼い頃」を共有します。しかしながら大人になると自分の幼い頃を思い出したくない、できれば知られたくない、そういう思いを抱いている人もいるのではないかと思います。そのような人にとっては教員は思い出したくない人でもあります。私は「砂の器」を思い出すといつも、決して教員として思い上がってはいけないのだと、自分を戒めておりました。

那珂川町子ども読書活動推進計画

目次

第1章 基本的な考え方	1
第1節 計画の趣旨	
第2節 子どもの読書活動における国・県の推進状況と計画の位置づけ	
第3節 計画の期間	
第4節 計画の対象	
第5節 計画の推進体制と進行管理	
第2章 子どもの読書活動の現状と課題	3
第1節 これまでの成果と課題	
第2節 アンケート調査の結果と分析	
第3節 第3期計画に求められること	
第3章 子ども読書活動推進の基本方針	28
第1節 推進目標	
第2節 計画の基本方針	
第3節 計画の体系	
第4節 推進のための指標	
第4章 子ども読書活動推進のための施策	31
第1節 子どもの発達段階に応じた子どもの読書活動の推進	
第2節 家庭における子どもの読書活動の推進	
第3節 地域における子どもの読書活動の推進	
第4節 学校等における子どもの読書活動の推進	
第5節 子ども読書活動推進のための啓発・広報活動	
資料編	38
資料1 子ども読書活動の推進に関する法律	
資料2 子ども読書活動に関するアンケート調査結果	
資料3 那珂川町図書館協議会委員一覧・計画策定の経過	
資料4 「子どもたちに読んでほしい本100選」「子どもに読んであげたい本」	

第1章 基本的な考え方

第1節 計画の趣旨

子どもの読書活動は、人生をより豊かに生きていく力を身に付けていく上で欠かせないものです。生まれてから言葉を獲得し、自ら言葉に親しみながら言葉の意味を理解していく過程はその後の発達の段階の言語活動の基礎となります。そうした言語活動が読書活動になっていくことによって知性や感性、表現力や創造力が次第に身に付いていくものと考えます。読書を通して得られた力は、豊かでしなやかな心を育み、より深い人生を生きていく力となるでしょう。自ら進んで読書に親しむ子どもを育成することは社会全体の責務と言えます。

本町では、子どもを含めた町民一人一人が自主的で自由な読書活動を行える環境を整備し、本町の子どもたちの読書活動を一層推進するために平成20年度に「那珂川町子ども読書活動推進計画」（第1期計画）を策定し、具体的な施策を推進してまいりました。その後、平成24年度に第2期計画を策定し、一貫して子ども読書活動を推進してきたところです。

令和3年3月に「第2次那珂川町総合振興計画後期基本計画」、「那珂川町教育大綱・教育振興基本計画」の策定により、今後5年間の読書活動の推進が明記されました。これらの計画に基づき、新たに「那珂川町子ども読書活動推進計画（第3期計画）」を策定し、施策と目指すべき指標を示して、那珂川町並びに那珂川町教育委員会が一体となって本町の子ども読書活動の推進に取り組んでまいります。

第2節 子どもの読書活動における国、県の推進状況と計画の位置づけ

国では平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）」が制定されました。この法律は、「子どもの読書活動の推進に関して、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資すること」を目的としています。

また、この法律は、子どもの読書活動の推進に関する基本理念を「子ども（おおむね18歳以下の者）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。」としており、国及び地方公共団体の責務、子ども読書の日等を定めています。

この法律に基づき、平成14年8月に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定され、以降、平成20年3月に第二次基本計画、平成25年5月に第三次基本計画、平成30年4月には第四次基本計画が策定されています。

栃木県においては、平成16年2月に「栃木県子どもの読書活動推進計画」が策定され、その後、平成21年3月に第二期計画、平成26年3月に第三期計画、平成31年3月には第四期計画が策定されています。

本町でも国、県の各計画の策定に基づき、新たに策定した本計画では本町の「第2次那珂川町総合振興計画後期基本計画」「那珂川町教育大綱・教育振興基本計画」「生涯学習推進計画」など上位計画との整合を図りながら基本方針、各施策、指標等について示していくこととします。

第3節 計画の期間

本計画は令和4(2022)年度から令和8(2026)年度までの5年間とします。

	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
国第4次計画	→						
県第4期計画	→						
町後期計画		→					
町教育大綱		→					
町生涯学習計画			→				
第3期読書計画			→				

第4節 計画の対象

本計画の対象は0歳からおおむね18歳までの子どもとします。なお、子どもの発達段階に応じた読書活動を推進することとし、保護者や地域の方々など各年代の子どもにかかわる大人も対象とします。

第5節 計画の推進体制と進行管理

計画の推進にはPDCAサイクルによる進行管理が必要です。そのための推進体制を整備します。年間2回開催される図書館協議会にて各年度の推進状況を確認し、委員の方々からの意見を参考にして計画の改善、修正を行います。また指標の実現状況などについては同協議会や社会教育委員会を経て、教育委員会や総合教育会議においてテーマとして取り上げ必要な施策を定めてまいります。

第2章 子どもの読書活動の現状と課題

第1節 これまでの成果と課題

平成20年度から令和3年度までの子ども読書活動推進の各種施策に対して、那珂川町図書館協議会委員による協議を経て成果と課題についてまとめました。また学校教育の分野については各小中学校の図書館教育担当者の意見、町立図書館の指定管理者による館長はじめ職員の方々の意見を取りまとめています。

成 果

- 1 家庭・地域・学校等の連携と協働による子供が読書に親しむ機会の提供と充実
 - ・幼児期における「読み聞かせ」は浸透している。
 - ・町立図書館で積極的に幼児が読書に親しむ事業を展開している。
 - ・地域ボランティアによる学校での読み聞かせが根付き、若い世代にも広がっている。
- 2 子どもが自主的に読書活動を行うための環境の整備・充実
 - ・文学だけでなくさまざまなジャンルの本についての要求が高まっている。
 - ・町立図書館から学校への定期的な貸し出しにより子どもたちが学校でいつでも本を読める環境が整備されている。
 - ・子どもが初めて本に触れあう体験を大切にしたい事業が進められている。
- 3 子どもの読書活動を支援する人材の育成
 - ・地域ボランティアの募集や研修の機会が確保されている。
 - ・読み聞かせボランティアの活動が充実し、高校生やJVC(ジュニアボランティアズクラブ)が幼児に読み聞かせをする活動も実践されている。
- 4 子どもの読書活動推進の啓発・広報
 - ・「家読(うちどく)」等の実施により、家庭での読書の重要性が保護者に認識されている。
 - ・「図書館だより」や町の広報誌による新着図書案内などを通して広報がなされている。
 - ・町立図書館独自のHPが開設され様々な利用のための啓発がなされている。

課 題

- ① 1か月に全く本を読まなかった子どもの割合(不読率)は県平均に比べて高い。
- ② 学校段階が進むにつれて読書量が減少する傾向がある。
- ③ 読書を好きな子どもを増やすことが必要である。
- ④ 子どもの読書活動を推進するには保護者や家庭の協力が不可欠である。
- ⑤ 電子メディアに接する時間が増えており、本に親しむ時間が少なくなっている。
- ⑥ 子ども・保護者ともに興味をもてる図書の充実や環境づくりを望んでいる。
- ⑦ インターネットやタブレット端末の普及により、「本」の価値観が過渡期にある。
- ⑧ 関係機関と連携を深め、保護者の理解と協力を促していくことが必要である。
- ⑨ 入学祝として図書館の利用者カードを贈るなど図書館の利用者増の取り組みが必要である。
- ⑩ 学校やこども園や図書館が連携して子どもが読書に親しむ事業を充実させる必要がある。
- ⑪ 学校図書館がより有効活用されるよう工夫する必要がある。
- ⑫ 電子メディアを利用した図書の利用について整備し、電子図書の充実が必要である。
- ⑬ 子どもの読書活動の推進とともに大人の読書活動を同時に推進する必要がある。

第2節 アンケート調査の結果と分析

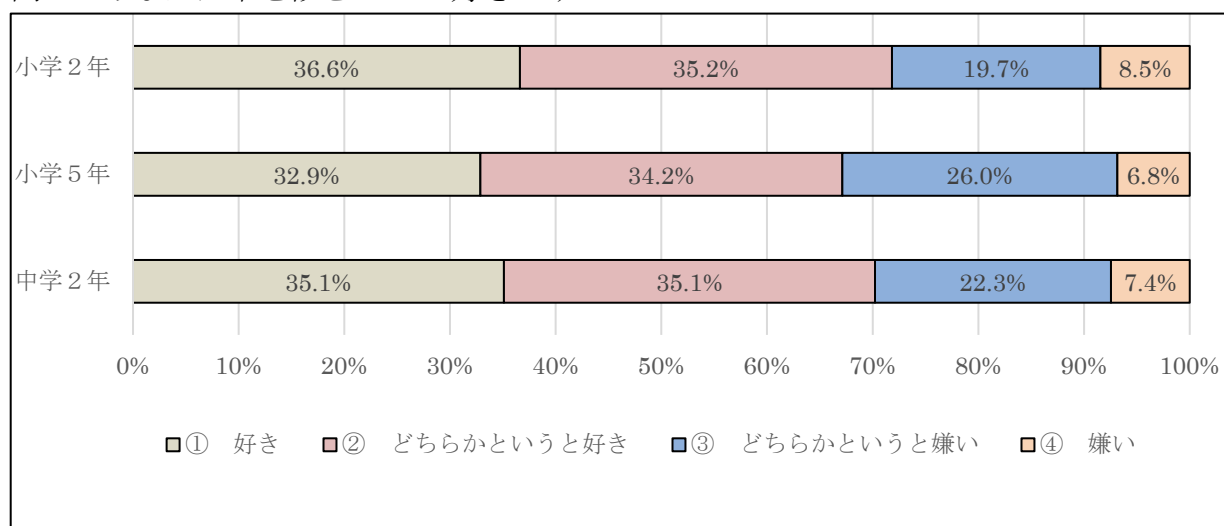
1 アンケートの実施状況

アンケート回収率

対象	配布人数	回収枚数	回収率
小学校2年生	85人	72枚	84.7%
小学校5年生	98人	75枚	76.5%
中学校2年生	99人	94枚	94.9%
小学校保護者 (2・5年生)	149人	139枚	93.2%
中学校保護者 (2年生)	99人	76枚	76.7%
合計	530人	456枚	86.0%

2 小中学生へのアンケート結果と分析 【結果：○ 分析・考察：※ で表示】

問1 あなたは本を読むことが好きですか？

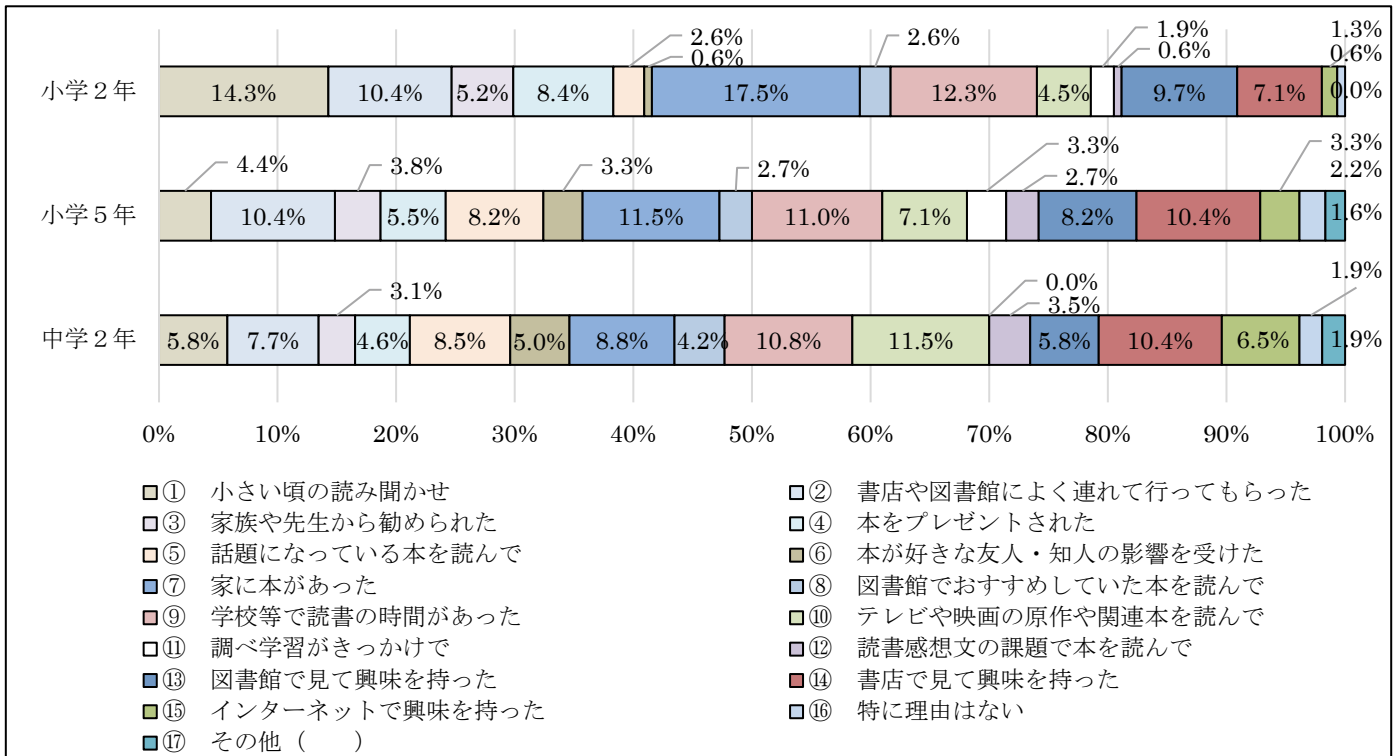


○「好き」「どちらかという人喜欢」の合計は70%程度である。

○小学5年生は「嫌い」「どちらかという人嫌い」が30%を超えている。

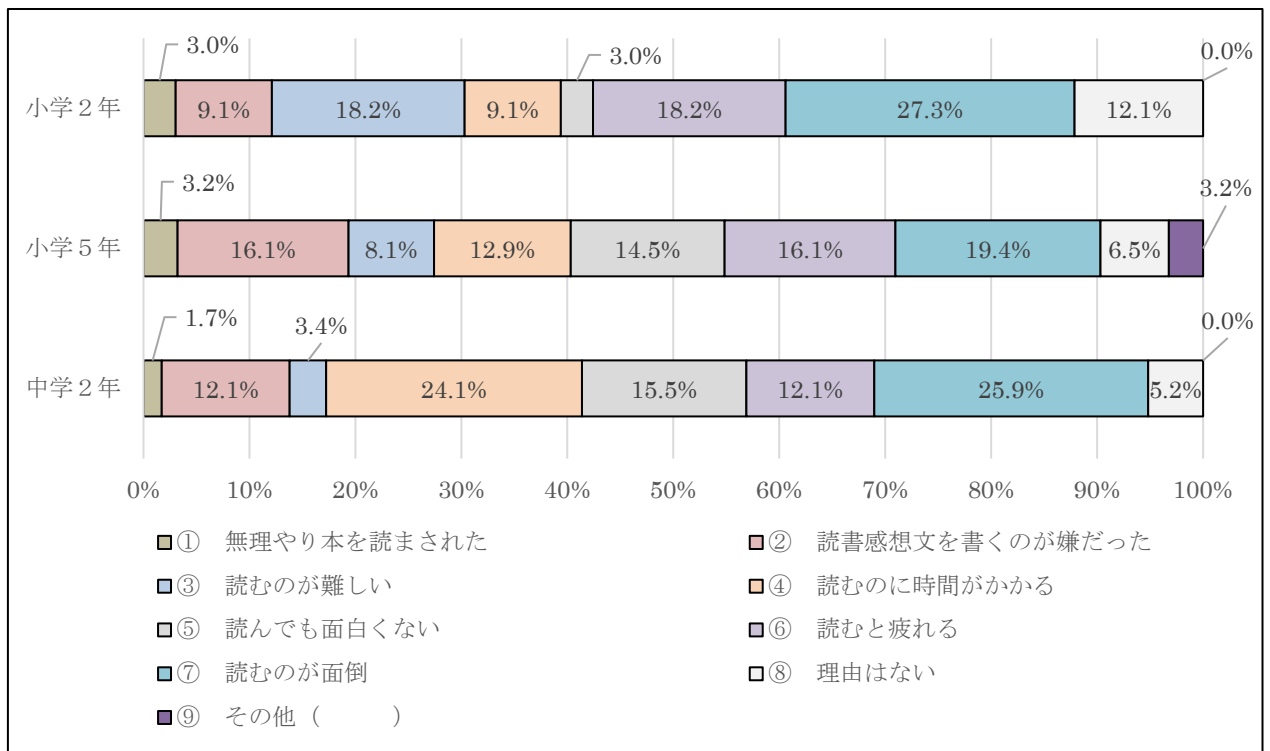
※「嫌い」「どちらかという人嫌い」が30%程度であるので、さらなる本の魅力発信が必要と考える。

問2 本を読むことが好きになったきっかけ



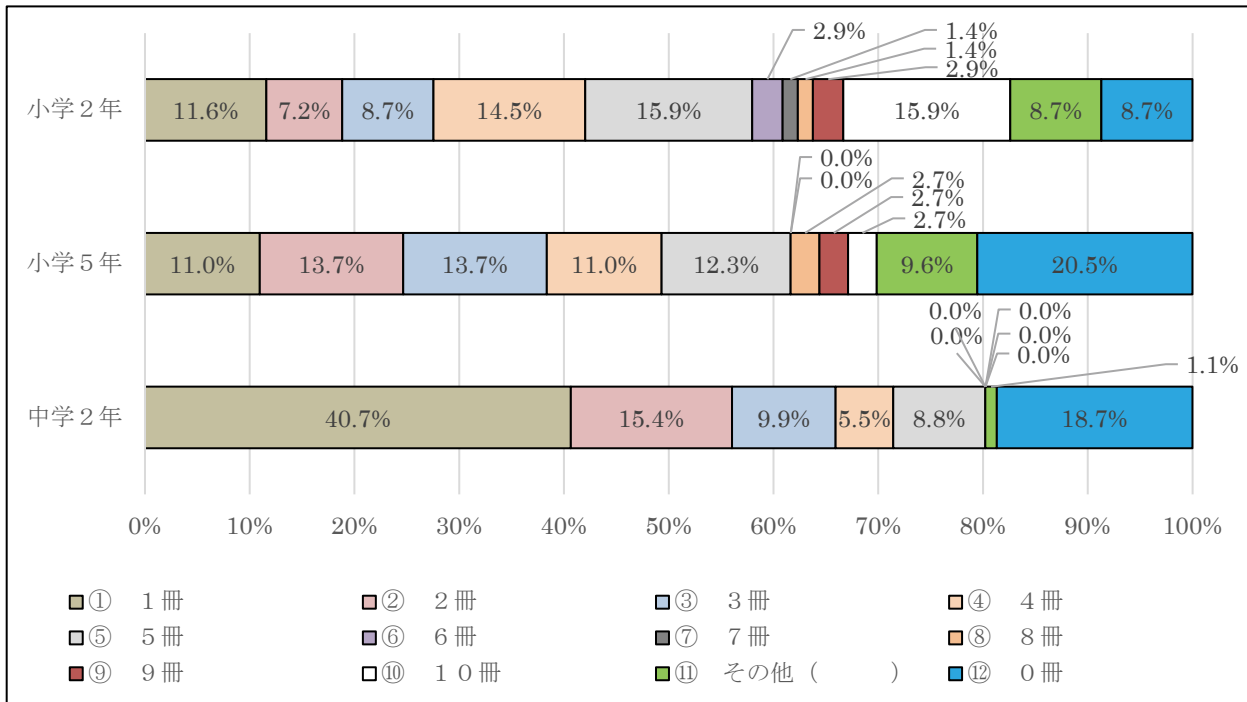
- 小学2年、5年ともに「家に本があった」が最も多かった。
- 全学年で「学校等で読書の時間があった」ことが10%を超えており、本を読むきっかけとなっている。
- ※各年代にあう本を家に置くなどいつでも本を読める環境を作ることが大切である。

問3 本を読むことが嫌いになったきっかけ



- 全学年ともに「読むのが面倒」という回答が最多となった。
- 中学2年では「読むのに時間がかかる」という回答が2番目に多かった。

問4 1か月に何冊の本を読むか

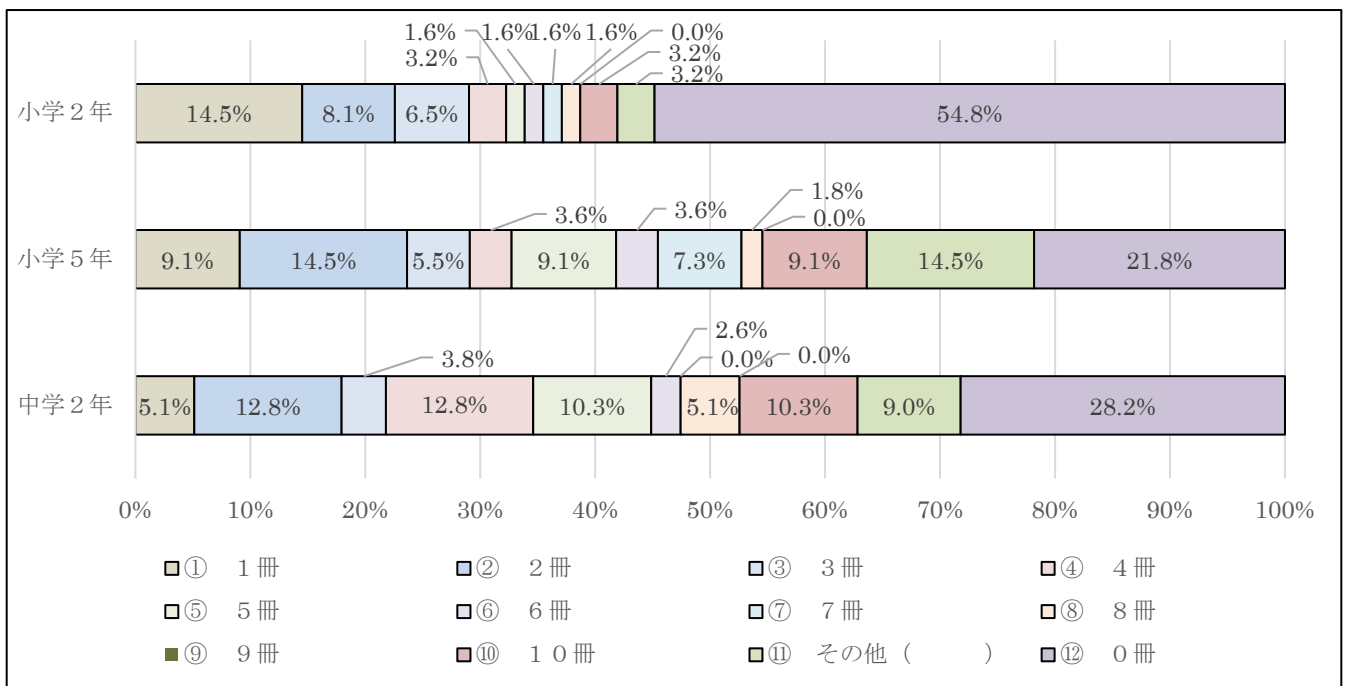


○中学2年で「1か月に1冊本を読む」生徒は40.7%であった。

○「1か月に1冊も本を読まない」と回答した児童生徒は小学2年で8.7%、小学5年で20.5%、中学2年で18.7%であった。

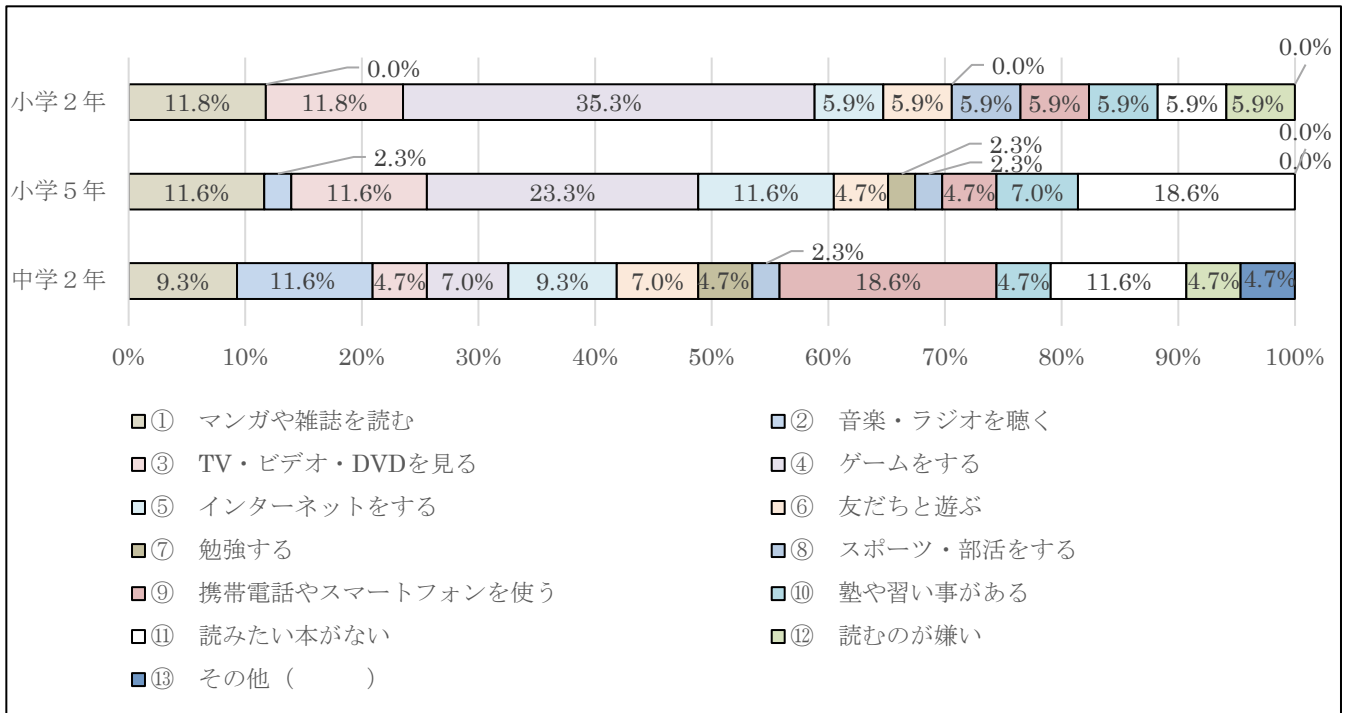
※不読率が増加している。高学年以上の年代へのアプローチを考える必要がある。

問5 1か月に何冊の漫画を読むか



○小学2年の54.8%が「0冊」と回答、中学2年で28.2%となった。

問6 本を読まない理由

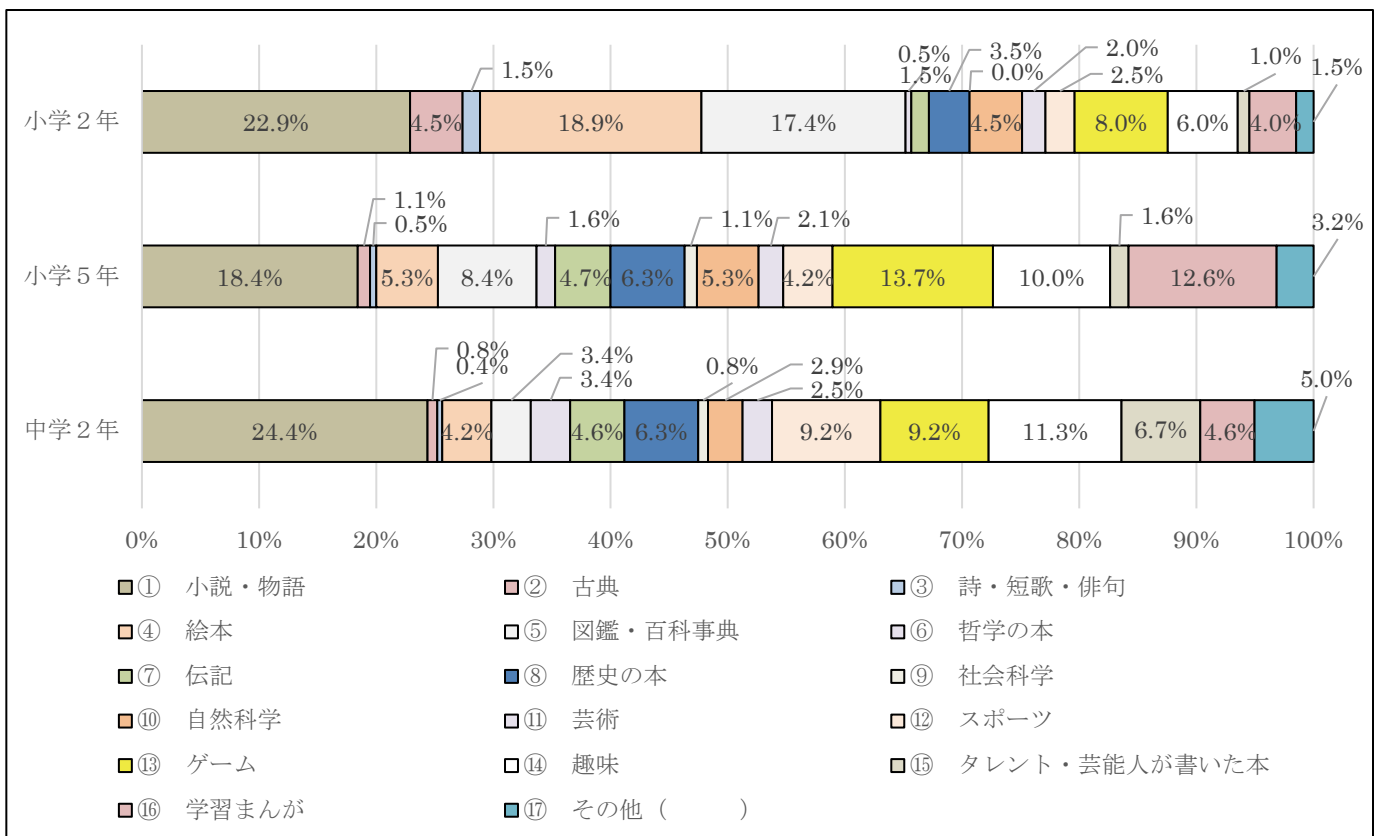


○小学2年、5年で「ゲームをする」が最多であったが、中学2年では「携帯電話やスマートフォンを使う」が最多となった。

○小学5年で「読みたい本がない」と回答した割合が18.6%であった。

※電子メディアの使い方と読書の時間の確保について指導することが大切である。

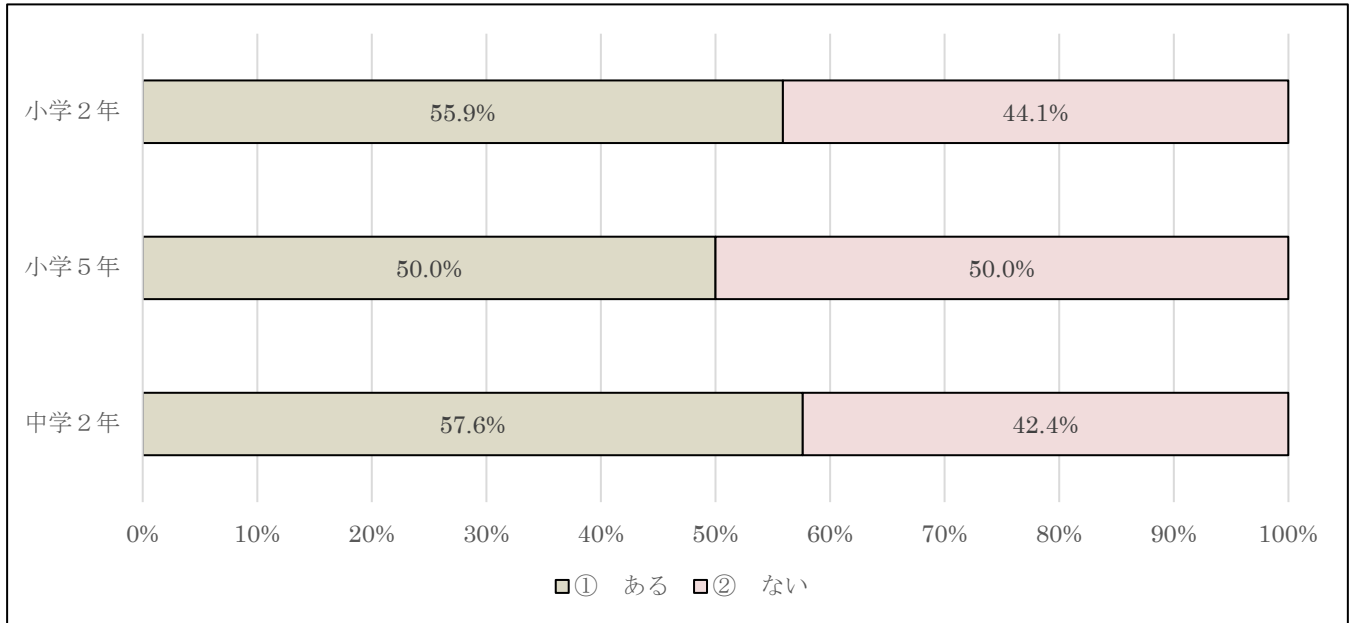
問7 好きな本の種類 (ジャンル)



○全学年で、「小説・物語」が最多であった。小学2年では「絵本」が2番目に多かった。

○小学5年で「ゲーム」、中学2年で「スポーツ」「ゲーム」が2番目に多かった。

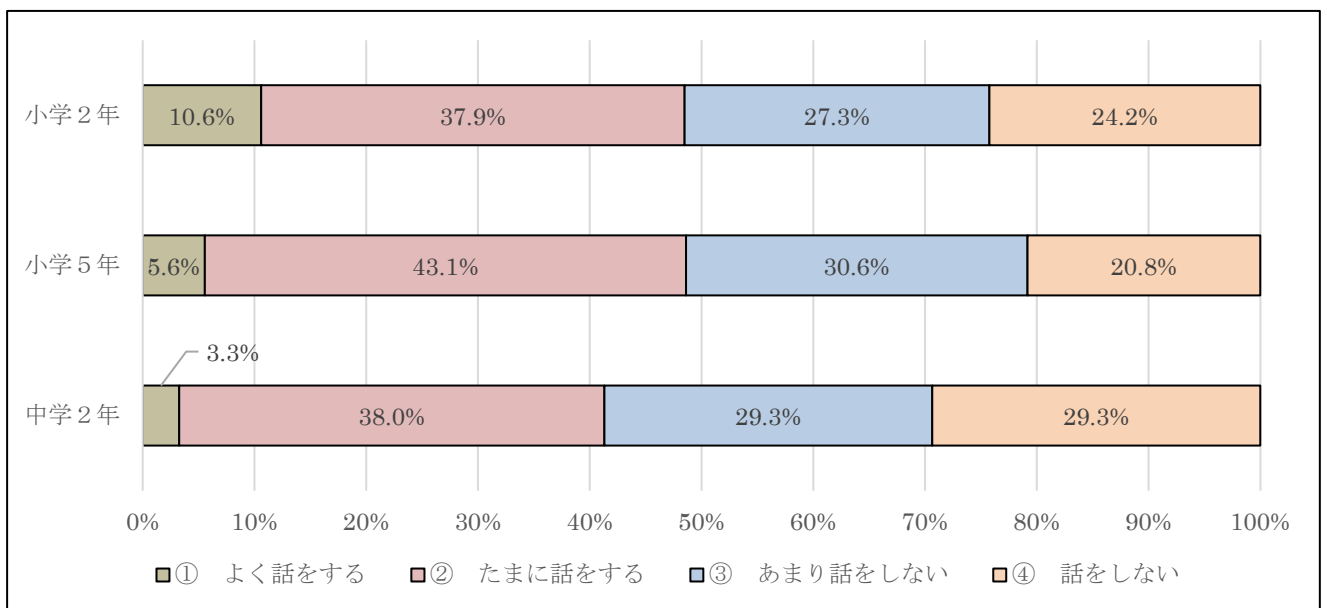
問8 心に残っている本やもう一度読みたい本はありますか



○全学年で「ある」と回答した割合が50%以上となった。

※心に残っている本やもう一度読みたい本を共有することによって、読書への興味、関心を高めることが必要と考えられる。

問9 家族と本について話すことはありますか

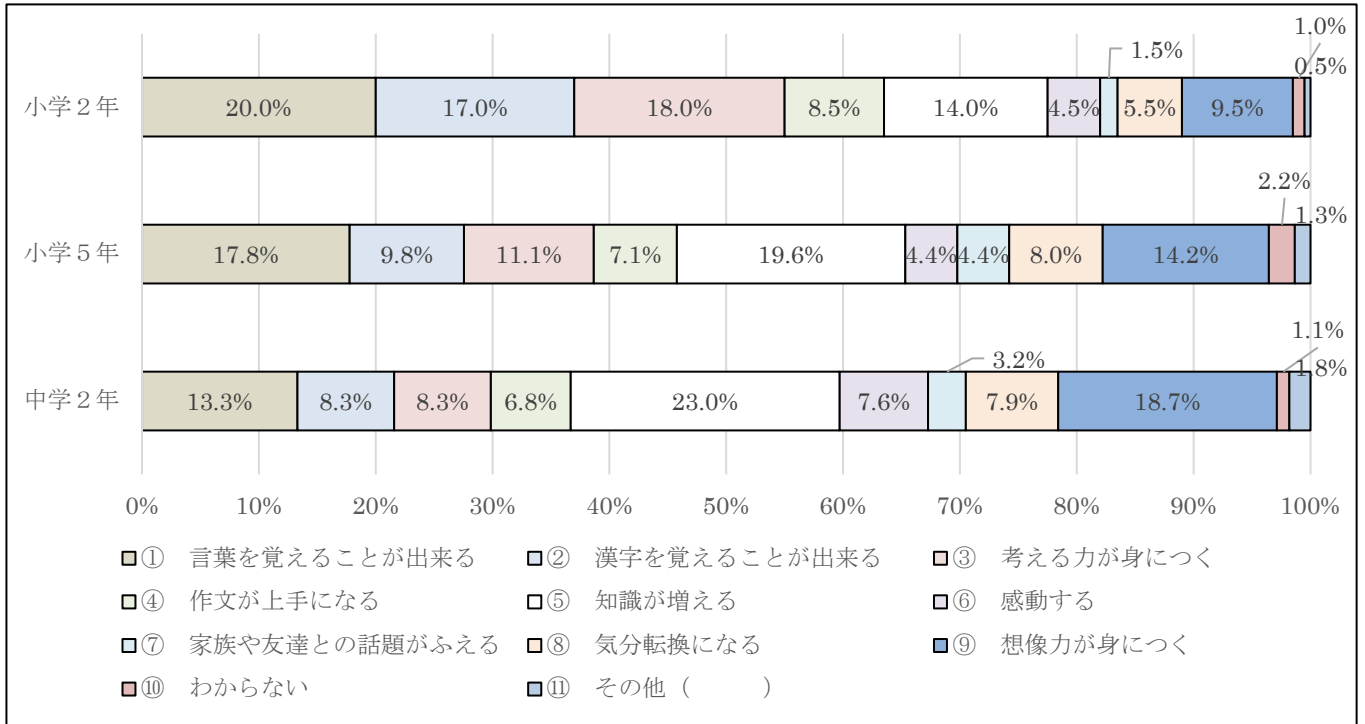


○全学年ともに「あまり話をしない」「話をしない」の合計が50%を超えていた。

○成長するに従って「よく話をする」が少なくなっている。



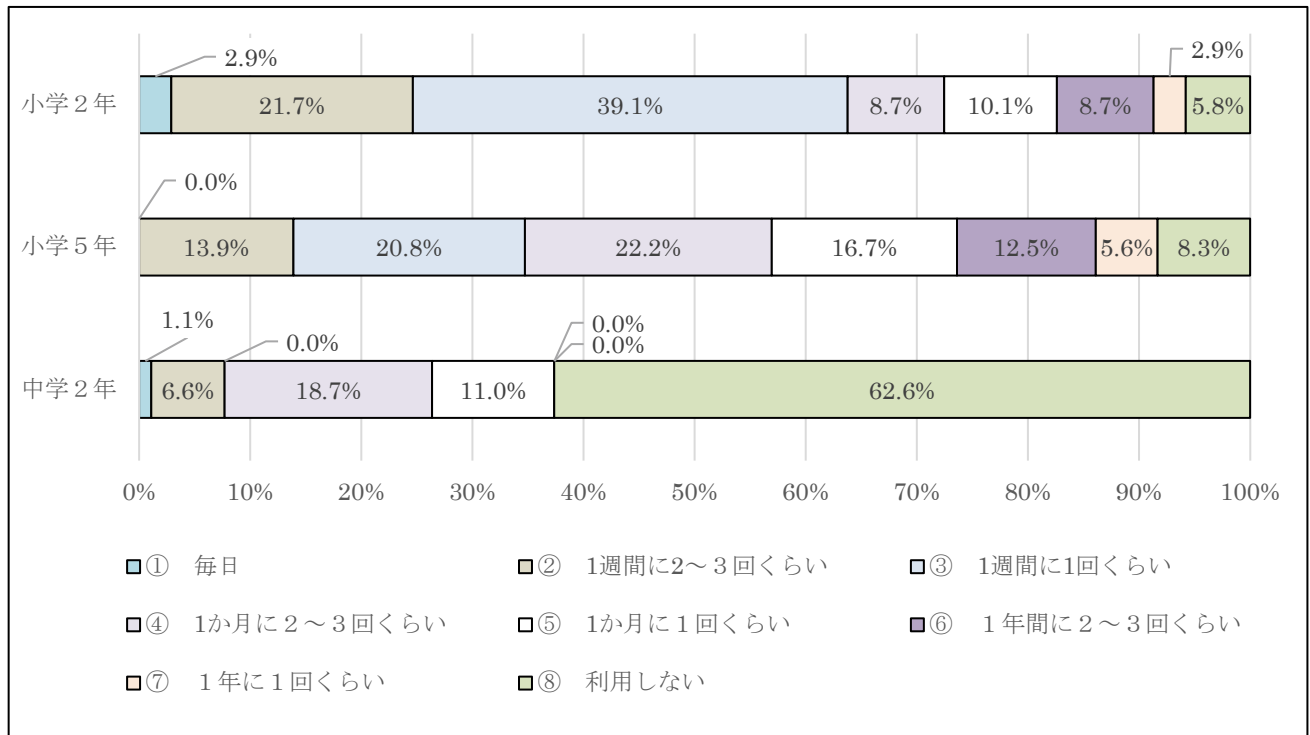
問 1 0 読書にはどのようないいことがあるか



○小学 2 年では「言葉を覚えることができる」が最多であるが、小学 5 年、中学 2 年では「知識が増える」が最多であった。

○中学 2 年では「想像力が身につく」が 2 番目に多かった。

問 1 1 学校の図書室を授業以外でどのくらい利用するか

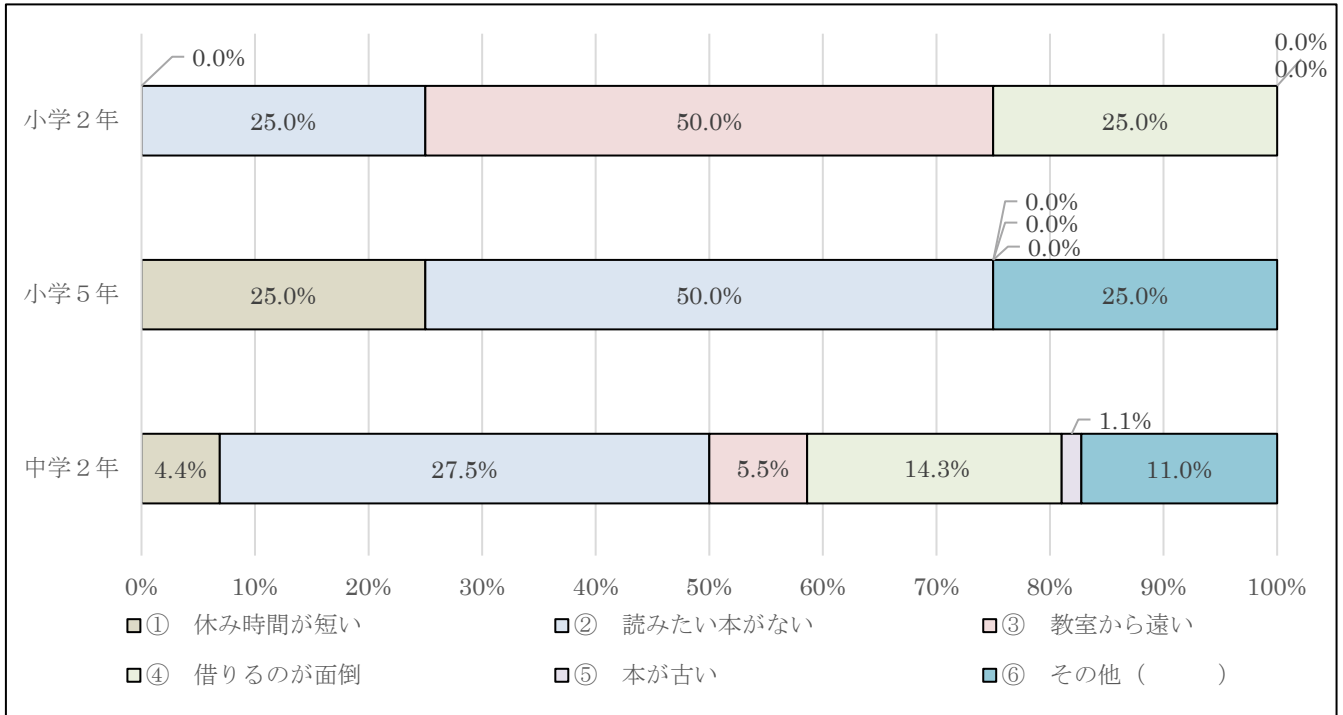


○小学 2 年、5 年では、9 0 %以上が利用しているが、中学 2 年では、4 0 %に満たなかった。

○中学 2 年では 6 0 %以上の生徒が利用しないと回答した。

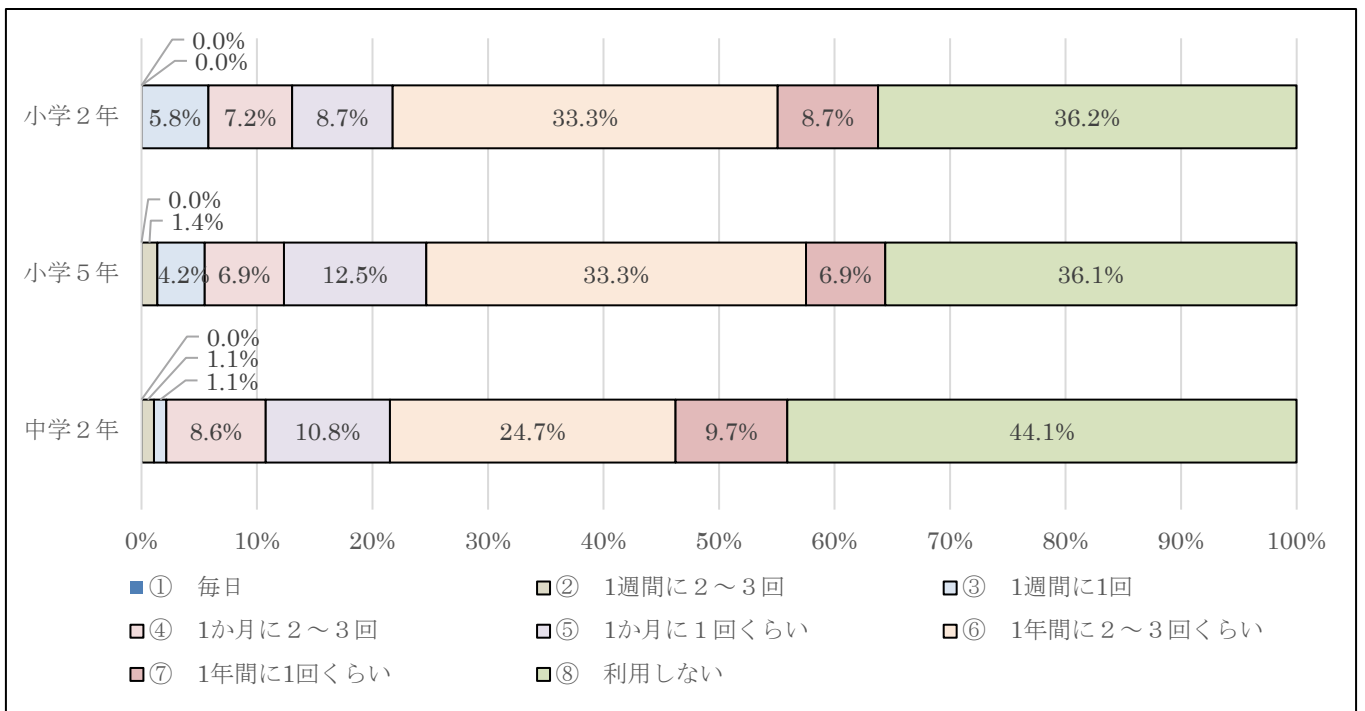
※学校図書館の利用とその魅力をどう伝えていくか、考えていく必要がある。

問 1 2 図書室を利用しない理由について



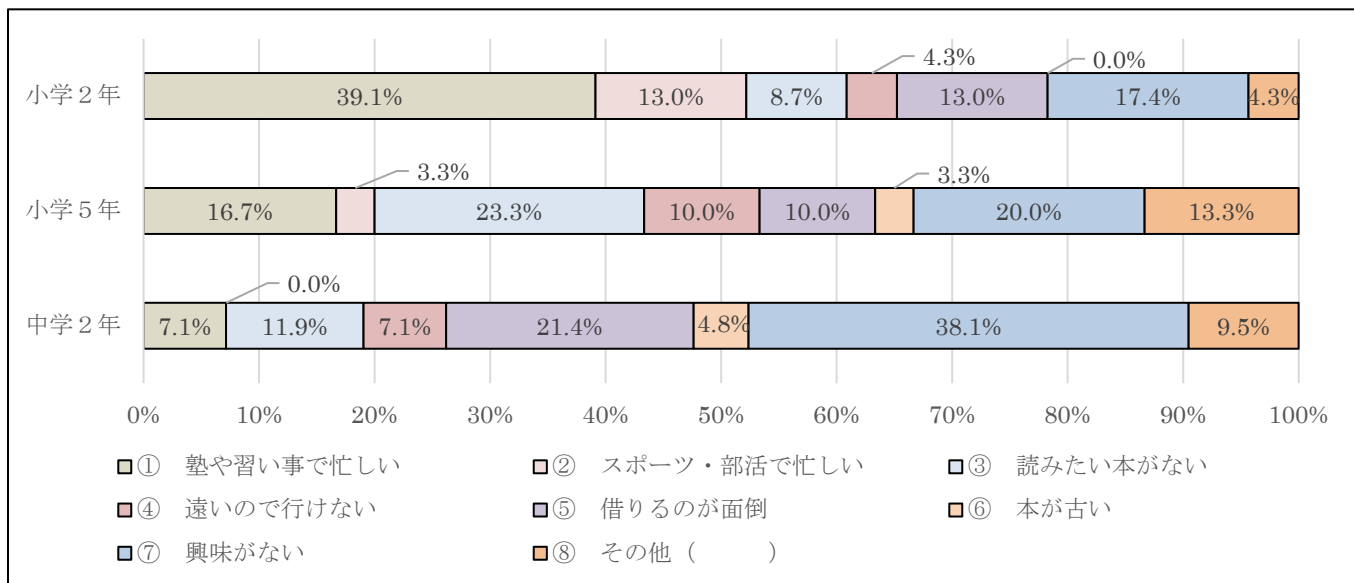
- 小学2年では、「教室から遠い」が50%であった。
- 小学5年、中学2年では「読みたい本がない」が最多であった。
- ※学校図書館を利用する機会を意識的につくる必要がある。

問 1 3 町の図書館をどのくらい利用しますか



- 全学年ともに「利用しない」と回答した割合が最多であった。
- 「利用しない」の割合は小学2年、5年で30%を上回った。中学2年では40%を上回った。
- 2番目に多いのは「1年間に2~3回くらい」であった。

問 1 4 町の図書館を利用しないのはなぜですか

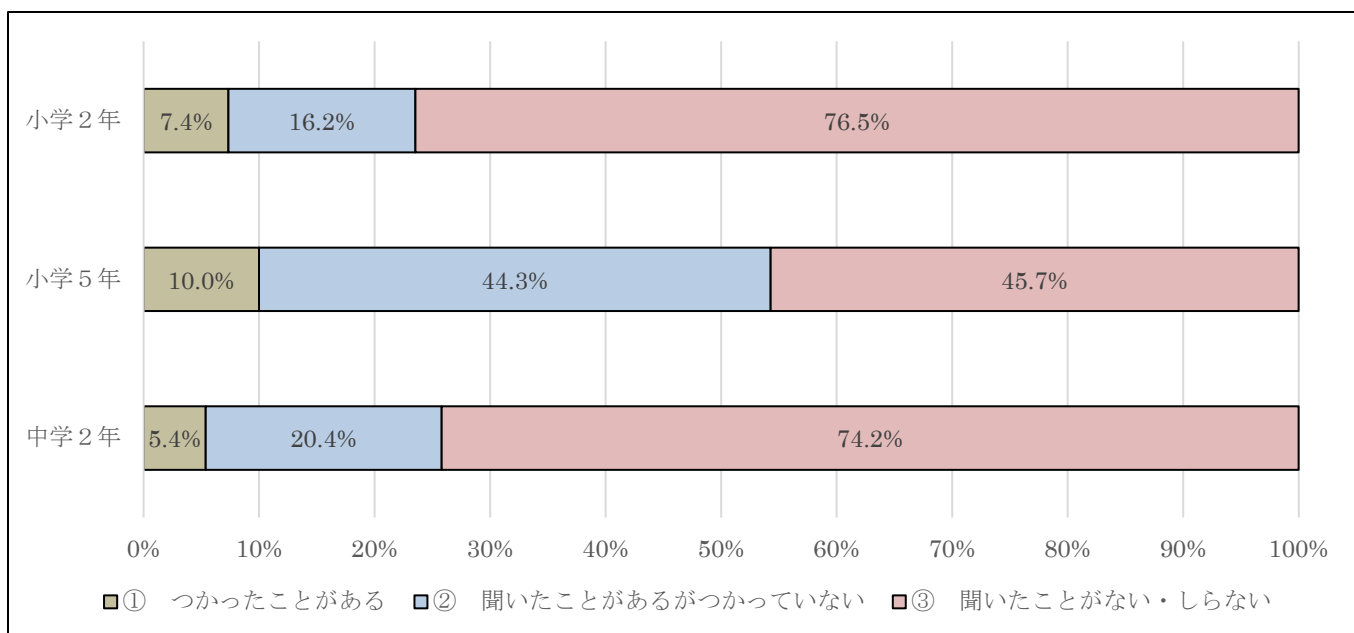


○最も割合が高かったのは小学2年で「塾や習い事で忙しい」、小学5年で「読みたい本がない」中学2年で「興味がない」であった。

○小学2年、5年で2番目に多いのは「興味がない」であった。

※町立図書館の魅力や興味関心を高める工夫を考えていく必要がある。

問 1 5 町の電子図書館について

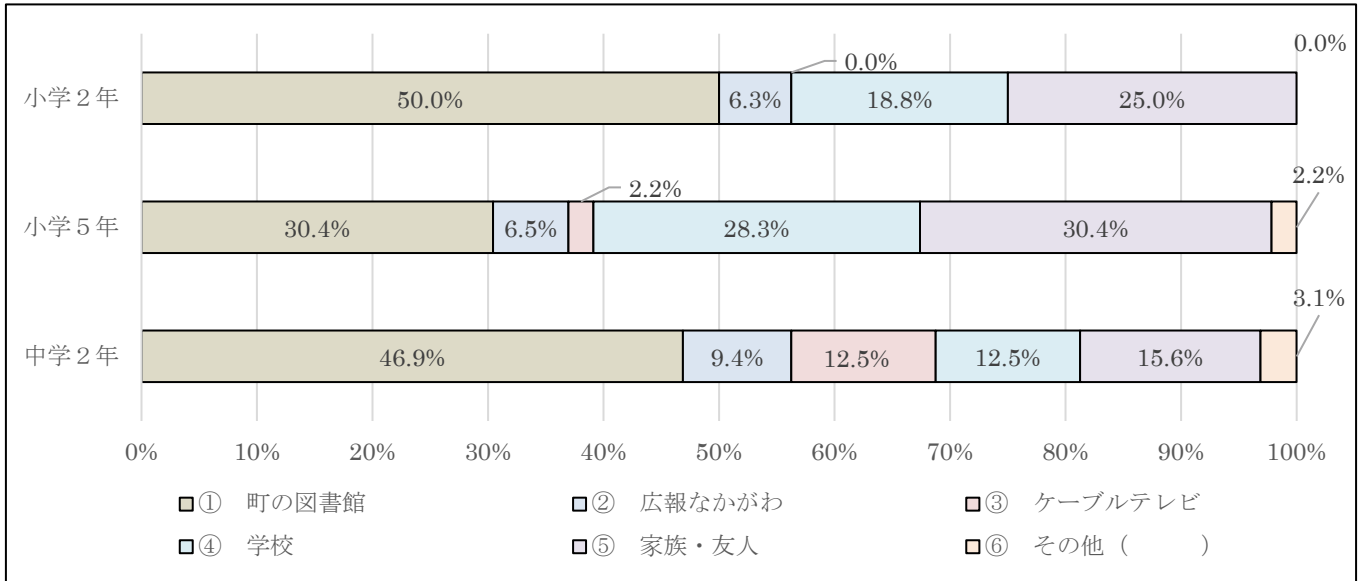


○小学2年、中学2年で「聞いたことがない・知らない」が70%を超えている。

○「つけたことがある」は、全体の10%以下であった。

※今後の広報・啓発にさらに力をいれていく必要がある。

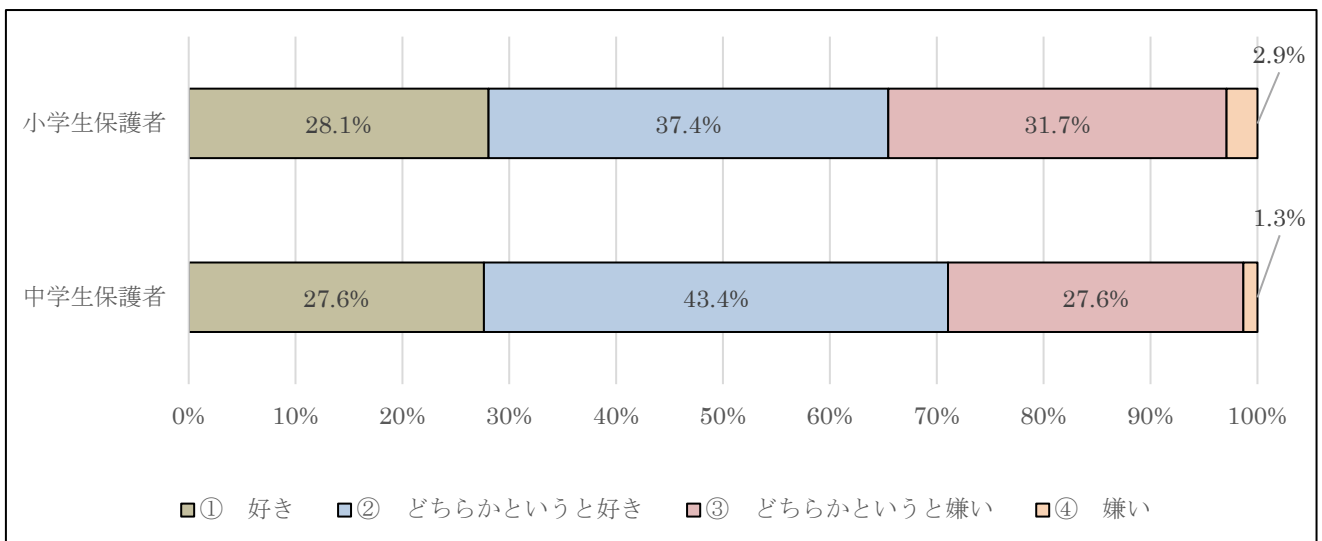
問 1 6 町の電子図書館をどこで知りましたか



○小学2年は「町の図書館」が50%であった。中学2年も46.9%で最多であった。
 ○小学5年は「町の図書館」と「家族・友人」が30.4%で最多であった。
 ※学校での利用を推進することによって、認知度と利用度を共に上げることが出来ると思える。

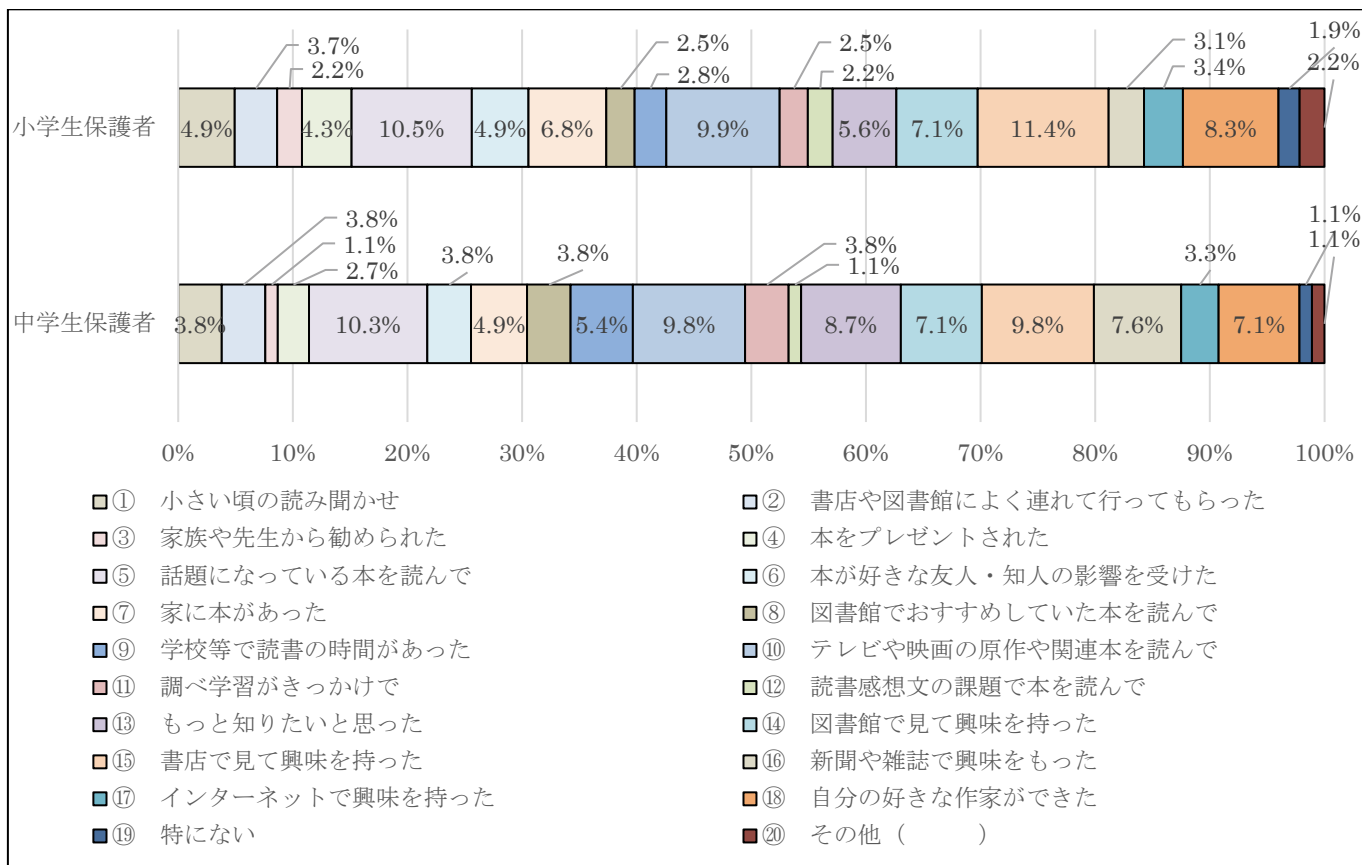
3 保護者へのアンケート結果と分析

問 1 本を読むことが好きか



○中学生の保護者は「好き」「どちらかという好き」を合わせると70%を超えている。
 ※児童生徒のアンケート結果と同程度であることから、子どもの好き嫌いは保護者の好き嫌いに影響されるのではないかと考えられる。

問2 本を読むことが好きになったきっかけ

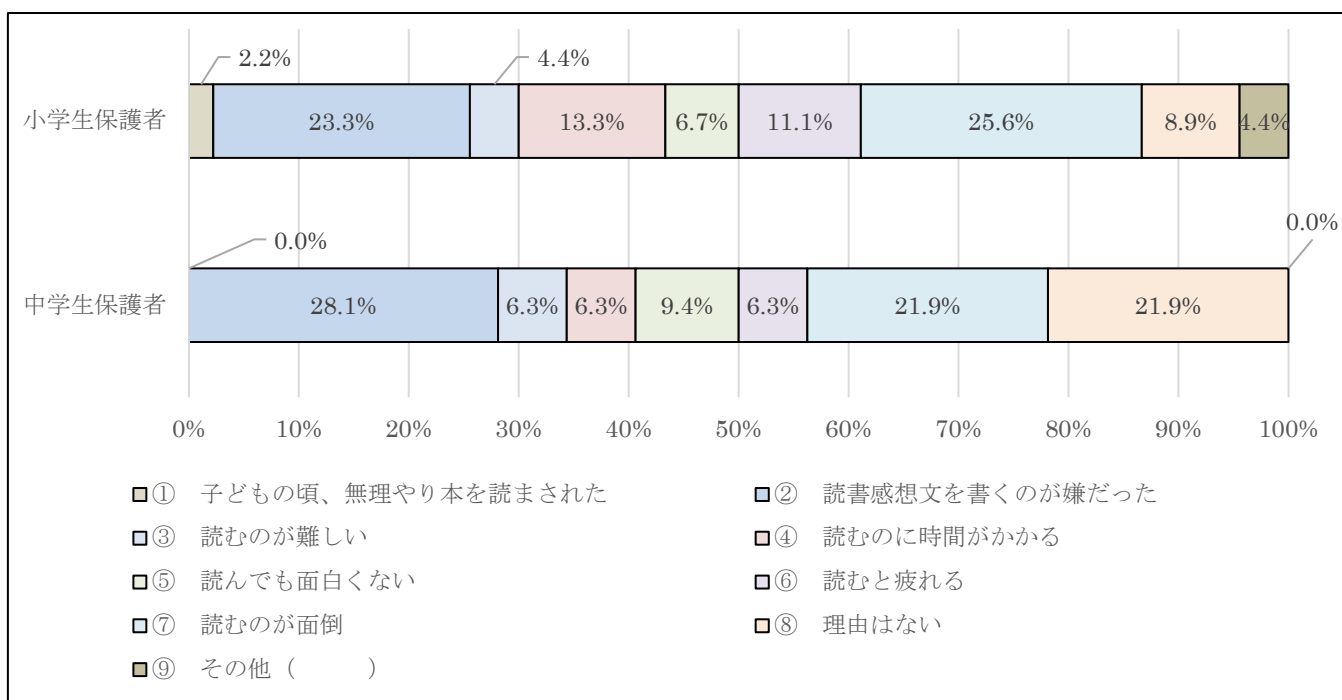


○小・中学生の保護者ともに「話題になっている本を読んで」が10%を超えている。

○小学生保護者は「書店で見て興味を持った」も10%を超えている。

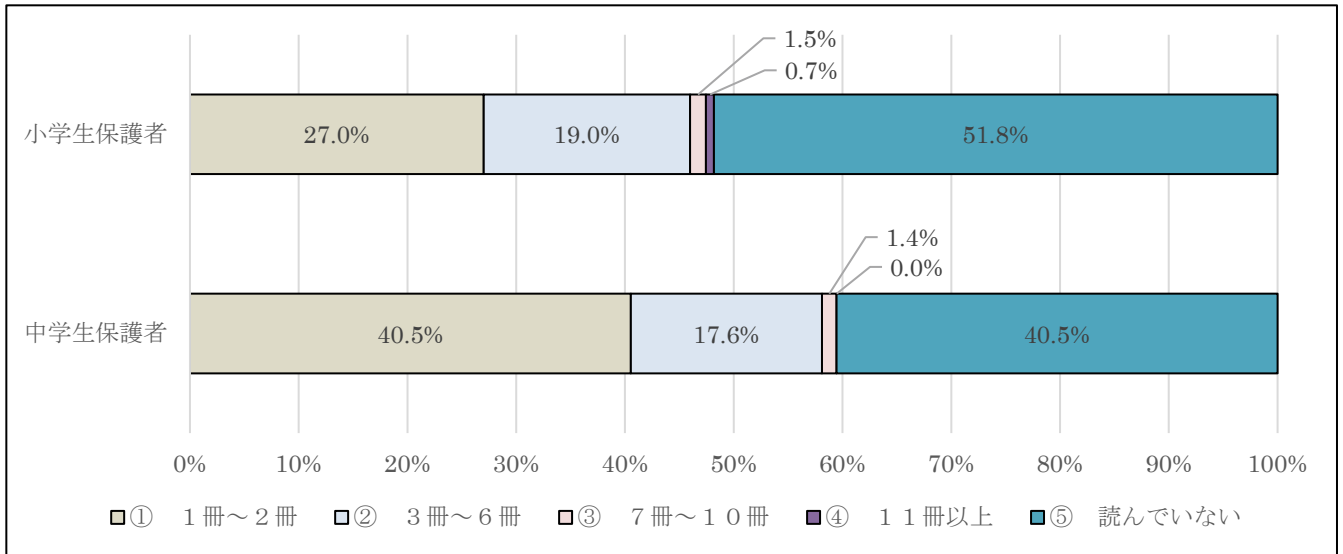
※「小さい頃の読み聞かせ」や「家族や先生から勧められた」が5%未満であることから、能動的な行動が、本を好きになるきっかけであると考えられる。

問3 本を読むことが嫌いになった理由



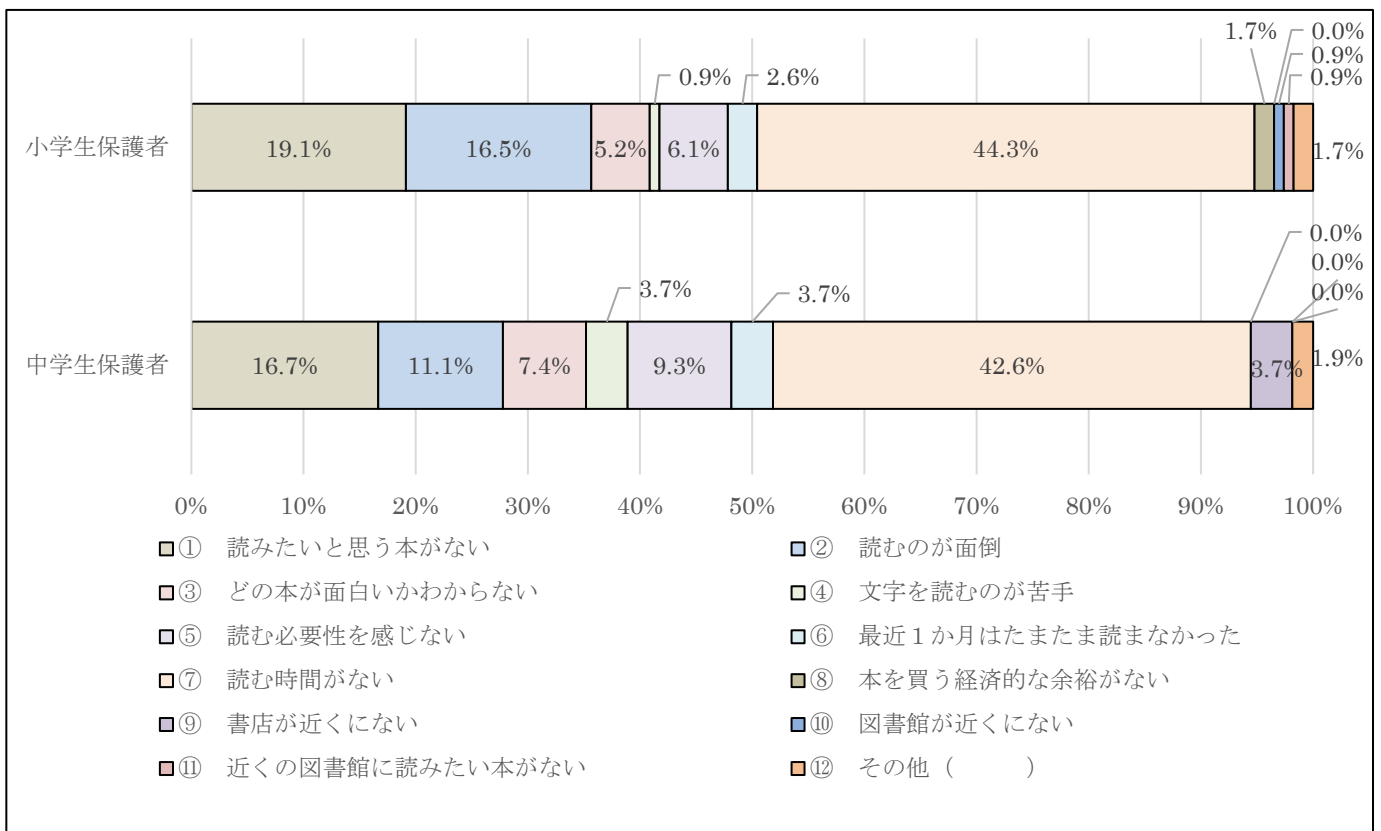
○小・中学校保護者ともに「読書感想文を書くのが嫌だった」「読むのが面倒」が20%を超えている。

問4 1か月に何冊の本を読むか



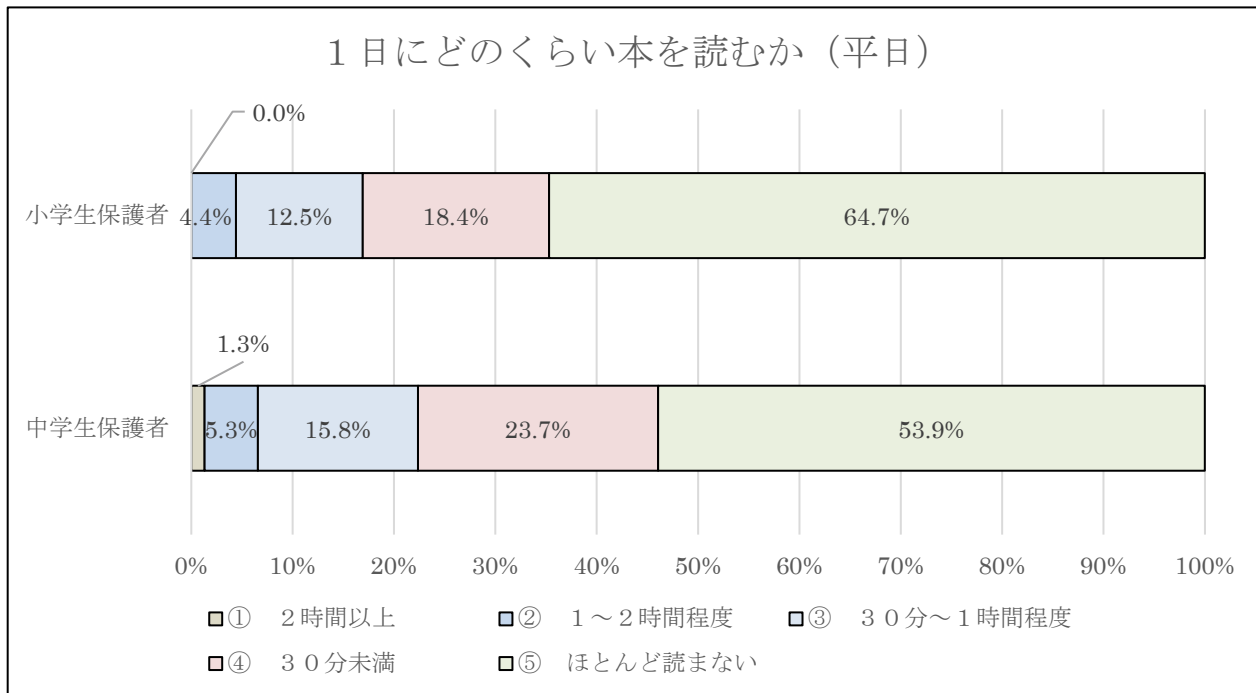
○中学生保護者は「1冊～2冊」が40%を超えている。
 ○不読率は小学生保護者51.8%、中学生保護者は40.5%であった。
 ※子どもの不読率と比較すると大人の不読率は2倍以上高いことがわかる。

問5 1か月以内に本を読まなかった理由

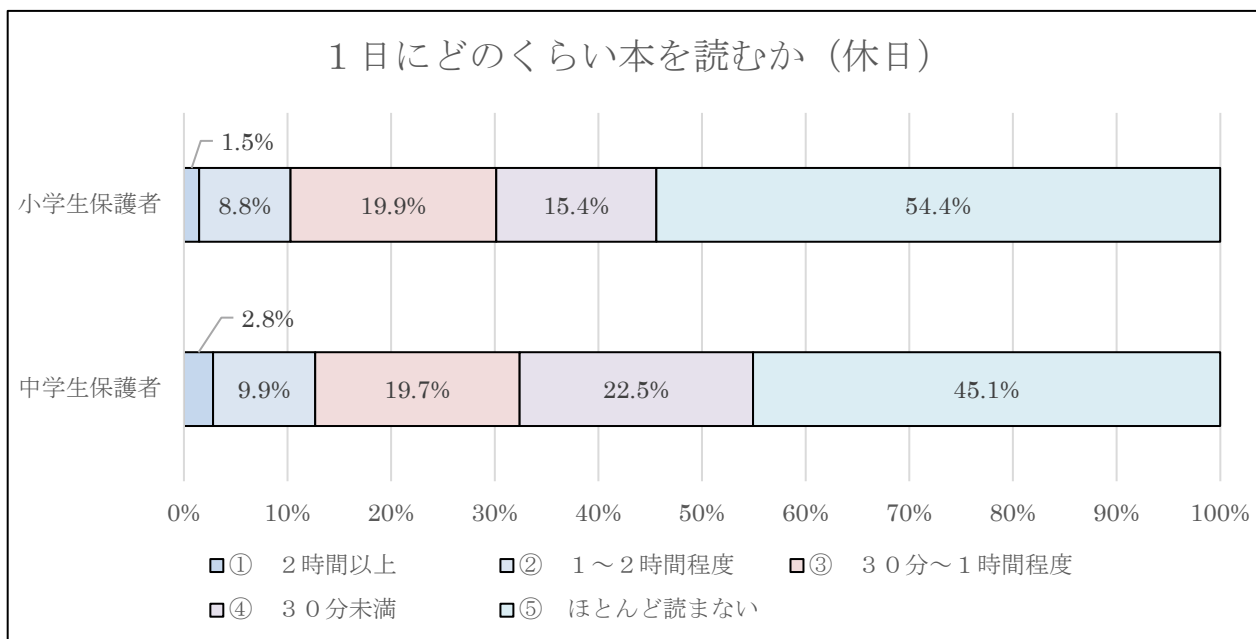


○「読む時間がない」がともに40%を超えていて最多であった。次いで多いのが「読みたいと思う本がない」であった。

問6 1日にどのくらい本を読むか



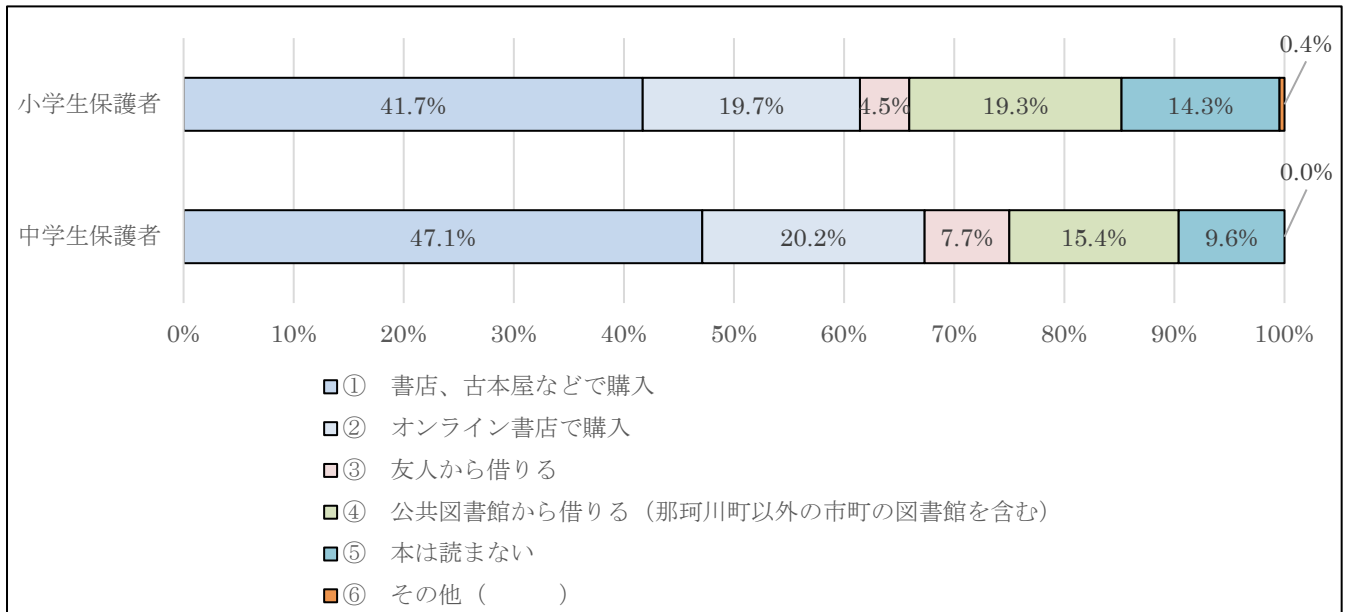
○小・中学校保護者ともに「ほとんど読まない」を除くと「30分未満」が多かった。



○小学生保護者は「30分～1時間程度」が19.9%であった。

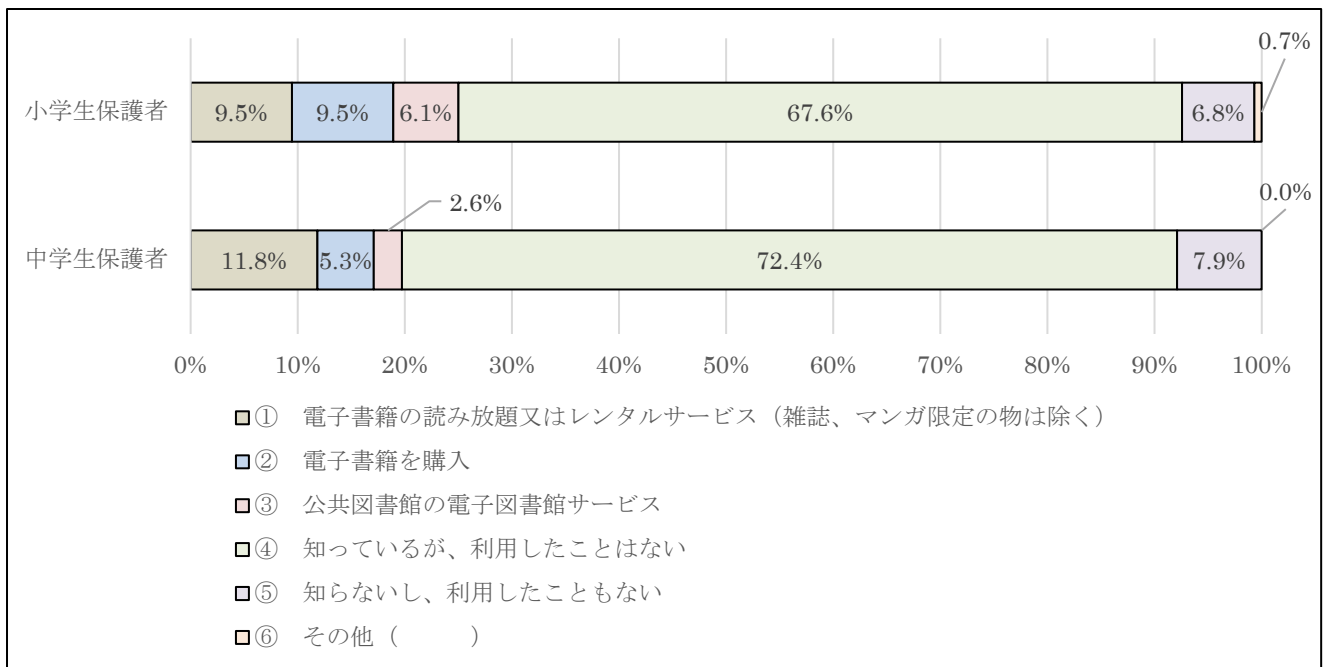
※子どもといっしょに本を読む時間を確保するのは平日、休日ともに30分程度が妥当と考えられる。

問7 本の入手方法について



- 「書店、古本屋などで購入」が40%を超えて最多であった。
- 「公共図書館から借りる」は小学生保護者で19.3%、中学生保護者で15.4%であった。

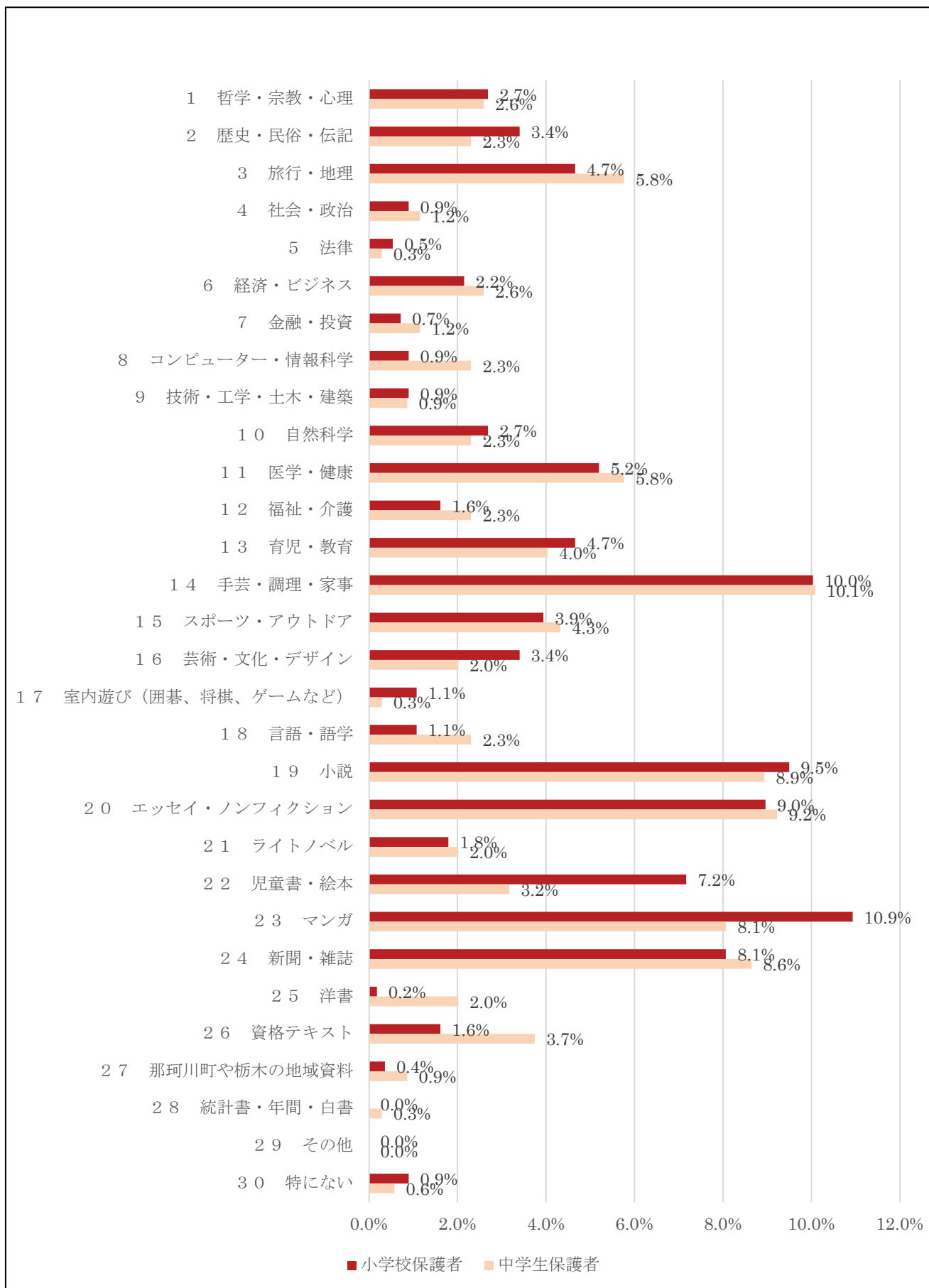
問8 電子書籍の利用について



- 「知っているが利用したことはない」が小学生保護者で67.7%中学生保護者で72.4%であった。

※電子書籍は周知されていると考えられるので、電子図書館の利用につなげるよう啓発が必要である。

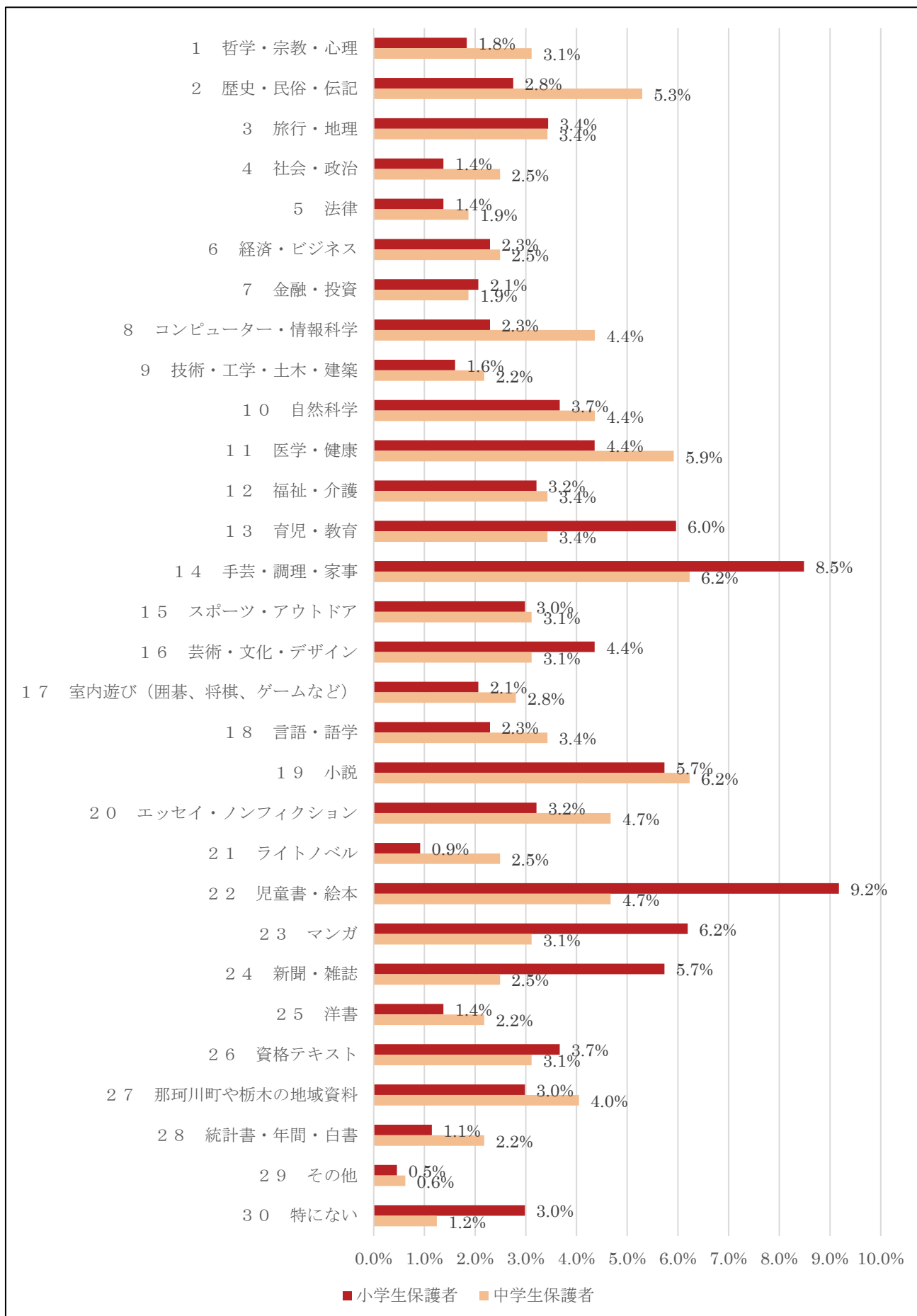
問9-1 好きな本の分野について



○小学生保護者は「マンガ」「手芸・調理・家事」「小説」の順であった。

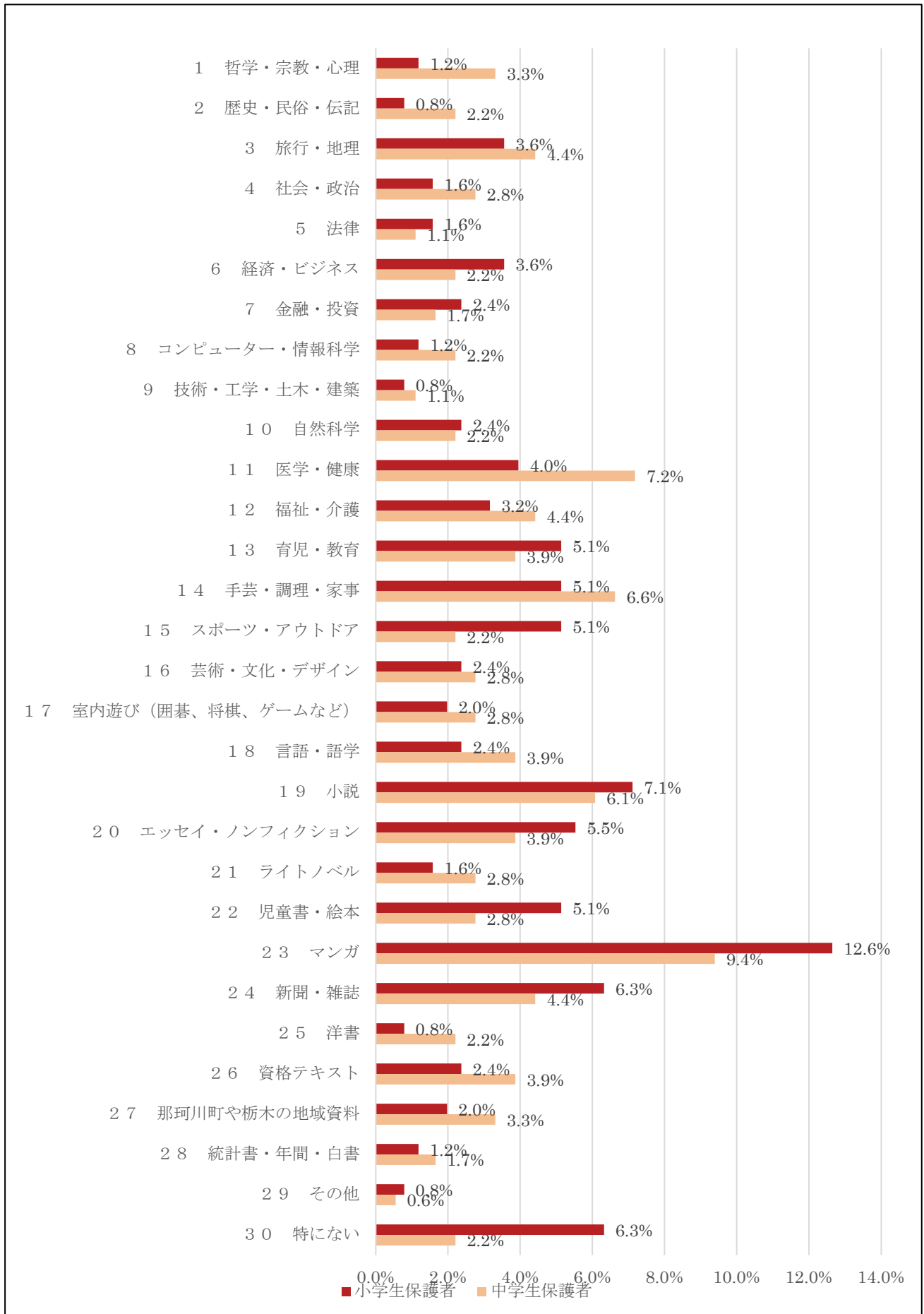
○中学生保護者は「手芸・調理・家事」「エッセイ・ノンフィクション」「小説」の順であった。

問9-2 図書館で充実を求む本



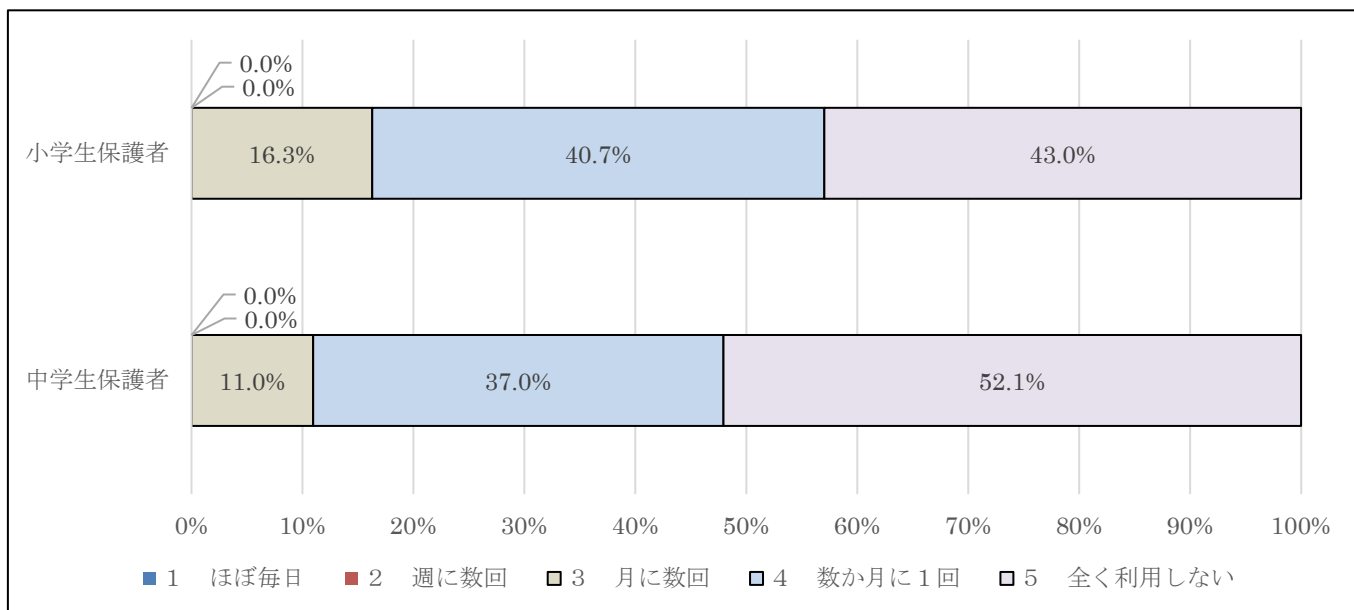
○小学生保護者で「児童書・絵本」の充実を求める割合が9.2%であった。

問9-3 電子書籍で読む本



○小・中学生保護者ともに「マンガ」が最多であった。

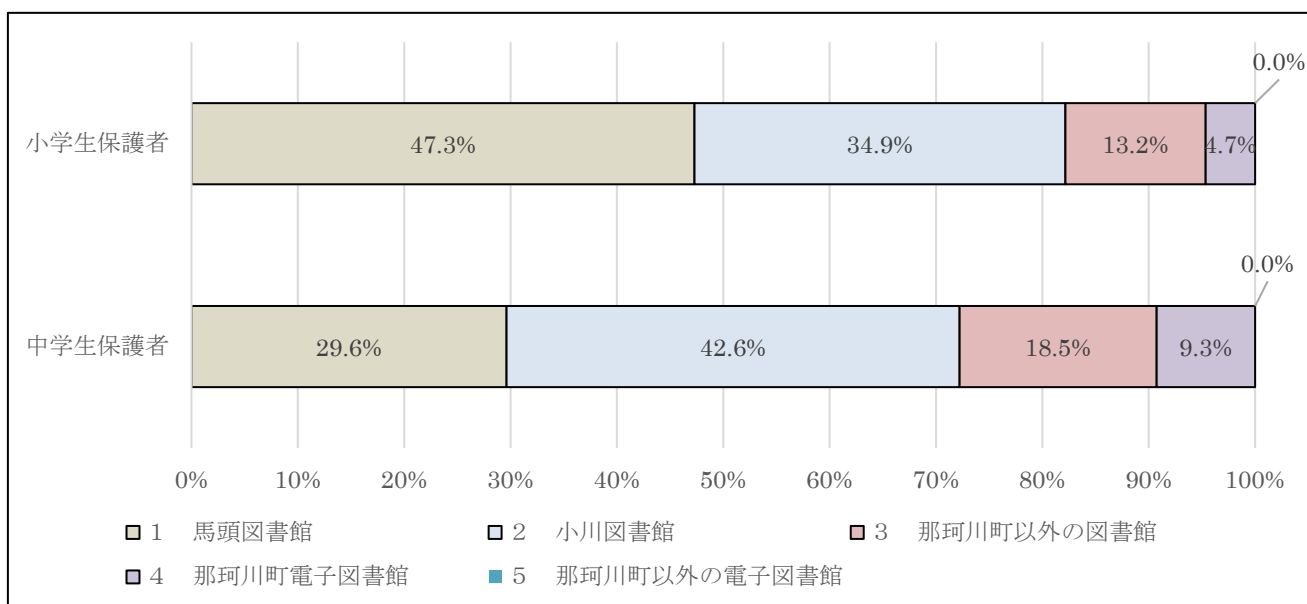
問 10 図書館をどのくらい利用するか



○中学生保護者の50%以上が「全く利用しない」と回答している。

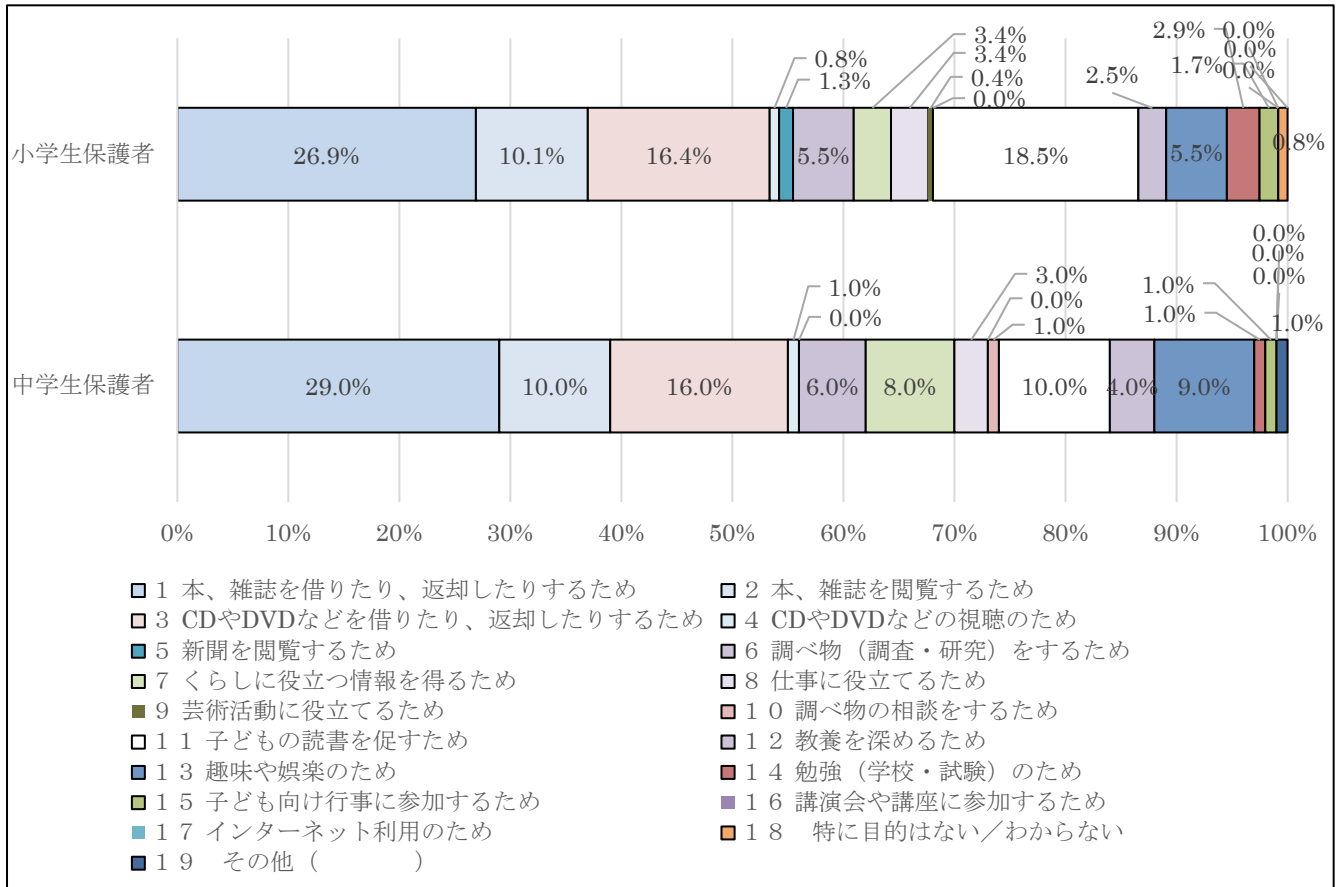
※図書館の利用人数とリピーターを増やす必要がある。

問 11 利用したことのある図書館等はどこですか



○小学生保護者で80%、中学生保護者で70%を超える人が町内図書館を利用している。

問 1 2 図書館を利用する目的は



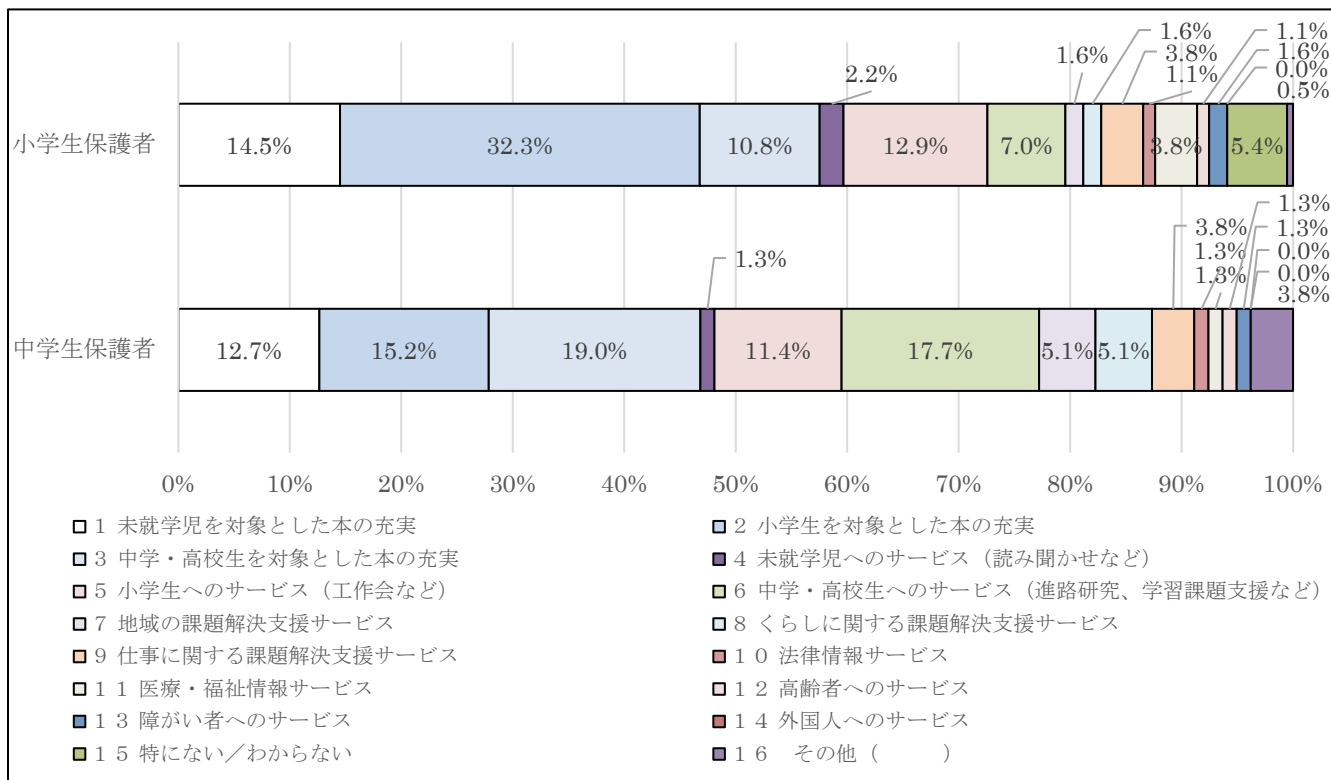
○「本、雑誌、CD、DVDを借りたり、閲覧したりする」という目的が50%を超えている。

○「子どもの読書を促すため」が小学生保護者で18.5%であった。

※各行事や講演会への参加を目的とする人は少ないので、さらに魅力的な事業を計画する必要がある。

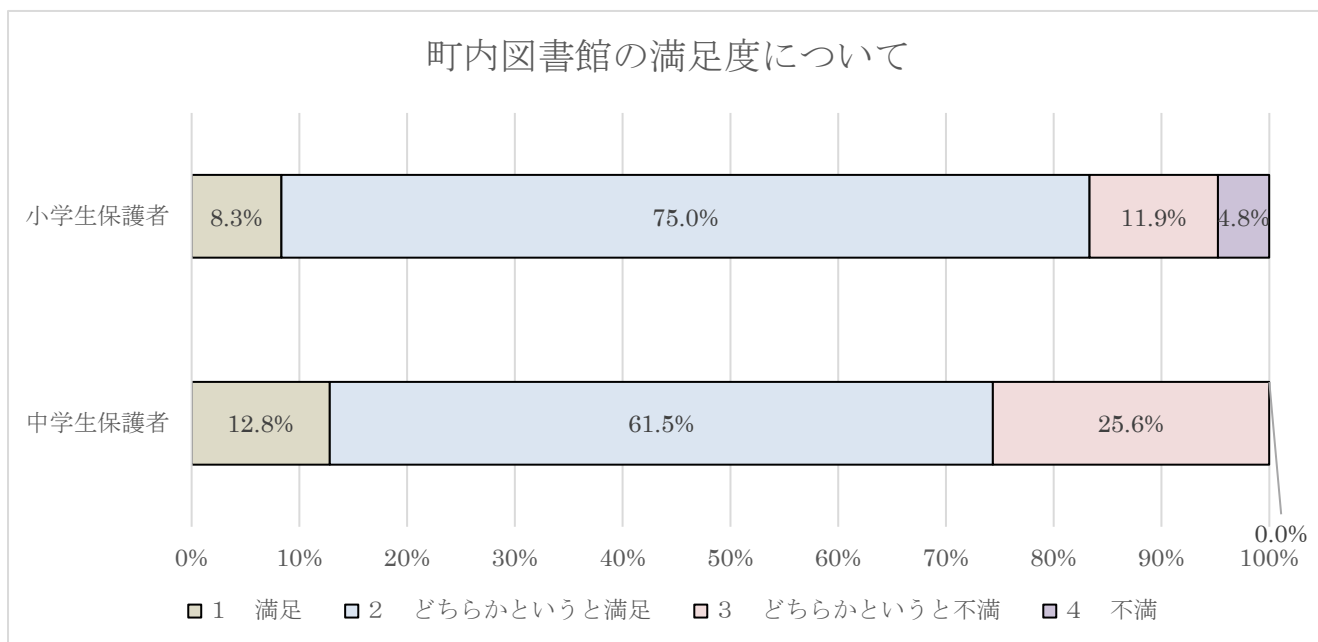


問 1 3 図書館を利用する際に重視すること



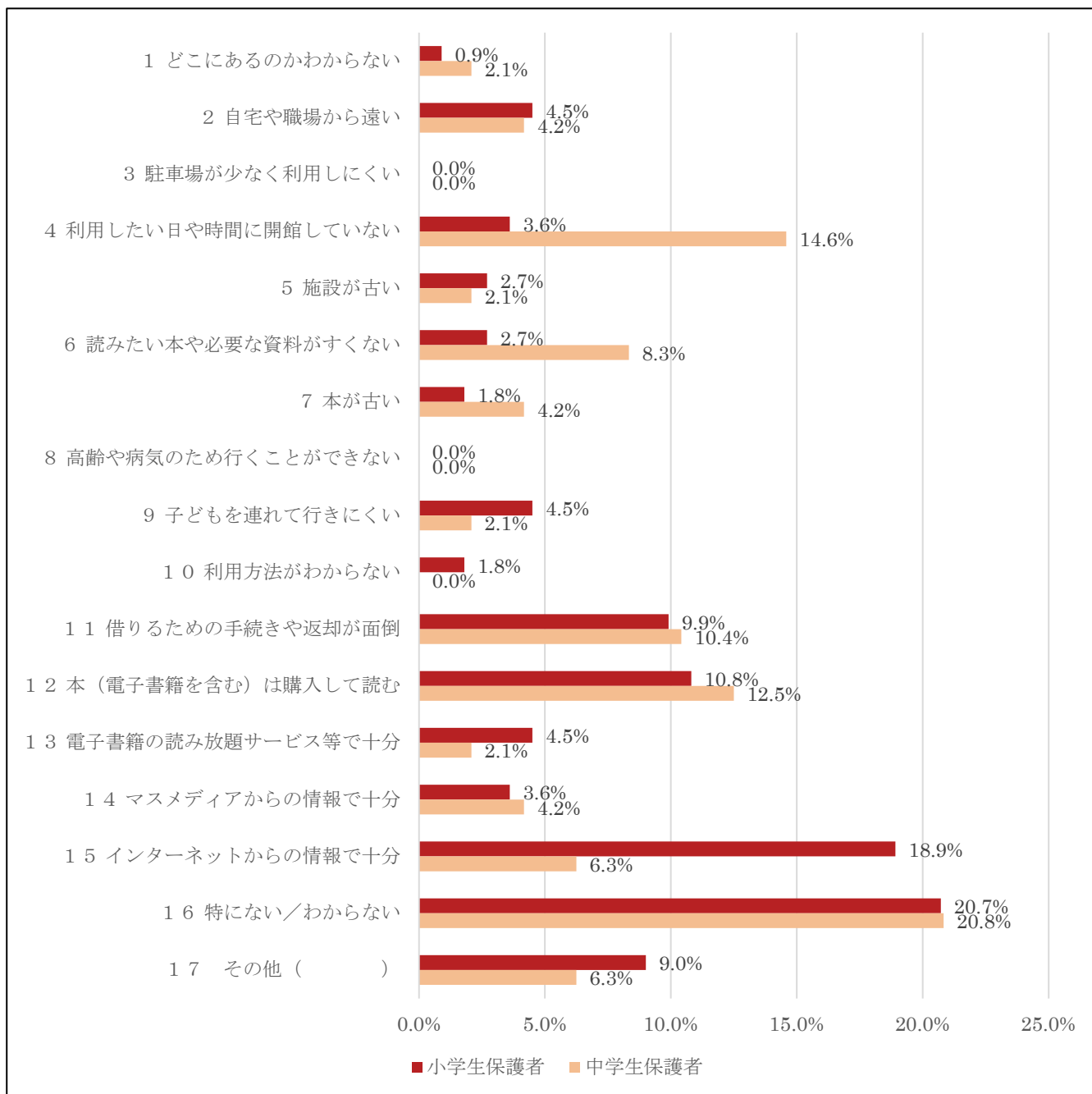
○「小学生を対象とした本の充実」が小学生保護者で30%を超えている。
 ※各年代の本の充実を希望していることが読み取れる。

問 1 4 町内図書館の満足度について



○「満足」「どちらかという満足」を合わせると小学生保護者で80%、中学生保護者で70%を超えている。
 ○中学生保護者で25.6%が「どちらかという不満」と回答している。

問 1 5 町内図書館を利用しない理由

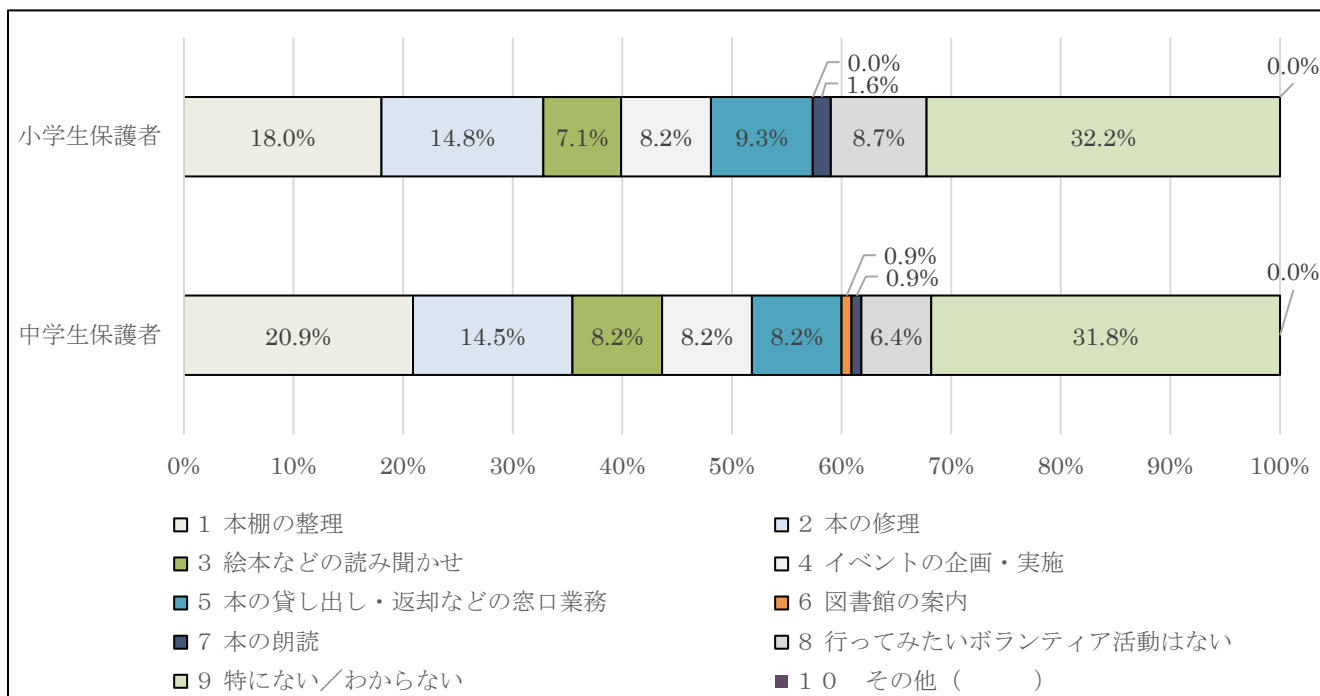


○小学生保護者の18.9%が「インターネットからの情報で十分」と回答している。

○中学生保護者の14.6%が「利用したい日や時間に空いていない」と回答している。

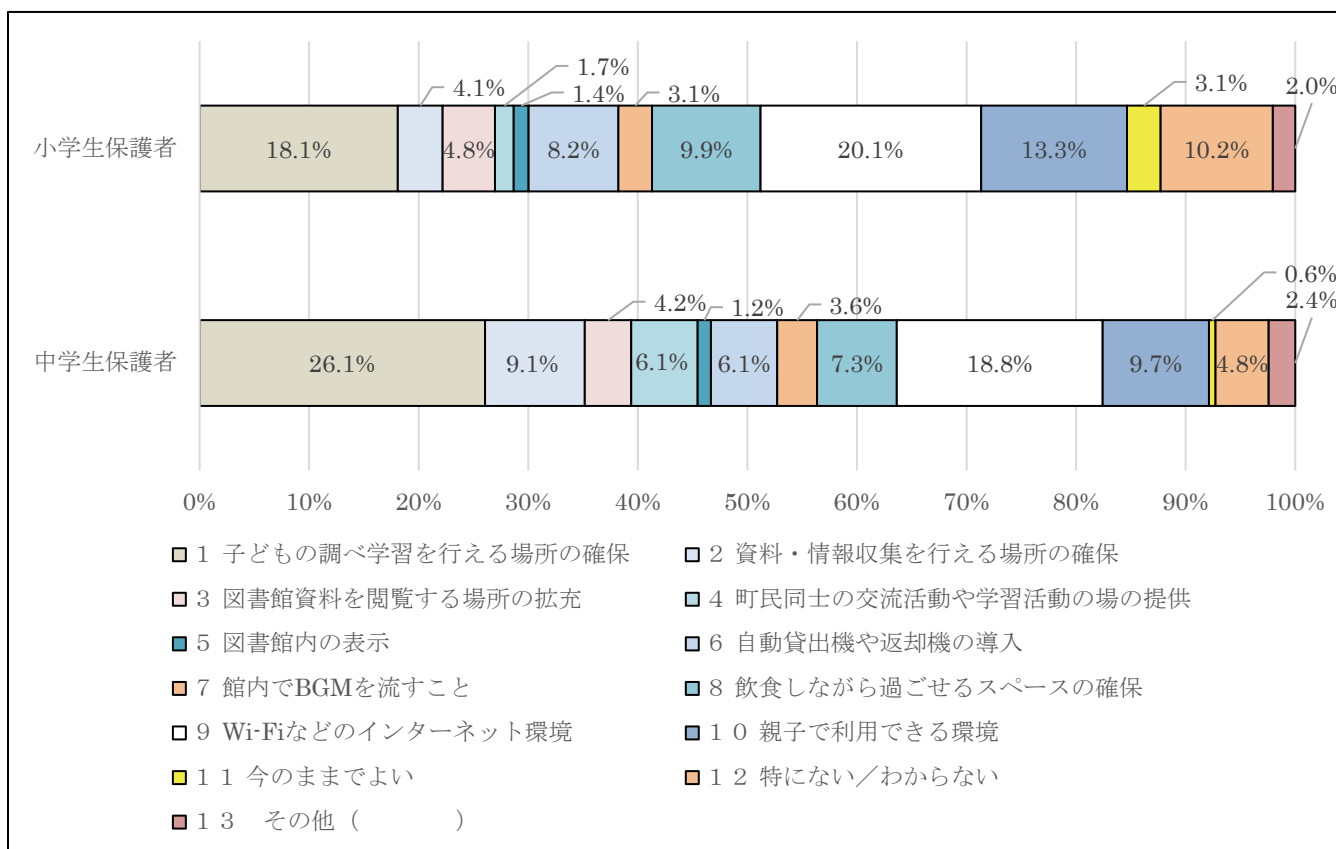


問 1 6 図書館で行ってみたいボランティア活動について



※全体で60%程度が何らかのボランティア活動に興味を示していると考えられる。

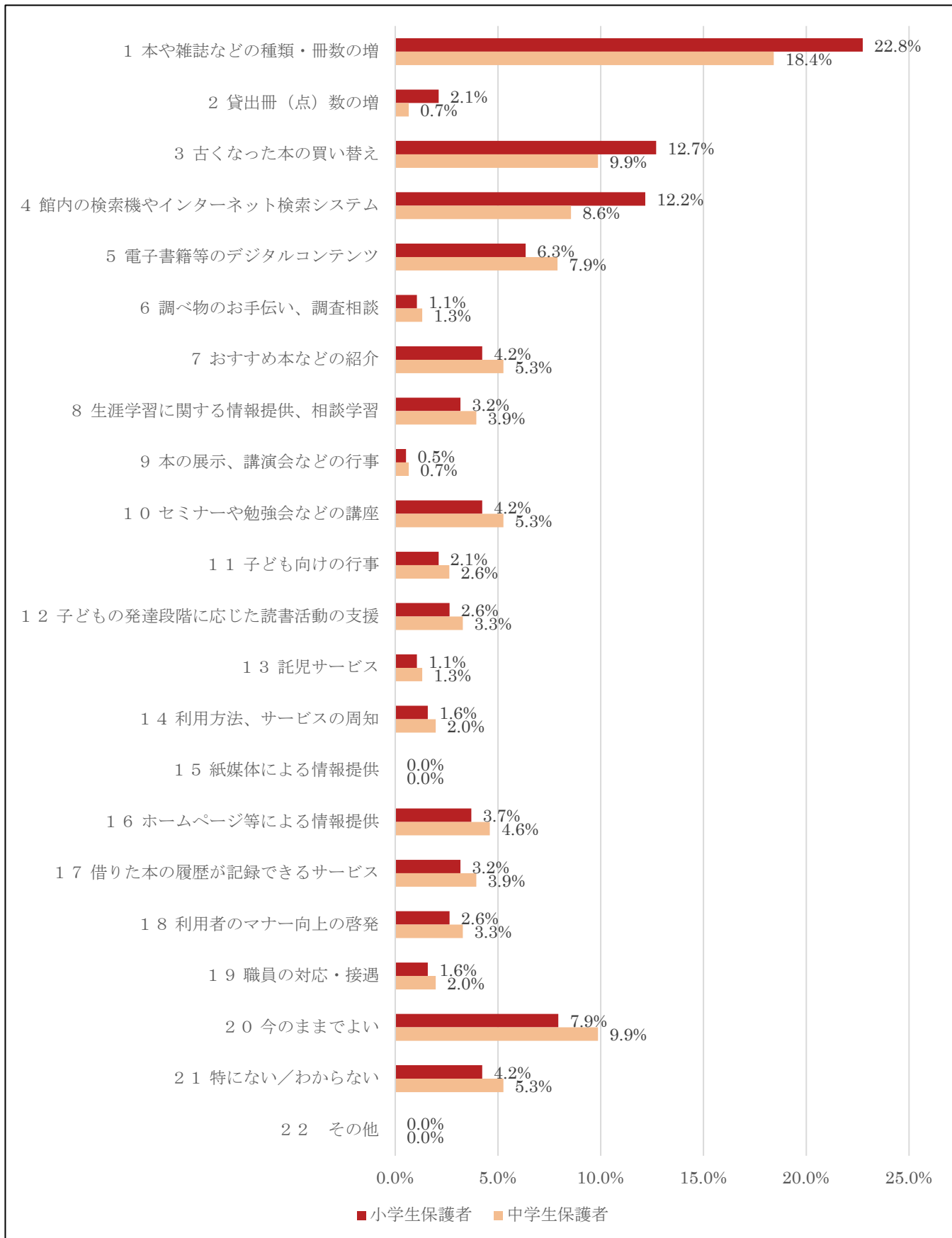
問 1 7 町内図書館の施設、設備について充実してほしいこと



○小学生保護者では「Wi-Fiなどのインターネット環境」が20%を超えている。

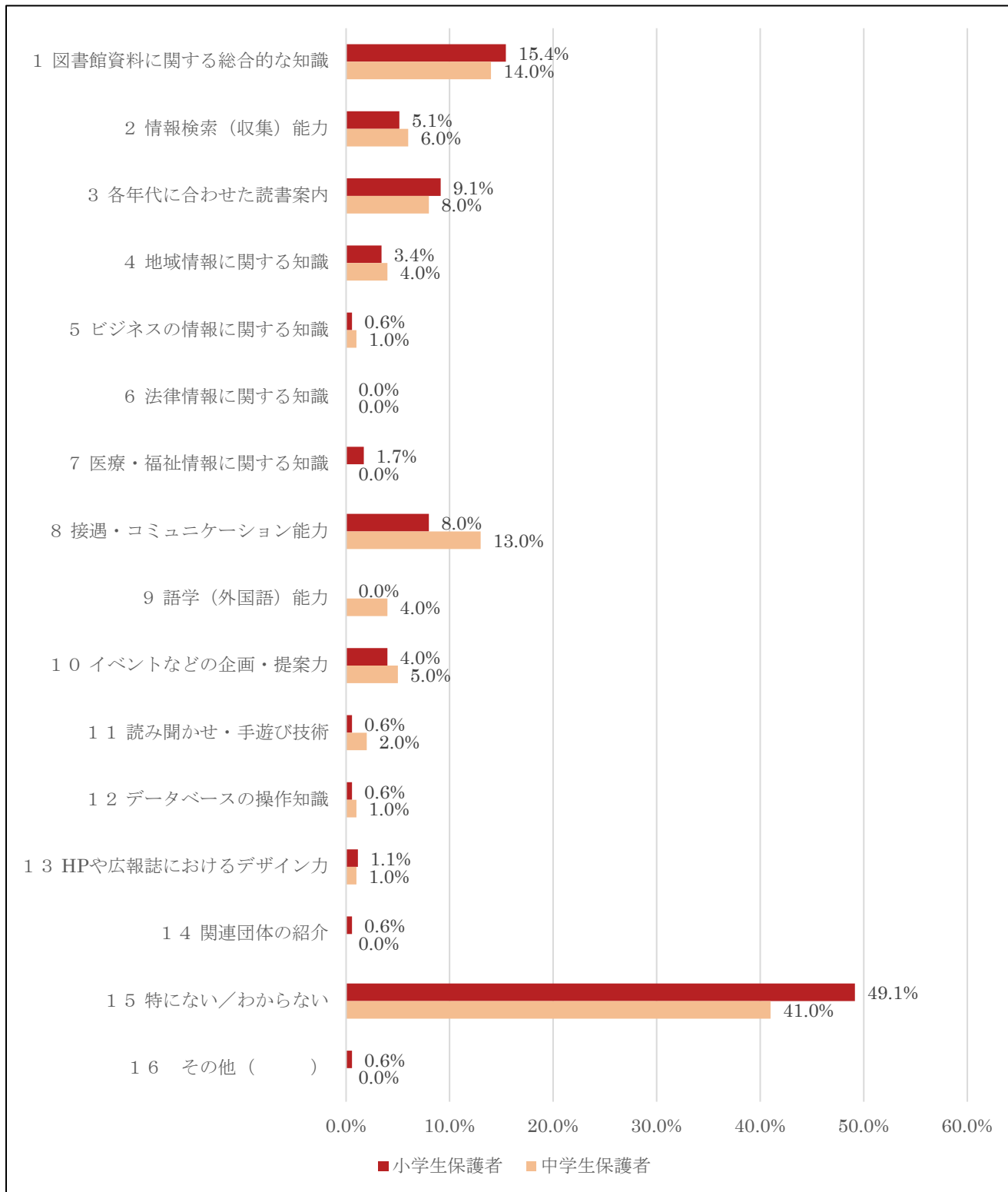
○中学生保護者では「子どもの調べ学習を行える場所の確保」が26.1%。次いで「Wi-Fiなどのインターネット環境」が18.8%となっている。

問 1 8 町図書館のサービスについて、充実してほしいことについて



○「本や雑誌などの種類・冊数の増」がともに最多であった。

問 1 9 図書館職員に求めることについて



○小学生保護者は「図書館資料に関する総合的な知識」が15.4%であった。中学生保護者は、「接遇・コミュニケーション能力」が13.0%であった。

※図書館職員には、総合的な知識や接遇・コミュニケーション能力が求められていると考えられる。

第3節 第3期計画に求められること

第1節の成果と課題から、町立図書館で行われているお話し会等の各種事業、乳幼児健診時のブックスタート事業や学校図書館等での読書推進に関わる取組は有効であると考えられます。また、町立図書館の読書案内や読み聞かせボランティアによる学校でのお話し会も、効果のある取り組みとして捉えられています。本計画でも引き続き、健康福祉課、子育て支援課や認定こども園、学校をはじめ町立図書館や地域の子どもの読書活動の推進に関わるボランティアと、読書の推進に関して共通理解を図り、連携・協働して取組を進めていく必要があります。

一方で、読み聞かせや読書に関わるボランティアへの支援不足や読書量が不十分と思われる児童生徒がいること、「読みたい本がない」「どんな本を読んでいいかわからない」と答えた児童生徒がいることなどの課題があります。子どもたちの「読書は楽しい」「こんな本を読みたい」といった気持ちや主体的に読書に取り組む姿勢を育むために、ソフト面（読書への興味関心を高める取組等や人材の育成）とハード面（環境づくり等）の両面について充実させる取組を進めていくことで、子どもの読書活動の推進につなげていきます。

また、若者のインターネットやSNS等の活用が増していることから、電子図書館の利用促進と蔵書の充実を図り、GIGAスクール構想による1人1台端末(タブレットPC)を使った読書の在り方なども推進する必要があると考えます。



第3章 子ども読書活動推進の基本方針

第1節 推進目標

子どもたちは読書を通して未知の世界や考え方を知り、想像力を働かせることで視野を広げ、自らの感性や創造力を磨くことができます。それはこれから未来を生きていく子どもたちにとって必要な豊かでしなやかな心を育むことにつながります。そこで推進目標を次の通り設定します。

子どもたちの自由な読書活動を通して、未来に向かって生きるための知性や創造力、そして豊かでしなやかな心を育成する

第2節 計画の基本方針

本計画では、上記の推進目標達成のために、次の3つの基本方針の下で子どもたちの育成を目指し、子どもの読書活動の推進に取り組みます。

基本方針1 子どもの発達段階に応じた読書活動を推進する

基本方針2 家庭、地域、学校を通じて社会全体で推進する

基本方針3 子どもたちの関心を高める啓発・広報活動を推進する

読書における子どもの発達段階の捉え

(子どもの読書活動の推進に関する有識者会議論点まとめ H30.3 より)

1 幼稚園・保育所等の時期（おおむね6歳頃まで）

乳幼児期には、周りの大人から言葉を掛けてもらったり乳幼児なりの言葉を聞いてもらったりしながら言葉を次第に獲得するとともに、絵本や物語を読んでもらうこと等を通じて絵本や物語に興味を示すようになる。更に様々な体験を通じてイメージや言葉を豊かにしながら、絵本や物語の世界を楽しむようになる。

2 小学生の時期（おおむね6歳から12歳まで）

小学校低学年では、本の読み聞かせを聞くだけではなく、一人で本を読もうとするようになり、語彙の量が増え、文字で表された場面や情景をイメージするようになる。

中学年になると、最後まで本を読み通すことができる子供とそうでない子供の違いが現れ始める。読み通すことができる子供は、自分の考え方と比較して読むことができるようになるとともに、読む速度が上がり、多くの本を読むようになる。

高学年では、本の選択ができ始め、その良さを味わうことができるようになり、好みの本の傾向が現れるとともに読書の幅が広がり始める一方で、この段階で発達がとどまったり、読書の幅が広がらなくなったりする者が出てくる場合がある。

3 中学生の時期（おおむね12歳から15歳まで）

多読の傾向は減少し、共感したり感動したりできる本を選んで読むようになる。自己の将来について考え始めるようになり、読書を将来に役立てようとするようになる。

4 高校生の時期（おおむね15歳から18歳まで）

読書の目的、資料の種類に応じて、適切に読むことができる水準に達し、知的興味に応じ、一層幅広く、多様な読書ができるようになる。

第3節 計画の体系

推進目標

基本方針

施策

子どもたちの自由な読書活動を通して、未来に向かって生きるための知性や創造力、そして豊かでしなやかな心を育成する

1 子ども発達段階に応じた読書活動を推進する

- ・ブックスタート活動の充実
- ・認定こども園における読書活動の取組の支援
- ・読み聞かせ活動の充実
- ・学校における読書活動の取り組みの支援
- ・読書習慣の形成
- ・読書コンシェルジュの協力
- ・ボランティア活動の充実

2 家庭、地域、学校を通じて社会全体で推進する

- ・「家読（うちどく）」の促進
- ・ノーメディアデーの促進
- ・家庭への啓発活動の推進
- ・図書館での読書の環境整備
- ・図書館での図書資料の充実
- ・本との出会い事業の充実
- ・障がい等がある子どもへの支援
- ・地域ボランティア団体の養成・支援
- ・認定こども園における園児の読書活動の推進
- ・学校図書館機能の充実
- ・校内の読書環境の充実
- ・学校図書活動の充実

3 子どもたちの関心を高める啓発・広報活動を推進する

- ・啓発・広報活動の推進
- ・関係機関との連携協力
- ・情報の収集と提供

第4節 推進のための指標

計画の推進目標実現のため、以下の6項目について子どもの読書活動の状況を把握して数値目標を設定し、その達成を図ります。

1 読書を「好き」または「楽しい」と感じている子どもの割合

区分	2021（令和3）年度	2026（令和8）年度
小学校2年生	71.8%	85%
小学校5年生	67.1%	85%
中学校2年生	70.2%	80%

2 子どもの1か月の平均読書冊数

区分	2021（令和3）年度	2026（令和8）年度
小学校2年生	4.3冊	5冊
小学校5年生	2.8冊	5冊
中学校2年生	1.6冊	5冊

3 1か月に1冊も本を読まない子どもの割合（不読率）

区分	2021（令和3）年度	2026（令和8）年度	参考 県2017年度
小学校2年生	8.7%	4%	4.2%
小学校5年生	20.5%	4%	
中学校2年生	18.7%	10%	11.9%

4 家族と本について話す機会がある家庭の割合（「よく話をする」「たまに話をする」の合計）

区分	2021（令和3）年度	2026（令和8）年度
小学校2年生	48.5%	60%
小学校5年生	48.7%	60%
中学校2年生	41.3%	50%

5 学校図書館の貸し出し冊数

区分	2020（令和2）年度	2021（令和3）年度上半期	2026（令和8）年度
小学校	12,599冊	6,253冊	15,000冊
中学校	1,254冊	604冊	3,000冊

6 町立図書館の子ども（18歳以下）の利用者数の割合

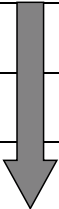
区分	2021（令和3）年度	2026（令和8）年度
子ども（18歳以下）	16.2%	20%

第4章 子ども読書活動推進のための施策

第1節 子どもの発達段階に応じた子どもの読書活動の推進

子どもの読書活動を推進するにあたり、発達段階を踏まえ、計画的に推進することが大切となります。そこで、それぞれの発達段階に応じたテーマを設定し、読書とのつながりを意識した支援をしていきます。そして、将来、読書を通して豊かなライフワークの実現を図っていくことができるよう支援の充実に努めます。

発達の段階		読書等とのつながり<テーマ>
1stステージ	乳幼児期	読書の楽しさと「出会う」
2ndステージ	小中学生期	読書のよさを「深める」
3rdステージ	高校生期	読書の世界を「広げる」



1 乳幼児期：「出会う」

(1) ブックスタート活動の充実

- ・乳幼児健診や赤ちゃん訪問の機会を活用し、絵本の紹介・配布を行い、絵本との出会いや子どもとの接し方について、親が学ぶ機会をつくるブックスタート事業を実施します。

(2) 認定こども園における読書活動の取組の支援

- ・それぞれの絵本や物語、紙芝居などに親しむ中で、興味関心が芽生え、読書の楽しさに出会えるよう努めます。
- ・保護者を対象にした講演会等を実施したり、国や県で作成したリーフレットを配布したりして、子どもの読書活動の重要性について保護者等の理解の促進に努めます。

(3) 読み聞かせ活動の充実

- ・「寝る前10分間の読み聞かせ」や家族で読書の時間をもつ「家読（うちどく）」運動の啓発を行い、読み聞かせ活動が充実するよう努めます。

2 小中学生期：「深める」

(1) 学校における読書活動の取組の支援

- ・「朝の読書」等の一斉読書運動、図書委員会が中心となり本の興味・関心を高める取組、授業における「調べ学習」での活用等への支援を行います。

(2) 読書習慣の形成

- ・家族みんなで好きな本を読み、読んだ本について話すことで家族のコミュニケーションを図り、家族のきずなを深める「家読（うちどく）」を充実させます。

3 高校生期：「広げる」

(1) 読書コンシェルジュの協力

- ・県の「高校生読書活動推進事業」等と連携し、高校生の読書への関心を高め、自主的・自発的な読書活動の推進に努めます。

(2) ボランティア活動の充実

- ・読み聞かせのボランティア活動等に取り組み、幼児や小学生に、読書の楽しさを伝えることができるよう支援していきます。

第2節 家庭における子どもの読書活動の推進

1 家庭における読書環境づくりの促進

子どもが基本的な生活習慣を身に付ける上で、家庭の役割がとても重要になります。特に、子どもの読書習慣は、親子の関わりを通して、絵本や物語と親しみ、進んで読書をしようとする態度を養っていきます。家庭において、子どもが読書の楽しさを味わうきっかけづくりとなることが望まれます。

(1) 「家読（うちどく）」の促進

- ・家族で読書の時間をもつ「家読（うちどく）」の啓発活動を充実させ、家庭における読書習慣の形成を目指します。

(2) ノーメディアデーの促進

- ・テレビやゲーム機、スマートフォン等、すべてのメディアの利用を控える日であるノーメディアデーを活用し、家庭で読み聞かせや「家読（うちどく）」の時間をつくり、親子のコミュニケーションを図ることができるよう努めます。

(3) 家庭への啓発活動の推進

- ・講演会やリーフレットにおいて、子どもの読書活動の重要性を周知し、家庭の中に本があり、読書が楽しめる環境づくりの推進に努めます。

第3節 地域における子どもの読書活動の推進

1 町立図書館における子どもの読書活動の推進

町立図書館は、子どもたちがたくさんの本と出会い、読書の楽しさを味わうことができる場所となります。また、必要な情報を調べることで学習の充実を図る場所でもあります。さらに、町立図書館は、町のセンター的機能としての役割があり、地域における読書活動を推進していくことが大切となります。

(1) 読書の環境整備

- ・子どもに勧めたい図書「子どもたちに読んでほしい本100選」「子どもに読んであ

げたい本」を作成し、図書の展示や紹介に努めます。

- ・読書相談、調べ学習支援などのレファレンスサービスの充実に努めます。
- ・「子ども読書の日」「読書週間」の周知や各種イベントの啓発・実施に努めます。
- ・電子図書館の導入について周知や図書館サービスのPRに努めるなど、図書館の情報化に努めます。
- ・認定こども園、小中学校、ボランティア団体等との連携に努めます。

(2) 図書資料の充実

- ・子どもにとって面白い本、楽しい本、保護者など大人の立場から子どもに読んでほしい本等について、把握のための調査・研究に努めます。
- ・子ども向けサービス事業に関する情報の収集や新刊図書の購入に努めます。

(3) 本との出会い事業の充実

- ・おはなし会、読書会、各種イベント、子ども司書体験等の実施に努めます。
- ・保健福祉機関や教育機関とのイベントの連携に努めます。
- ・保育教諭による絵本の読み聞かせ、素話、紙芝居、パネルシアター、エプロンシアター、人形を使ったお話などを積極的に実施します。
- ・本に親しむための図書館利用や見学を実施します。
- ・園児の年齢に応じた絵本リストの紹介など保護者へ情報提供します。
- ・保護者を対象とした子ども読書活動推進に係る講演会、研修会を実施します。
 - ※パネルシアター：お話ししながら、布のパネルにかわいい絵をペタペタ貼っていき、話を進めていく。ホワイトとブラックパネルがある。
 - ※エプロンシアター：エプロンをかけ、エプロンに縫ってある人形などでお話を進めていく。

(4) 障がい等がある子どもへの支援

- ・障がい等のある子どもたちのために、読書の楽しさを感じてもらえるよう、障がいに応じた図書の選定、電子図書館の積極的な活用に努めます。

2 民間団体等における活動の推進

地域の読書活動を推進するためには、ボランティアの養成や支援が大切となります。認定こども園、小学校、図書館において積極的に活動していただくために連絡調整等の支援をします。また希望者の資質の向上を図るために研修を実施します。

(1) 地域ボランティア団体の養成・支援

- ・研修会の実施や定期的な講演会の開催及び参加の働きかけに努めます。
- ・ボランティアグループの育成及び活動支援に努めます。
- ・図書館及び認定こども園や学校、公民館等における活動の場の提供に努めます。
- ・ボランティアグループのネットワーク化による情報交流や相互協力に努めます。

《参考》 那珂川町の子ども読書に関わるボランティア団体一覧

グループ名	対 象	開 催	内 容
おはなしボランティア「たまご」	乳幼児 小学生	第1木曜日 毎月1回	<ul style="list-style-type: none"> • 絵本の読み聞かせ (図書館・学校・認定 こども園・福祉施設) • 講習会・研修会 • 図書館催事補助 • 語り、お話し会、手 遊び、わらべ歌等
婦人ボランティア	3歳児～	第2土曜日 毎月1回	
小川ボランティア	〃	毎月第1土曜日	
馬頭高校ボランティア部	〃	第3日曜日 毎月1回	
那珂川町ジュニアボランティア ズクラブ	〃	第4土曜日 毎月1回	

第4節 学校等における子どもの読書活動の推進

1 認定こども園における園児の読書活動の推進

絵本や物語、紙芝居などに親しむことは、現実には自分の生活している世界しか知らない幼児にとって、様々なことを想像する楽しみと出会うこととなります。そのため、幼児期には、幼児が様々な本に触れる機会を増やすことが望まれます。

幼児が読み聞かせを通じて本に親しみ、読書の楽しさに触れ、一人読みで自分なりの感じ方や楽しみ方で絵本や物語の世界に浸ってそのおもしろさを味わうことは、小学生期における読書の習慣化への基礎を育みます。

(1) 子ども読書活動に関する啓発

- 認定こども園では、保育教諭一人一人が読書活動の意義を認識し、園児が絵本等に親しむ活動を積極的に実施するよう努めます。
- 保育教諭による絵本の読み聞かせを毎日実施するよう努めます。
- 園児が読書活動にさらに興味関心をもつような、紙芝居、パネルシアター、エプロンシアター、素話などを積極的に実施するよう努めます。
- 町立図書館について知ったり、多くの本に親しんだりできるよう、年長児による町立図書館の見学や利用に努めます。

(2) 保護者と子どもの読書活動に関する啓発

- 発達段階における読書の大切さを保護者に理解してもらうよう、講演会や読み聞かせ体験などを実施し、幅広く啓発していくよう努めます。
- 園児が絵本に親しむことができるよう、絵本の無償提供の実施に努めます。
- 読書活動推進に係る講演会や、親子で参加できる講師による読み聞かせの実施に努めます。
- 「家読(うちどく)」の啓発に努めます。

(3) 図書スペースと本の充実

- ・図書コーナーや保育室のレイアウトを工夫し、園児が本を手に取りやすい環境づくりに努めます。
- ・園児が多くの本に触れる機会を増やすよう、団体貸出の利用に努めます。

2 学校における子どもの読書活動の推進

小中学校学習指導要領では、「読書は、国語科で育成を目指す資質・能力をより高める重要な活動の一つである。」と示されています。児童生徒が読書の楽しさや有効性を実感しながら、日常生活の中で主体的・継続的に読書することによって知識や情報を得たり、新しいものの見方や考え方を知ったり、自分の考えを広げたりすることができるよう発達段階に沿って読書の質を意識しながら指導し、児童生徒の生涯にわたる読書活動の基盤を形成します。

(1) 学校図書館機能の充実

- ・児童生徒の読書の習慣化を図り、豊かな人間性と情操、創造性を育む場である「読書センター」としての役割を果たすよう努めます。
- ・児童生徒の知的好奇心を醸成する開かれた学びの場としての環境づくりなど、児童生徒の主体的な学習活動を支える「学習センター」としての役割を果たすよう努めます。
- ・児童生徒や教職員の情報ニーズに対応したり、情報活用能力を育成したりする「情報センター」としての役割を果たすよう努めます。
- ・学校図書事務員の配置を行い、学校図書館機能の充実を図るよう努めます。

(2) 校内の読書環境の充実

- ・児童生徒が読書に親しみ、幅広く進んで読書に取り組めるような場の整備を行い多くの場面で本に触れる機会が得られるよう、学校図書館を中心とした読書環境の充実に努めます。
- ・学校図書館の常時開館や業間休み、昼休みを活用した本の貸出の実施に努めます。
- ・長期休業中は貸出冊数を増やし、「子どもたちに読んでほしい本 100 選」を推奨して、長期休業中でも児童生徒が本に親しめるよう努めます。
- ・団体貸出を利活用し、児童生徒が様々な本に親しめるよう努めます。
- ・児童生徒がいつでも本を手に取り、読書や学習ができるような学級文庫の整備に努めます。
- ・児童生徒の要望の把握と、興味・関心を喚起するような図書の確保に努めます。
- ・那珂川町電子図書館への登録を推奨し、GIGAスクール構想による、1人1台端末（タブレットPC）を活用して、学校図書館以外の書籍も読めるような環境づくりに努めます。

(3) 学校図書活動の充実

- ・児童生徒が多く語彙や多様な表現に触れ、新たな考え方と出会う読書の機会を充実させるよう努めます。
- ・読書郵便、読書感想画、児童による読み聞かせ、「子どもに読んであげたい本」を読む活動等、図書委員会の活動の活性化に努めます。
- ・司書教諭や学校図書館担当職員、図書委員会による読書アドバイスやおすすめの図書紹介を行い、読書の幅を広げるよう努めます。
- ・ボランティアや教職員による読み聞かせを実施し、児童生徒が新しい本に出会ったり、本の楽しさを味わったりすることができるよう努めます。

第5節 子ども読書活動推進のための啓発・広報活動

1 啓発・広報活動の推進

子どもの読書活動を推進するためには、様々な取組について大人が理解し、その有効性を子どもに伝えていくことが大切であり、それにより、子どもの読書意欲を高め習慣づけを図ることが期待できます。そこで図書館や学校等関係機関が連携してあらゆる手段で広く情報を発信していくよう努めます。

(1) 「子ども読書の日」「読書週間」の周知と広報

- ・国、県と連携し毎年4月23日を「子ども読書の日」と設定し、その前後1週間を「読書週間」とすることを広報紙、ホームページ、リーフレット等にて周知・広報します。

*子ども読書の日：毎年4月23日。平成17年12月に公布された「子ども読書活動推進法」により制定され、子どもの読書にちなんだ関連行事が全国的に実施されている。

(2) 「図書館だより」の発行

- ・図書館の協力を得て図書館だよりを毎月発行し、各学校の協力を経て保護者地域に配布します。

(3) 「子どもたちに読んでほしい本100選」「子どもに読んであげたい本」の広報・啓発

- ・町図書館、学校図書館に「子どもたちに読んでほしい本100選」「子どもに読んであげたい本」を置き、ポップ等で紹介し読書を勧めます。
- ・借りたい本がいつでも借りられるよう、町立図書館が連携して提供できるようにします。

2 関係機関との連携協力

認定こども園、小中学校だけでなく町立図書館や民間団体が情報を共有し、同一歩調で子どもの読書活動の推進を発信することが重要です。話題の本や映画テレビの原作など、子ども読書活動推進のための最新的话题を同時展開で発信することによって読書意欲を喚起できるものと考えます。

(1) 町立図書館の小中学校への支援

- ・図書館の蔵書を小中学校に貸し出して読書の時間などに活用します。

(2) ハッピースローププランへの位置づけ

- ・認定こども園、小学校、中学校が連携して滑らかな接続を図るハッピースローププランに読書を通じた連携を位置付け、具体的な活動を促進します。

(3) 民間団体との連携

- ・民間団体のボランティアに依頼し、読み聞かせや紙芝居などを行います。

3 情報の収集と提供

多くの人々が子どもの読書活動の実態や国、県、町そして図書館、学校、認定こども園、民間団体等の様々な事業や取組に関する情報を共有することは、社会全体が一体となって子どもの読書活動を推進することに大きな影響があると考えます。結果として町民の興味や関心を高め、活動の活性化につながることを期待しています。

(1) 町立図書館による情報収集と提供

- ・図書館ホームページで各種情報を発信します。
- ・来館者からの意見、要望を募り運営に生かします。
- ・子ども世代におすすめの本をわかりやすく展示するなどの工夫をし、借りやすいよう情報発信します。

(2) 町による情報収集と提供

- ・町のホームページ、ツイッター等を利用し子どもの読書活動の周知をします。
- ・就学時健康診断で子どもの読書の重要性を伝えます。
- ・親世代の意見を広く収集し、各種事業に生かします。

資料編

資料 1

子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成 13 年 12 月 12 日法律第 154 号)

(目的)

第 1 条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第 2 条 子ども（おおむね 18 歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第 3 条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第 4 条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第 5 条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第 6 条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第 7 条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第 8 条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、4月23日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

子どもの読書活動に関するアンケート調査結果

実施期間 令和3年2月24日から令和3年3月12日まで

対象者 小学校2、5年生、中学2年生

小学校2、5年生の保護者、中学2年生保護者

調査結果

【児童・生徒編】

問1 あなたは、本を読むことが好きですか。(1つ選んで下さい)

項 目	小2		小5		中2	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 好き	26	36.6%	24	32.9%	33	35.1%
2 どちらかというが好き	25	35.2%	25	34.2%	33	35.1%
3 どちらかという嫌い	14	19.7%	19	26.0%	21	22.3%
4 嫌い	6	8.5%	5	6.9%	7	7.5%
合 計	71	100.0%	73	100.0%	94	100.0%

〈問1で1、2を選んだ人にお聞きします。〉

問2 あなたは、どのようなことをきっかけで本を読むことが好きになりましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

項 目	小2		小5		中2	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 小さい頃の読み聞かせ	22	14.3%	8	4.4%	15	5.8%
2 書店や図書館によく連れて行ってもらった	16	10.4%	19	10.4%	20	7.7%
3 家族や先生から勧められた	8	5.2%	7	3.8%	8	3.1%
4 本をプレゼントされた	13	8.4%	10	5.5%	12	4.6%
5 話題になっている本を読んで	4	2.6%	15	8.2%	22	8.5%
6 本が好きな友人・知人の影響を受けた	1	0.6%	6	3.3%	13	5.0%
7 家に本があった	27	17.5%	21	11.5%	23	8.8%
8 図書館でおすすめしていた本を読んで	4	2.6%	5	2.7%	11	4.2%
9 学校等で読書の時間があった	19	12.3%	20	11.0%	28	10.8%
10 テレビや映画の原作や関連本を読んで	7	4.5%	13	7.1%	30	11.5%
11 調べ学習がきっかけで	3	1.9%	6	3.3%	0	0.0%
12 読書感想文の課題で本を読んで	1	0.6%	5	2.7%	9	3.5%
13 図書館で見て興味を持った	15	9.7%	15	8.2%	15	5.8%
14 書店で見て興味を持った	11	7.1%	19	10.4%	27	10.4%
15 インターネットで興味を持った	2	1.3%	6	3.3%	17	6.5%
16 その他 ()	0	0.0%	3	1.6%	5	1.9%
17 特に理由はない	1	0.6%	4	2.2%	5	1.9%

〈問1で3, 4を選んだ人にお聞きします〉

問3 あなたは、なぜ本を読むことを嫌いになりましたか。あてはまるものすべてえらんでください。

項 目	小 2		小 5		中 2	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 むりやり本を読まされた	1	3.0%	2	3.2%	1	1.7%
2 読書かんそう文を書くのがいやだった	3	9.1%	10	16.1%	7	12.1%
3 読むのが難しい	6	18.2%	5	8.1%	2	3.4%
4 読むのに時間がかかる	3	9.1%	8	12.9%	14	24.1%
5 読んでもおもしろくない	1	3.0%	9	14.5%	9	15.5%
6 読むとつかれる	6	18.2%	10	16.1%	7	12.1%
7 読むのがめんどろ	9	27.3%	12	19.4%	15	25.9%
8 その他 ()	0	0.0%	2	3.2%	0	0.0%
9 理由はない	4	12.1%	4	6.5%	3	5.2%

問4 あなたは、1か月にどれくらい本を読みますか。1つ選んでください。(まんがやざっしはいれない)

項 目	小 2		小 5		中 2	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 1冊	8	11.6%	8	11.0%	37	40.6%
2 2冊	5	7.2%	10	13.7%	14	15.4%
3 3冊	6	8.7%	10	13.7%	9	9.9%
4 4冊	10	14.5%	8	11.0%	5	5.5%
5 5冊	11	15.9%	9	12.3%	8	8.8%
6 6冊	2	2.9%	0	0.0%	0	0.0%
7 7冊	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%
8 8冊	1	1.5%	2	2.7%	0	0.0%
9 9冊	2	2.9%	2	2.7%	0	0.0%
10 10冊	11	15.9%	2	2.7%	0	0.0%
11 その他	6	8.7%	7	9.6%	1	1.1%
12 0冊	6	8.7%	15	20.6%	17	18.7%
合 計	69	100.0%	73	100.0%	91	100.0%

問5 あなたは、1か月にどのくらいまんがを読みますか。1つえらんでください。

項 目	小 2		小 5		中 2	
	回答数	構成数	回答数	構成数	回答数	構成数
1 1冊	9	14.5%	5	9.1%	4	5.1%
2 2冊	5	8.1%	8	14.5%	10	12.8%
3 3冊	4	6.5%	3	5.5%	3	3.8%
4 4冊	2	3.2%	2	3.6%	10	12.8%
5 5冊	1	1.6%	5	9.1%	8	10.3%

6 6冊	1	1.6%	2	3.6%	2	2.6%
7 7冊	1	1.6%	4	7.3%	0	0.0%
8 8冊	1	1.6%	1	1.9%	4	5.1%
9 9冊	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
10 10冊	2	3.2%	5	9.1%	8	10.3%
11 その他	2	3.2%	8	14.5%	7	9.0%
12 0冊	34	54.9%	12	21.8%	22	28.2%
合計	62	100.0%	55	100.0%	78	100.0%

〈問4で12 0冊を選んだ人にお聞きします。〉

問6 本を読まないのはなぜですか。3つえらんでください。

項 目	小2		小5		中2	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 マンガや雑誌を読む	2	11.8%	5	11.6%	4	9.3%
2 音楽・ラジオをきく	0	0.0%	1	2.3%	5	11.6%
3 TV・ビデオ・DVDを見る	2	11.8%	5	11.6%	2	4.7%
4 ゲームをする	6	35.3%	10	23.3%	3	7.0%
5 インターネットをする	1	5.9%	5	11.6%	4	9.3%
6 友だちと遊ぶ	1	5.9%	2	4.7%	3	7.0%
7 べんきょうする	0	0.0%	1	2.3%	2	4.7%
8 スポーツをする	1	5.9%	1	2.3%	1	2.3%
9 けいたい電話やスマートフォンをつかう	1	5.9%	2	4.7%	8	18.6%
10 じゅくやならいごとがある	1	5.9%	3	7.0%	2	4.7%
11 読みたい本がない	1	5.9%	8	18.6%	5	11.6%
12 読むのがきらい	1	5.9%	0	0.0%	2	4.7%
13 その他 ()	0	0.0%	0	0.0%	2	4.7%

問7 あなたは、どんな本が好きですか。3つえらんでください。

項 目	小2		小5		中2	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 ものがたり	46	22.9%	35	18.4%	58	24.4%
2 古い時代の本	9	4.5%	2	1.1%	2	0.8%
3 し・はいく など	3	1.5%	1	0.5%	1	0.4%
4 絵本	38	18.9%	10	5.3%	10	4.2%
5 ずかん	35	17.4%	16	8.4%	8	3.4%
6 てつ学(生き方の本)	1	0.5%	3	1.6%	8	3.4%
7 でん記(人の一生を書いたもの)	3	1.5%	9	4.7%	11	4.6%
8 歴史の本	7	3.5%	12	6.3%	15	6.3%
9 せいじ・ほうりつ など	0	0.0%	2	1.1%	2	0.8%
10 算数・しぜん など	9	4.5%	10	5.3%	7	2.9%

1 1	げいじゅつ	4	2.0%	4	2.1%	6	2.5%
1 2	スポーツ	5	2.5%	8	4.2%	22	9.2%
1 3	ゲーム	16	8.0%	26	13.7%	22	9.2%
1 4	しゅみ	12	6.0%	19	10.0%	27	11.3%
1 5	タレント・げいのう人の書いた本	2	1.0%	3	1.6%	16	6.7%
1 6	学しゅうまんが	8	4.0%	24	12.6%	11	4.6%
1 7	その他 ()	3	1.5%	6	3.2%	12	5.0%

問8 あなたは、心にのこっている本やもう一度読んでみたい本はありますか。

項 目	小 2		小 5		中 2	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 ある	38	55.9%	33	50.0%	53	57.6%
2 ない	30	44.1%	33	50.0%	39	42.4%
合 計	68	100.0%	66	100.0%	92	100.0%

問9 あなたは、家族と読書について話をすることはありますか。1つえらんでください。

項 目	小 2		小 5		中 2	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 よく話をする	7	10.6%	4	5.6%	3	3.3%
2 たまに話をする	25	37.9%	31	43.0%	35	38.1%
3 あまり話をしない	18	27.3%	22	30.6%	27	29.3%
4 話をしない	16	24.2%	15	20.8%	27	29.3%
合 計	66	100.0%	72	100.0%	92	100.0%

問10 読書にはどのようないいことがあると思いますか。3つえらんでください。

項 目	小 2		小 5		中 2	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 言葉を覚えることができる	40	20.0%	40	17.8%	37	13.3%
2 かん字を覚えることができる	34	17.0%	22	9.8%	23	8.3%
3 かんがえる力がみにつく	36	18.0%	25	11.1%	23	8.3%
4 作文がじょうずになる	17	8.5%	16	7.1%	19	6.8%
5 ものしりになる	28	14.0%	44	19.6%	64	23.0%
6 かんどうする	9	4.5%	10	4.4%	21	7.6%
7 家族や友だちとの話しがふえる	3	1.5%	10	4.4%	9	3.2%
8 気分てんかんになる	11	5.5%	18	8.0%	22	7.9%
9 そうぞう力がみにつく	19	9.5%	32	14.2%	52	18.7%
10 わからない	2	1.0%	5	2.2%	3	1.1%
11 その他 ()	1	0.5%	3	1.3%	5	1.8%

問11 あなたは、学校の図書室を授業以外でどのくらいつかいますか。1つえらんでください。

項 目	小2		小5		中2	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 まい日	2	2.9%	0	0.0%	1	1.1%
2 1しゅう間に2～3回くらい	15	21.8%	10	13.9%	6	6.6%
3 1しゅう間に1回くらい	27	39.1%	15	20.8%	0	0.0%
4 1か月に2～3回くらい	6	8.7%	16	22.2%	17	18.7%
5 1か月に1回くらい	7	10.1%	12	16.7%	10	11.0%
6 1年間に2～3回くらい	6	8.7%	9	12.5%	0	0.0%
7 1年に1回くらい	2	2.9%	4	5.6%	0	0.0%
8 つかわない	4	5.8%	6	8.3%	57	62.6%
合 計	69	100.0%	2	100.0%	91	100.0%

〈問11 で8 「つかわない」をえらんだ人におききします。〉

問12 学校の図書室を使わないのはなぜですか。一つえらんでください。

項 目	小2		小5		中2	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 休み時間がみじかい	0	0.0%	1	25.0%	4	6.9%
2 読みたい本がない	1	25.0%	2	50.0%	25	43.1%
3 教室からとおい	2	50.0%	0	0.0%	5	8.6%
4 かりるのがめんどろ	1	25.0%	0	0.0%	13	22.4%
5 本がふるい	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%
6 その他 ()	0	0.0%	1	25.0%	10	17.2%
合 計	4	100.0%	4	100.0%	58	100.0%

問13 あなたは、町の図書かんにどのくらい行きますか。1つえらんでください。

項 目	小2		小5		中2	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 まい日	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2 1しゅう間に2～3回くらい	0	0.0%	1	1.4%	1	1.1%
3 1しゅう間に1回くらい	4	5.8%	3	4.1%	1	1.1%
4 1か月に2～3回くらい	5	7.3%	5	6.8%	8	8.6%
5 1か月に1回くらい	6	8.7%	9	12.3%	10	10.8%
6 1年間に2～3回くらい	23	33.3%	24	32.9%	23	24.7%
7 1年に1回くらい	6	8.7%	5	6.8%	9	9.6%
8 行かない	25	36.2%	26	35.7%	41	44.1%
合 計	69	100.0%	73	100.0%	93	100.0%

〈問13で8 いかないをえらんだ人にお聞きします。〉

問14 町の図書かんに行かないのはなぜですか。1つえらんでください。

項 目	小2		小5		中2	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 じゆく・ならいごとでいそがしい	9	39.2%	5	16.7%	3	7.1%
2 スポーツでいそがしい	3	13.0%	1	3.3%	0	0.0%
3 読みたい本がない	2	8.7%	7	23.4%	5	11.9%
4 とおいので行けない	1	4.3%	3	10.0%	3	7.1%
5 かりるのがめんどろ	3	13.0%	3	10.0%	9	21.5%
6 本がふるい	0	0.0%	1	3.3%	2	4.8%
7 きょうみがない	4	17.5%	6	20.0%	16	38.1%
8 その他 ()	1	4.3%	4	13.3%	4	9.5%
合 計	23	100.0%	30	100.0%	42	100.0%

問15 あなたは、町の電子図書かんをつかったことがありますか。1つえらんでください。

項 目	小2		小5		中2	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 つかったことがある	5	7.4%	7	10.0%	5	5.4%
2 聞いたことがあるがつかっていない	11	16.2%	31	44.3%	19	20.4%
3 聞いたことがない・しらない	52	76.4%	32	45.7%	69	74.2%
合 計	68	100.0%	70	100.0%	93	100.0%

〈問15 で1, 2をえらんだ人にお聞きします。〉

問16 あなたは、電子図書かんのことをどこでしましたか。あてはまるものすべてえらんでください。

項 目	小2		小5		中2	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1 町の図書かん	8	50.0%	14	30.4%	15	46.9%
2 こうほうなかがわ	1	6.3%	3	6.5%	3	9.4%
3 ケーブルテレビ	0	0.0%	1	2.2%	4	12.5%
4 学校	3	18.8%	13	28.3%	4	12.5%
5 家ぞく・友だち	4	25.0%	14	30.4%	5	15.6%
6 その他 ()	0	0.0%	1	2.2%	1	3.1%

問17 これまでより、本をたくさん読むには、どのようにすればよいと思いますか。あなたの考えを教えてください。

【小学校2年生の意見】

【自分】	【自分の家】
図書室に行くようにする	夜に本を読む
ゲームや、テレビだけじゃなく、本もたまにはよむ	時間を決めて本を読む(2分間)
本を読むじかんをつくる	読むかもしれない本をすすめてあげる。
絵だけ見ないで言葉も読むようにする	町の図書かんからかりてくる

本を買って自分の部屋を図書かんにする	よみたいなおもったときによむ
知らないことをたくさん調べる	ゲームの時間をへらす
空きじかんによむ	本を毎日読む
テレビの時間を少なくする	図書館に行く回数を増やす
しゅくだいをはやくおわらせる	本を借りる
図書館に週に1～2回行けばいいと思う	【学校・教室】
家にある本を全部読む	がっこうの図書室をもっとりようする
一週かんに1回はとしょしつにいく	あさのかいのまえにどくしょする日があるからそのときにいっぱいよむ。
詩をスラスラ読むようにする	外であそぶ時間やあそぶ時間をへらす
図書しつにできるだけ行く	休みじかん何かやることがないばあいは、本を読む
お家にある本を読んでみる	図書室を今よりもっと使う
図書室にたくさんかよう	置いてある本を読む
ゲームをやらない	
休みじかんやのこったじかんによめばよい	
町の図書館へ行ってみる	
図書館へ行けばいい	

【小学校5年生の意見】

【自分】	【自分の家】
本を読む時間を作る。	図書館に行く。
おもしろい本を作る	読みやすいところに置いておく。
図書館に行く。	家では読まない。
居間に本を置く。	家族と本屋さんに行く。
図書室に行く。	ゲームの時間を減らす。
読書の時間・習慣を作る。	「これを読む。」と目標を決めておくこと。
もっと知識を増やしたいと思うこと。	マンガではなく、おもしろそうな本を買ってもらう。
おもしろそうだった本はどんどん借りる。	本を読む時間があれば読む。
いろいろなジャンルの本をたくさん知ること	読む時間を増やす。
なるべく図書室や図書館へ行くようにする。	自分から好きな本を読む。
好きな本があれば読む。(続きがある本など。)	コロナがおさまれば、書店などに行きたい。
本に興味をもつ	本に興味を持つ。
本をすぐ読めるところに置いておく。	図書館などで本を借りて本を読む。
しょうせつ(アニメの)を読むといいと思う。	一日1冊読む
マンガでもいいから読み始める。	テレビやゲームをするより、読書をする。
進んで本をよむ。	興味のある本を置いておく。
一日1冊読む。	新しい本を入れる。

気になる本をかりてみる。	家族に図書館へ連れて行ってもらう。
できるだけ本を読む時間をつくる。	宿題を終えた後に、何ページか決めて読む。
同じ本を何回も繰り返し読む。	【学校・教室】
自分がひまなとき、ゲームやテレビで時間を過ごすのではなく、本を読んだり図書館などに行ったりする。	図書室の本を増やす。
習慣づける。	宿題に出ればよい。
ごほうび形式で本を読む。	空き時間には読書をする。
昔の自分よりも世界の知識を知る。	休み時間があるのか、確認すること。
	友達や先生とこの本は面白いなど、情報を交換する時間を作る。
	本を読む時間があればよむ。
	本だなの本をもっと増やす。
	興味のある分野を見つける。
	積極的に読む。
	図書室でさまざまな本を借りて読む。
	一日1冊読む
	休み時間がひまだったら、図書室へ行く。
	読書の時間に本を読む。
	図書室の本を1週間に2～3回読んでみる。
	本好きな友達にさそわれたり、友達をさそったりして図書館へ行く。
	休み時間や朝の読書の時間
	図書室でたくさん本を借りる。

【中学校2年生の意見】

【自分】	【自分の家】
本を買う	たくさん本を買ってもらう
いろいろな本に興味をもつ	本を買ってもらう。
本を借りたりして読む。本を読む時間を増やす。	気になる本を買う
たくさん読めばいいと思う。	お互いにすすめあう。
積極的に本に興味を持つ	好きな作者を見つける
学校や町の図書館の利用を増やす。	本のためのブースを作り、家族の関心を高める
図書館に行く	好きな本を共有する
書店に行き、多くの本とふれあう	ネットで良い本を見つけて読む
友人からオススメの本を聞く	本を読むかんきょうをつくる。
もっとほかのしゅるいの本をよむ	少しの時間でも読むように心がける。
自分で興味のある本を探す	本をおく
興味のある本は手にとってみてる	本を目につく場所においておく

本をいままでより、読もうと考える。	家に自分好みの本を置いておく。
車で移動しているすき間時間を使って本の良さを知る。	家族におすすめの本を聞く。
本に興味をもつ	家族と本屋に行く
自分の好きな物に関する本を読めばいいと思う。	好きな種類で良いから読む。
今時の小説とかをふやす。	本をみえるところにおいておく。(小説)
たくさん本を読んで、おもしろい本を探す。	メディアを使用している時間を読書にあてる。
自分が好きな分野を知る。	本をよむ
自分が興味を持った本を読む。	時間をつくる
本にもっと興味を持つ。	本をたくさんおく
まず、自分の好きなジャンルを見つける。	ひまなときに読む
おこづかいをためてかう	何か自分に合うような本がないか本だなを見る。
時間があまったら、SNSではなく、読書をする	家族の中でもっと本の話題を増やす一家族コオススメする。
自分の好きな本を見つける	本を読む時間を作る
自分の興味のあるテーマの本を探してみる。	本を買っておいておく
すきな本をよむ、必要な本をよむ	たくさん本をおく
おもしろい本をさがす	たくさん本を買い集める。
図書室に行く	少しでも暇な時間に本を読む時間にする。
興味を今までより持つ	ひまな時は、スマホではなく、本を読むようにする。
読みたいと思う本をみつける	目に入る場所においとく
マンガから読む。	どんな本があるか調べる
読みたくなるような本を見つける。	本を買う
ひまな時間を読書にあてる	メディアの使用時間を減らす。
興味のそそられる本を自分から見つけてゆく。	自分で本を買う
自分に合う本を見つけてみる。	本を自分の近くに置く。
自分が読みたい本をたくさん見つける。	親がもっている本をよむ。
インターネットなどで探す	【学校・教室】
習慣づける。	おすすめし合う
インターネット使用時間を減らし、その分を読書についやす	図書室でたくさん利用する。
毎日少しずつ読んでいく	おすすめの本の掲示
頑張る	いろいろなジャンルの本をおく。
図書館・図書室に行ったりする	好きな作者を見つける
時間を決める	図書委員が活発にうごく
「1日1時間読書をする」など読書をする時間や目標を決める。	読書時間を活用する。
好きそうなジャンルの本を探す。	おすすめの本とかをしてみる
好きな本を探す	家の自分の本をもってくる
週に3回は本を読むようにする。	本と友だちになる。

本をいっぱいかう	本を毎日持ち歩いて読む。
本に興味を持つ	本をおく
少し読んでみる	読む時間を長くする
書店や図書館に行く機会を増やす。	もう少し、読書の時間を長くする。
少しでも興味があれば読んでみる	図書室を利用する。
みんながおもしろいと思うものを1回読ませる。	知らない本でもためしに、読んでみる。
やらなければならないことを早く終わして時間を作る。	自分の好きな本を探してみる
本にきょうみをもつ。	休み時間の利用
	色々な種類の本をおく。
	話題になったものをおいておく。
	ひまな時（昼休み）は図書館に行ってみる。
	雨の日などは、図書室に行く
	休み時間の利用についての指導をする。図書館の活性化に努める。
	読書の時間や休み時間
	本をたくさんおく
	読書の時間に読む
	友達などの好きな本を読んでみる。
	先生のオススメの本についてのポスター作成（すでにやっている）
	朝の活動で読書の時間を増やす
	いろいろなぶんやの本をおく
	1週間に1回は図書室に行って本を借りたり、読んだりする。
	朝の会の前の時間に読む。
	雨の日で外に行けない時は本を読む。
	机にいれとく
	先生などにきく
	本を家から持ってくる。
	読みやすい、好きなものから読む
	学校にある本をよむ。

【保護者編】

問1 あなたは、本を読むことが好きですか。（1つ選んで下さい）

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
① 好き	39	28.1%	21	27.6%
② どちらかというが好き	52	37.4%	33	43.4%
③ どちらかという嫌い	44	31.7%	21	27.6%
④ 嫌い	4	2.9%	1	1.3%
合 計	139	100.0%	76	100.0%

〈問1で1, 2を選んだ人にお聞きします。〉

問2 あなたは、どのようなことをきっかけで本を読むことが好きになりましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
① 小さい頃の読み聞かせ	16	4.9%	7	3.8%
② 書店や図書館によく連れて行ってもらった	12	3.7%	7	3.8%
③ 家族や先生から勧められた	7	2.2%	2	1.1%
④ 本をプレゼントされた	14	4.3%	5	2.7%
⑤ 話題になっている本を読んで	34	10.5%	19	10.3%
⑥ 本が好きな友人・知人の影響を受けた	16	4.9%	7	3.8%
⑦ 家に本があった	22	6.8%	9	4.9%
⑧ 図書館でおすすめしていた本を読んで	8	2.5%	7	3.8%
⑨ 学校等で読書の時間があった	9	2.8%	10	5.4%
⑩ テレビや映画の原作や関連本を読んで	32	9.9%	18	9.8%
⑪ 調べ学習がきっかけで	8	2.5%	7	3.8%
⑫ 読書感想文の課題で本を読んで	7	2.2%	2	1.1%
⑬ もっと知りたいと思った	18	5.6%	16	8.7%
⑭ 図書館で見て興味を持った	23	7.1%	13	7.1%
⑮ 書店で見て興味を持った	37	11.4%	18	9.8%
⑯ 新聞や雑誌で興味をもった	10	3.1%	14	7.6%
⑰ インターネットで興味を持った	11	3.4%	6	3.3%
⑱ 自分の好きな作家ができた	27	8.3%	13	7.1%
⑲ 特にない	6	1.9%	2	1.1%
⑳ その他（ ）	7	2.2%	2	1.1%

〈問1で3, 4を選んだ人にお聞きします〉

問3 あなたは、なぜ本を読むことを嫌いになりましたか。あてはまるものすべてえらんでください。

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
① 子どもの頃、無理やり本を読まされた	2	2.2%	0	0.0%

② 読書感想文を書くのが嫌だった	21	23.3%	9	28.1%
③ 読むのが難しい	4	4.4%	2	6.3%
④ 読むのに時間がかかる	12	13.3%	2	6.3%
⑤ 読んでも面白くない	6	6.7%	3	9.4%
⑥ 読むと疲れる	10	11.1%	2	6.3%
⑦ 読むのが面倒	23	25.6%	7	21.9%
⑧ 理由はない	8	8.9%	7	21.9%
⑨ その他 ()	4	4.4%	0	0.0%

問4 あなたは、1か月にどれくらい本を読みますか。1つ選んでください。(まんがやざっしはいれない)

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
① 1冊～2冊	37	27.0%	30	40.5%
② 3冊～6冊	26	19.0%	13	17.6%
③ 7冊～10冊	2	1.5%	1	1.4%
④ 11冊以上	1	0.7%	0	0.0%
⑤ 読んでいない	71	51.8%	30	40.5%
合 計	137	100.0%	74	100.0%

〈問4 で5 「読んでない」を選んだ方にお聞きします。〉

問5 あなたが最近1か月の間に1冊も本を読まなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
① 読みたいと思う本がない	22	19.1%	9	16.7%
② 読むのが面倒	19	16.5%	6	11.1%
③ どの本が面白いかわからない	6	5.2%	4	7.4%
④ 文字を読むのが苦手	1	0.9%	2	3.7%
⑤ 読む必要性を感じない	7	6.1%	5	9.3%
⑥ 最近1か月はたまたま読まなかった	3	2.6%	2	3.7%
⑦ 読む時間がない	51	44.3%	23	42.6%
⑧ 本を買う経済的な余裕がない	2	1.7%	0	0.0%
⑨ 書店が近くにない	0	0.0%	2	3.7%
⑩ 図書館が近くにない	1	0.9%	0	0.0%
⑪ 近くの図書館に読みたい本がない	1	0.9%	0	0.0%
⑫ その他 ()	2	1.7%	1	1.9%

問6 あなたは、1日にどのくらいの時間、本を読んでいますか。

平日と休日のそれぞれでもっともあてはまるものに1つだけ選んでください。

【平日（1週間（休日を除く）の平均時間）】

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
① 2時間以上	0	0.0%	1	1.3%
② 1～2時間程度	6	4.4%	4	5.3%
③ 30分～1時間程度	17	12.5%	12	15.8%
④ 30分未満	25	18.4%	18	23.7%
⑤ ほとんど読まない	88	64.7%	41	53.9%
合 計	136	100.0%	76	100.0%

【休日】

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
① 2時間以上	2	1.5%	2	2.8%
② 1～2時間程度	12	8.8%	7	9.9%
③ 30分～1時間程度	27	19.9%	14	19.7%
④ 30分未満	21	15.4%	16	22.5%
⑤ ほとんど読まない	74	54.4%	32	45.1%
合 計	136	100.0%	71	100.0%

問7 あなたは本（電子書籍を除く）をどのように入手していますか。あてはまるものをすべて選んでください。

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
① 書店、古本屋などで購入	93	41.7%	49	47.1%
② オンライン書店で購入	44	19.7%	21	20.2%
③ 友人から借りる	10	4.5%	8	7.7%
④ 公共図書館から借りる（那珂I町以外の市町の図書館を含む）	43	19.3%	16	15.4%
⑤ 本は読まない	32	14.3%	10	9.6%
⑥ その他（ ）	1	0.4%	0	0.0%

問8 あなたは、携帯端末やパソコンなどの画面で本が読める「電子書籍」をどのように利用していますか。あてはまるものをすべて選んでください。

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
① 電子書籍の読み放題又はレンタルサービス （雑誌、マンガ限定の物は除く）	14	9.5%	9	11.8%
② 電子書籍を購入	14	9.5%	4	5.3%
③ 公共図書館の電子図書館サービス	9	6.1%	2	2.6%

④ 知っているが、利用したことはない	100	67.6%	55	72.4%
⑤ 知らないし、利用したこともない	10	6.8%	6	7.9%
⑥ その他（ ）	1	0.7%	0	0.0%

問9 あなたは、どんな分野の本が好きですか。また、那珂川町の図書館で充実を望む分野の本や電子書籍で読む分野の本はなんですか。それぞれの項目についてあてはまるものをすべて選んでください。なお、この質問での本には、教科書、参考書、マンガ、雑誌を含みます。

【好きな分野の本】 項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 哲学・宗教・心理	15	2.7%	9	2.6%
2 歴史・民俗・伝記	19	3.4%	8	2.3%
3 旅行・地理	26	4.7%	20	5.8%
4 社会・政治	5	0.9%	4	1.2%
5 法律	3	0.5%	1	0.3%
6 経済・ビジネス	12	2.2%	9	2.6%
7 金融・投資	4	0.7%	4	1.2%
8 コンピューター・情報科学	5	0.9%	8	2.3%
9 技術・工学・土木・建築	5	0.9%	3	0.9%
10 自然科学	15	2.7%	8	2.3%
11 医学・健康	29	5.2%	20	5.8%
12 福祉・介護	9	1.6%	8	2.3%
13 育児・教育	26	4.7%	14	4.0%
14 手芸・調理・家事	56	10.0%	35	10.1%
15 スポーツ・アウトドア	22	3.9%	15	4.3%
16 芸術・文化・デザイン	19	3.4%	7	2.0%
17 室内遊び（囲碁、将棋、ゲームなど）	6	1.1%	1	0.3%
18 言語・語学	6	1.1%	8	2.3%
19 小説	53	9.5%	31	8.9%
20 エッセイ・ノンフィクション	50	9.0%	32	9.2%
21 ライトノベル	10	1.8%	7	2.0%
22 児童書・絵本	40	7.2%	11	3.2%
23 マンガ	61	10.9%	28	8.1%
24 新聞・雑誌	45	8.1%	30	8.6%
25 洋書	1	0.2%	7	2.0%
26 資格テキスト	9	1.6%	13	3.7%
27 那珂川町や栃木の地域資料	2	0.4%	3	0.9%
28 統計書・年間・白書	0	0.0%	1	0.3%
29 その他（ ）	0	0.0%	0	0.0%
30 特になし	5	0.9%	2	0.6%

【図書館で充実を望む本】 項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 哲学・宗教・心理	8	1.8%	10	3.1%
2 歴史・民俗・伝記	12	2.8%	17	5.3%
3 旅行・地理	15	3.4%	11	3.4%
4 社会・政治	6	1.4%	8	2.5%
5 法律	6	1.4%	6	1.9%
6 経済・ビジネス	10	2.3%	8	2.5%
7 金融・投資	9	2.1%	6	1.9%
8 コンピューター・情報科学	10	2.3%	14	4.4%
9 技術・工学・土木・建築	7	1.6%	7	2.2%
10 自然科学	16	3.7%	14	4.4%
11 医学・健康	19	4.4%	19	5.9%
12 福祉・介護	14	3.2%	11	3.4%
13 育児・教育	26	6.0%	11	3.4%
14 手芸・調理・家事	37	8.5%	20	6.2%
15 スポーツ・アウトドア	13	3.0%	10	3.1%
16 芸術・文化・デザイン	19	4.4%	10	3.1%
17 室内遊び（囲碁、将棋、ゲームなど）	9	2.1%	9	2.8%
18 言語・語学	10	2.3%	11	3.4%
19 小説	25	5.7%	20	6.2%
20 エッセイ・ノンフィクション	14	3.2%	15	4.7%
21 ライトノベル	4	0.9%	8	2.5%
22 児童書・絵本	40	9.2%	15	4.7%
23 マンガ	27	6.2%	10	3.1%
24 新聞・雑誌	25	5.7%	8	2.5%
25 洋書	6	1.4%	7	2.2%
26 資格テキスト	16	3.7%	10	3.1%
27 那珂川町や栃木の地域資料	13	3.0%	13	4.0%
28 統計書・年間・白書	5	1.1%	7	2.2%
29 その他（ ）	2	0.5%	2	0.6%
30 特になし	13	3.0%	4	1.2%

【電子書籍で読む本】 項目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 哲学・宗教・心理	3	1.2%	6	3.3%
2 歴史・民俗・伝記	2	0.8%	4	2.2%
3 旅行・地理	9	3.6%	8	4.4%

4	社会・政治	4	1.6%	5	2.8%
5	法律	4	1.6%	2	1.1%
6	経済・ビジネス	9	3.6%	4	2.2%
7	金融・投資	6	2.4%	3	1.7%
8	コンピューター・情報科学	3	1.2%	4	2.2%
9	技術・工学・土木・建築	2	0.8%	2	1.1%
10	自然科学	6	2.4%	4	2.2%
11	医学・健康	10	4.0%	13	7.2%
12	福祉・介護	8	3.2%	8	4.4%
13	育児・教育	13	5.1%	7	3.9%
14	手芸・調理・家事	13	5.1%	12	6.6%
15	スポーツ・アウトドア	13	5.1%	4	2.2%
16	芸術・文化・デザイン	6	2.4%	5	2.8%
17	室内遊び（囲碁、将棋、ゲームなど）	5	2.0%	5	2.8%
18	言語・語学	6	2.4%	7	3.9%
19	小説	18	7.1%	11	6.1%
20	エッセイ・ノンフィクション	14	5.5%	7	3.9%
21	ライトノベル	4	1.6%	5	2.8%
22	児童書・絵本	13	5.1%	5	2.8%
23	マンガ	32	12.6%	17	9.4%
24	新聞・雑誌	16	6.3%	8	4.4%
25	洋書	2	0.8%	4	2.2%
26	資格テキスト	6	2.4%	7	3.9%
27	那珂川町や栃木の地域資料	5	2.0%	6	3.3%
28	統計書・年間・白書	3	1.2%	3	1.7%
29	その他（ ）	2	0.8%	1	0.6%
30	特にない	16	6.3%	4	2.2%

問10 あなたは、公共の図書館・図書室等をどのくらい利用していますか。1つだけ選んでください。

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 ほぼ毎日	0	0.0%	0	0.0%
2 週に数回	0	0.0%	0	0.0%
3 月に数回	22	16.3%	8	11.0%
4 数か月に1回	55	40.7%	27	37.0%
5 全く利用しない	58	43.0%	38	52.1%
合 計	135	100.0%	73	100.0%

問 1 1 あなたが1年以内に利用したことがある公共の図書館等は次のうちどちらですか。あてはまるものをすべて選んでください。

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 馬頭図書館	61	47.3%	16	29.6%
2 小川図書館	45	34.9%	23	42.6%
3 那珂川町以外の図書館	17	13.2%	10	18.5%
4 那珂川町電子図書館	6	4.7%	5	9.3%
5 那珂川町以外の電子図書館	0	0.0%	0	0.0%

問 1 2 あなたが図書館を利用する主な目的は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 本、雑誌を借りたり、返却したりするため	64	26.9%	29	29.0%
2 本、雑誌を閲覧するため	24	10.1%	10	10.0%
3 CD や DVD などを借りたり、返却したりするため	39	16.4%	16	16.0%
4 CD や DVD などの視聴のため	2	0.8%	1	1.0%
5 新聞を閲覧するため	3	1.3%	0	0.0%
6 調べ物（調査・研究）をするため	13	5.5%	6	6.0%
7 暮らしに役立つ情報を得るため	8	3.4%	8	8.0%
8 仕事に役立てるため	8	3.4%	3	3.0%
9 芸術活動に役立てるため	1	0.4%	0	0.0%
10 調べ物の相談をするため	0	0.0%	1	1.0%
11 子どもの読書を促すため	44	18.5%	10	10.0%
12 教養を深めるため	6	2.5%	4	4.0%
13 趣味や娯楽のため	13	5.5%	9	9.0%
14 勉強（学校・試験）のため	7	2.9%	1	1.0%
15 子ども向け行事に参加するため	4	1.7%	1	1.0%
16 講演会や講座に参加するため	0	0.0%	0	0.0%
17 インターネット利用のため	0	0.0%	0	0.0%
18 特に目的はない／わからない	2	0.8%	0	0.0%
19 その他（ ）	0	0.0%	1	1.0%

問 1 3 あなたが図書館を利用する際に、重視することは次のうちどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。

項 目	小学保護者		中学保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 未就学児を対象とした本の充実	27	14.5%	10	12.7%
2 小学生を対象とした本の充実	60	32.3%	12	15.2%
3 中学・高校生を対象とした本の充実	20	10.8%	15	19.0%

4 未就学児へのサービス（読み聞かせなど）	4	2.2%	1	1.3%
5 小学生へのサービス（工作会など）	24	12.9%	9	11.4%
6 中学・高校生へのサービス（進路研究、学習課題支援など）	13	7.0%	14	17.7%
7 地域の課題解決支援サービス	3	1.6%	4	5.1%
8 暮らしに関する課題解決支援サービス	3	1.6%	4	5.1%
9 仕事に関する課題解決支援サービス	7	3.8%	3	3.8%
10 法律情報サービス	2	1.1%	1	1.3%
11 医療・福祉情報サービス	7	3.8%	1	1.3%
12 高齢者へのサービス	2	1.1%	1	1.3%
13 障がい者へのサービス	3	1.6%	1	1.3%
14 外国人へのサービス	0	0.0%	0	0.0%
15 特にない／わからない	10	5.4%	0	0.0%
16 その他（ ）	1	0.5%	3	3.8%

問14 那珂川町の図書館に対する全体的な満足感について、あてはまるものに1つだけ選んでください。

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 満足	7	8.3%	5	12.8%
2 どちらかという満足	63	75.0%	24	61.5%
3 どちらかという不満	10	11.9%	10	25.6%
4 不満	4	4.8%	0	0.0%
合 計	84	100.0%	39	100.0%

〈問10 で5 全く利用しないを選んだ方にお聞きします。〉

問15 あなたが那珂川町の図書館をほとんど利用しない理由はなぜですか。あてはまるものをすべて選んでください。

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 どこにあるのかわからない	1	0.9%	1	2.1%
2 自宅や職場から遠い	5	4.5%	2	4.2%
3 駐車場が少なく利用しにくい	0	0.0%	0	0.0%
4 利用したい日や時間に開館していない	4	3.6%	7	14.6%
5 施設が古い	3	2.7%	1	2.1%
6 読みたい本や必要な資料がすくない	3	2.7%	4	8.3%
7 本が古い	2	1.8%	2	4.2%
8 高齢や病気のため行くことができない	0	0.0%	0	0.0%
9 子どもを連れて行きにくい	5	4.5%	1	2.1%
10 利用方法がわからない	2	1.8%	0	0.0%
11 借りるための手続きや返却が面倒	11	9.9%	5	10.4%
12 本（電子書籍を含む）は購入して読む	12	10.8%	6	12.5%
13 電子書籍の読み放題サービス等で十分	5	4.5%	1	2.1%

14 マスメディアからの情報で十分	4	3.6%	2	4.2%
15 インターネットからの情報で十分	21	18.9%	3	6.3%
16 特にない／わからない	23	20.7%	10	20.8%
17 その他（ ）	10	9.0%	3	6.3%

問16 あなたが図書館で行ってみたいボランティア活動はありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 本棚の整理	33	18.0%	23	20.9%
2 本の修理	27	14.8%	16	14.5%
3 絵本などの読み聞かせ	13	7.1%	9	8.2%
4 イベントの企画・実施	15	8.2%	9	8.2%
5 本の貸し出し・返却などの窓口業務	17	9.3%	9	8.2%
6 図書館の案内	0	0.0%	1	0.9%
7 本の朗読	3	1.6%	1	0.9%
8 行ってみたいボランティア活動はない	16	8.7%	7	6.4%
9 特にない／わからない	59	32.2%	35	31.8%
10 その他（ ）	0	0.0%	0	0.0%

問17 那珂川町の図書館の施設、設備について充実してほしいことはなんですか。あてはまるものをすべて選んでください。

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 子どもの調べ学習を行える場所の確保	53	18.1%	43	26.1%
2 資料・情報収集を行える場所の確保	12	4.1%	15	9.1%
3 図書館資料を閲覧する場所の拡充	14	4.8%	7	4.2%
4 町民同士の交流活動や学習活動の場の提供	5	1.7%	10	6.1%
5 図書館内の表示	4	1.4%	2	1.2%
6 自動貸出機や返却機の導入	24	8.2%	10	6.1%
7 館内でBGMを流すこと	9	3.1%	6	3.6%
8 飲食しながら過ごせるスペースの確保	29	9.9%	12	7.3%
9 Wi-Fiなどのインターネット環境	59	20.1%	31	18.8%
10 親子で利用できる環境	39	13.3%	16	9.7%
11 今のままでよい	9	3.1%	1	0.6%
12 特にない／わからない	30	10.2%	8	4.8%
13 その他（ ）	6	2.0%	4	2.4%

問18 那珂川町の図書館のサービスについて、充実してほしいことはなんですか。あてはまるものをすべて選んでください。

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 本や雑誌などの種類・冊数の増	43	22.8%	28	18.4%
2 貸出冊（点）数の増	4	2.1%	1	0.7%
3 古くなった本の買い替え	24	12.7%	15	9.9%
4 館内の検索機やインターネット検索システム	23	12.2%	13	8.6%
5 電子書籍等のデジタルコンテンツ	12	6.3%	12	7.9%
6 調べ物のお手伝い、調査相談	2	1.1%	2	1.3%
7 おすすめ本などの紹介	8	4.2%	8	5.3%
8 生涯学習に関する情報提供、相談学習	6	3.2%	6	3.9%
9 本の展示、講演会などの行事	1	0.5%	1	0.7%
10 セミナーや勉強会などの講座	8	4.2%	8	5.3%
11 子ども向けの行事	4	2.1%	4	2.6%
12 子どもの発達段階に応じた読書活動の支援	5	2.6%	5	3.3%
13 託児サービス	2	1.1%	2	1.3%
14 利用方法、サービスの周知	3	1.6%	3	2.0%
15 紙媒体による情報提供	0	0.0%	0	0.0%
16 ホームページ等による情報提供	7	3.7%	7	4.6%
17 借りた本の履歴が記録できるサービス	6	3.2%	6	3.9%
18 利用者のマナー向上の啓発	5	2.6%	5	3.3%
19 職員の対応・接遇	3	1.6%	3	2.0%
20 今のままでよい	15	7.9%	15	9.9%
21 特にない／わからない	8	4.2%	8	5.3%
22 その他（ ）	0	0.0%	0	0.0%

問19 あなたが図書館職員に求める、または向上を希望するスキルや知識はなんですか。あてはまるものをすべて選んでください。

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 図書館資料に関する総合的な知識	27	15.4%	14	14.0%
2 情報検索（収集）能力	9	5.1%	6	6.0%
3 各年代に合わせた読書案内	16	9.1%	8	8.0%
4 地域情報に関する知識	6	3.4%	4	4.0%
5 ビジネスの情報に関する知識	1	0.6%	1	1.0%
6 法律情報に関する知識	0	0.0%	0	0.0%
7 医療・福祉情報に関する知識	3	1.7%	0	0.0%
8 接遇・コミュニケーション能力	14	8.0%	13	13.0%

9 語学（外国語）能力	0	0.0%	4	4.0%
10 イベントなどの企画・提案力	7	4.0%	5	5.0%
11 読み聞かせ・手遊び技術	1	0.6%	2	2.0%
12 データベースの操作知識	1	0.6%	1	1.0%
13 HP や広報誌におけるデザイン力	2	1.1%	1	1.0%
14 関連団体の紹介	1	0.6%	0	0.0%
15 特にない／わからない	86	49.1%	41	41.0%
16 その他（ ）	1	0.6%	0	0.0%

問20 図書館運営について、ご意見などがございましたら、ご記入ください。

【小中学校保護者】

- ・図書館の蔵書に関する意見
個人ではなかなか手が出ない書籍や雑誌が充実してほしい。電子書籍で借りられる本の種類をもっと増やしてほしい、CD・DVDの充実 等
- ・図書館の環境づくりへの意見
小・中学生が自主的に利用したくなるような環境、季節ごとのイベントがいつも楽しみ。入口を開放的に子ども向けイベントの充実 等
- ・図書館の設備に関する意見
トイレの改善、入口スペースの有効活用良い、学習室の利用 等
- ・新型コロナウイルス感染症対策
検温器、消毒器 等
- ・図書館の開館時間に関する意見
夜遅くまで開館してほしい 等
- ・読書活動の普及に関する意見
たくさん本を薦めてほしい、等

[回答者について]

性別

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
男性	18	13.3%	8	10.8%
女性	116	85.9%	65	87.8%
答えたくない	1	0.7%	1	1.4%
合 計	135	100.0%	74	100.0%

年齢（令和3年3月1日現在）

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 10代	0	0.0%	0	0.0%
2 20代	2	1.5%	0	0.0%
3 30代	56	41.5%	16	21.3%
4 40代	70	51.9%	46	61.3%
5 50代	6	4.4%	10	13.3%
6 60代	1	0.7%	2	2.7%
7 70代	0	0.0%	1	1.3%
8 80歳代以上	0	0.0%	0	0.0%
合 計	135	100.0%	75	100.0%

職業

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 農林業	4	3.0%	0	0.0%
2 自営・自由業	12	9.0%	10	13.7%
3 会社員・団体職員	42	31.6%	28	38.4%
4 公務員	7	5.3%	6	8.2%
5 パート・アルバイト	54	40.6%	19	26.0%
6 学生	0	0.0%	0	0.0%
7 専業主婦・主夫	11	8.3%	9	12.3%
8 無職	2	1.5%	0	0.0%
9 その他（ ）	1	0.8%	1	1.4%
合 計	133	100.0%	73	100.0%

お住まいの地区

項 目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1 馬頭	30	22.4%	17	24.6%
2 健武	9	6.7%	2	2.9%

3	矢又	4	3.0%	0	0.0%
4	和見	3	2.2%	2	2.9%
5	小口	4	3.0%	2	2.9%
6	北向田	2	1.5%	2	2.9%
7	久那瀬	13	9.7%	0	0.0%
8	松野	5	3.7%	4	5.8%
9	富山	3	2.2%	2	2.9%
10	大内	1	0.7%	1	1.4%
11	大那地	0	0.0%	0	0.0%
12	盛泉	5	3.7%	1	1.4%
13	谷川	3	2.2%	0	0.0%
14	大山田下郷	2	1.5%	2	2.9%
15	大山田上郷	2	1.5%	0	0.0%
16	小砂	6	4.5%	0	0.0%
17	小川	23	17.2%	15	21.7%
18	吉田	0	0.0%	1	1.4%
19	谷田	3	2.2%	4	5.8%
20	白久	1	0.7%	2	2.9%
21	片平	2	1.5%	3	4.3%
22	高岡	2	1.5%	0	0.0%
23	東戸田	1	0.7%	0	0.0%
24	三輪	5	3.7%	4	5.8%
25	恩田	1	0.7%	1	1.4%
26	薬利	0	0.0%	0	0.0%
27	芳井	2	1.5%	2	2.9%
28	浄法寺	2	1.5%	2	2.9%
	合 計	134	100.0%	69	100.0%

那珂川町図書館協議会委員一覧

No.	氏 名	住 所	備 考
1	青木 敏之	那珂川町松野	副委員長
2	大金 順子	那珂川町大内	
3	岡安 正弘	那珂川町馬頭	町小中学校長会長
4	神長富佐子	那珂川町小川	
5	川島 優子	那珂川町馬頭	
6	高橋 美幸	那珂川町馬頭	
7	豊田イツ子	那珂川町吉田	
8	平山 紀子	那珂川町馬頭	委員長
9	星 美津子	那珂川町小川	
10	益子 純恵	那珂川町馬頭	教育民生常任委員会委員長

任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日

計画策定の経過

計画策定の経過

- R3. 2. 24～R3. 3. 12 子どもの読書活動に関するアンケート
- R3. 9. 14～R3. 10. 15 「子どもたちの読んでほしい本100選」調査
- R3. 10. 8 第1回那珂川町図書館協議会
- R3. 12. 10 第2回那珂川町図書館協議会
- R4. 2. 24 那珂川町教育委員会
- R4. 2. 28 那珂川町社会教育委員会

「子どもたちに読んでほしい本100選」「子どもに読んであげたい本」

募集期間 令和3年9月14日から10月15日まで

募集対象 町立図書館にて一般公募

小中学校保護者にアンケート調査

選定経過 那珂川町図書館協議会にて応募のあった作品の中から100作品を決定

「子どもたちに読んでほしい本100選」

幼児編

NO	タイトル	作者	おすすめの理由
1	14ひきシリーズ	いわむら かずお	自然を大切にしている分かりやすい表現で素晴らしい作品です。
2	おおきなかぶ	A・トルストイ	作中でのリズムが良く、挿絵もきれいな作品です。
3	ぐりとぐら	なかがわ りえこ	主人公が、かわいらしく親子で楽しめる作品です。
4	こんとあき	林 明子	お気に入りのぬいぐるみと一緒に読みたくなります。
5	はらぺこあおむし	エリック・カール	色使いがとてもきれいで、ページをめくるのが楽しみになる作品です。
6	ちょっとだけ	瀧村 有子	「子育てって、本当に素敵なことなんだ！」まっすぐに訴えかけてきます。
7	はじめてのおつかい	筒井 頼子	小さな子どもたちの心に寄りそう絵本です。親も一緒になって感動できます。
8	100階だてのいえシリーズ	いわい としお	遊びどころが詰まった内容です。絵がとてもかわいく楽しい絵本です。
9	おおきなきがほしい	佐藤 さとる	本が縦開きで、上へ上へと読み進めていくので、一緒に木登りをしているようでとても面白いです。
10	おばけかぞくシリーズ	西平 あかね	人間と似ている、けれどちょっとちがう生活に、子どもたちは興味津々です。
11	そらまめくんのベット	なかや みわ	そらまめくんが無くし物を探す途中で多くのものとふれあい、成長する様子を描いた作品です。
12	かさじぞう	せた ていじ	「善い行いは自分に返ってくる。」を子どもたちに分かりやすく伝えている作品です。
13	きつねとぶどう	坪田 譲治	切なくも、親子のかぎりない愛を描いた名作です。
14	くれよんのくろくん	なかや みわ	仲間外れになってしまったくろくんの切ない気持ちに共感し、そして迎えるハッピーエンドにほっとするお話です。
15	こぐまちゃんシリーズ	わかやま けん	絵が分かりやすく、特徴的などうぶつの姿が子どもたちの心に残ります。
16	しろくまちゃんシリーズ	わかやま けん	子どもたちに大人気のシリーズです。柔らかく暖かい雰囲気の良い絵本です。
17	だるまさんシリーズ	かがくい ひろし	自然と子どもとスキンシップを取りながら何度でも読みたくなります。
18	タンタンシリーズ	いわむら かずお	ページに大きく描かれた「たんたん」の表情がとても豊かなので、小さなお子さんでも感情移入して楽しめる絵本だと思います。
19	てぶくろ	エウゲーニー・M・ラチョフ	個性ある動物の表情が特に素晴らしい作品です。

20	どろんこハリー	シーン・ジオン	家族で過ごす幸せを感じながらこの絵本を読むことでしょう。読んだ後、親子共々楽しく穏やかな気持ちになれる名作絵本です。
21	ねずみくんシリーズ	なかえ よしを	作品に登場する動物たちの表情がとてもかわいくて分かりやすく、楽しい作品です。
22	ねずみのすもう	いもと ようこ	昔話らしい、おもしろく心温まるお話です。
23	へんしんとねる	あきやま ただし	読み聞かせはもちろん、自分で楽しめる絵本です。
24	りんごかもしれない	ヨシタケ シン スケ	発想力で、楽しく豊かに過ごす方法がぎゅっりつまった絵本です。
25	わにさんどきっ はいしゃさんどきっ	五味 太郎	患者のワニさんと人間の歯医者さんとの間におこる時々刻々の心理の落差や変化の妙を、みごとな手法で描いた抱腹絶倒のおもしろ絵本です。

小学校 低学年編

NO	タイトル	作者	おすすめの理由
1	100万回生きた猫	佐野 洋子	「だれかを愛せるというのは幸せなことだ。」とこの本は教えてくれます。
2	エルマーシリーズ	ルース・スタイル ス・ガネット	うまく知恵を使って困難を乗り越えられる点が見所です。
3	からすのパンやさん	加古 里子	からすのパンやさんが作るたくさんの面白いパン。低学年なら何度でも楽しく読める本です。
4	トガリ山のぼうけん	いわむら かず お	小さなネズミの目線になってみると、身近なものも驚きであふれていることが分かる作品です。
5	わすれられないおくりもの	スーザン・パー レイ	「大切な人は、心の中で生きている。」あたたかく、優しい気持ちになれる作品です。
6	てぶくろをかいに	新美 南吉	動物と人間の温かい愛で包まれた物語です。
7	あらしのよるにシリーズ	きむら ゆうい ち	本来、食う食われるの関係であるはずのオオカミとヤギが紡ぐ友情を超えた絆の話。最初からずっと切なくどこことなくはかない物語になっています。
8	おいしいのぼうけん	ふるた たるひ たばた せいいち	ねずみばあさんがすぐそばにいるような、子どもたちの汗がにじんだ手のひらの熱さが伝わってくるような気がする読み物絵本です。
9	おはなしばあさんと風来坊	川端 誠	娘のさちと協力して、夫に先立たれたおばあさんの心をなぐさめるといふ心温まる話です。力強い絵も見ごたえがあります。
10	かいじゅうたちのいるところ	モーリス・セン ダック	子どもの有り余るエネルギーや心に溜まっているものを思う存分発散、やっぱり最後に戻ってくるのはいつもの場所。安心感やお母さんのぬくもりなどを感じる読後感がとてもよい作品です。
11	かたあしだちょうのエルフ	おのき がく	エルフが生き生きと力強く描かれ、本当の優しさとは何かを訴えかけてきます。
12	しっばいにかんぱい!	宮川 ひろ	なにか失敗してしまった子どもたちを励まし、勇気づけてくれるお話です。
13	スイミー	レオ・レオニ	小学校の教科書に掲載されています。主人公のスイミーから未知なる新しい世界へ向かう時に勇気をもろうことのできる作品です。
14	ぞうのたまごのたまごやき	寺村 輝夫	子どもたちが、「ぞうはたまごを産まない」ということから生まれたお話ですが、特大のフライパンやかまどなど、規模の大きさが、面白い作品です。
15	だいじょうぶだいじょうぶ	いとう ひろし	優しいけど、ちょっぴり切なくなる絵本です。

16	とりあえずまちましよう	五味 太郎	「とりあえず、落ち着いてにっこり待つ。」これができるだけで、だいふ平和に過ごせる気がするお話です。
17	なつのいちにち	はた こうしろう	「暑い暑い夏の日。クワガタのいる山をめざしてぼくは走った。」ページの中からあふれだす夏を感じられます。
18	のはらうた	工藤 直子	かわいらしい表現がたくさん。読んでいて楽しくなります。
19	ノラネコぐんだんシリーズ	工藤 ノリコ	ストーリーもかなりしっかりしています。内容は明るくポップで、シリーズを通して読みやすいです。
20	ふたりはともだち	アーノルド・ローベル	小学校の教科書に掲載されています。大人が読んでも、こんな友情がうらやましいと思う作品です。
21	王様シリーズ	寺村 輝夫	「王さま」シリーズは、どれも滑稽でちょっぴり哀愁もあって面白いです。
22	としょかんライオン	ミシェル・ヌードセン	優しい気持やさみしい気持ち、申し訳ない気持ち、嬉しい気持ち。いろんな気持ちにさせてくれる素敵な絵本です。
23	モチモチの木	斎藤 隆介	真の勇気とは何かを問いかける感動の絵本です。
24	人魚姫	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	落ち着いた色合いの静かな海の世界。この絵の雰囲気、よりいっそう物悲しく感じました。
25	ふしぎ駄菓子屋 銭天堂	廣嶋 玲子	小学生向けの本ですが、説明書を読む大切さや注意事項を読む大切さ、人それぞれの悩みがあることを教えてくれる本です。

小学校 高学年編

NO	タイトル	作者	おすすめの理由
1	ざんねんないきもの事典	今泉 忠明	動物の残念な一面を知ることができ、生物に興味を持つ入り口になります。
2	ハリーポッターシリーズ	J.K ローリング	映像で見るのもよいですが、魔法道具などを想像しながら読むとより楽しめます。
3	モモ	ミヒヤエル・エンデ	この物語を読めば、時間に対する考え方が変わってしまうかもしれません。
4	十五少年漂流記	ジュール・ヴェルヌ	登場人物にも個性が感じられ、性格の不一致等により衝突することがあっても後腐れなくすっきり読めます。子ども向けに書かれたこともあり、読後感は清々しいです。
5	魔女の宅急便	角野 栄子	カタカナのなまえは想像が広がり、読み進めると、ジブリの映画のイメージよりも柔らかく神秘的です。
6	ハッピーバースデー 命かがやく瞬間	青木 和雄	いじめられ死を選ぼうとする友達を助けようと必死になったり、生きたいのに生きられない養護学校の子どもたちとの交流など様々な経験をして、人間として成長する様子が描かれています。大人はもちろん、子どもにも勧めたい作品です。
7	おおきな木	シェル・シルヴァスタイン	美しい挿絵とともに展開する物語は、何かを許し許されるというよりも、心が緩むような作品です。
8	ビブリア古書堂の事件手帖	三上 延	昔の文学作品とストーリーが絡み合いながら話が進んでいくとても面白い作品です。
9	かあちゃん取扱説明書	いとう みく	とてもあったかい気持ちになる本です。「かあちゃんはいつだってお見通し！」だと納得します。

10	ガラスのうさぎ	高木 敏子	市井の人の戦争体験は悲惨すぎました。子どもの目線で書いてあり、臨場感と当時の思いがひしひしと伝わってきます。
11	このあと どうしちゃう	ヨシタケ シンスケ	死を考えることで、生を改めて考えることができる、素敵なお話でした。死を考えることのできる絵本において、かつてこんなに笑える本はなかったと思います。
12	せかいいち うつくしいぼくの村	小林 豊	とにかく、絵がきれいで、ページをめくるのが楽しいです。
13	ゼロ弾きのゴージュ	宮沢 賢治	ふしぎな達成感を味わえる絵本です。
14	たたかいの人	大石 真	人間のプライドとは何か、そのために失うものがどれだけ大きいのか、こんな生き方があるのか、事実の重みに圧倒されます。
15	だれも知らない小さな国	佐藤 さとる	夢を叶える話でもあるのだと思いました。ぜひ子ども時代にこの作品に出会ってほしいと思います。
16	ドリトル先生シリーズ	ヒュー・ロフティン グ	動物を愛してやまない人が安心して読める、動物達への愛が溢れている、楽しくあたたかめで爽快な作品です。
17	ナルニア国物語シリーズ	C・S・ルイス	名作と言われるだけあって面白い！子どもの頃に読んでおきたかったとも思いますが、大人になっても楽しめます。
18	ねらわれた星	星 新一	子どもにはレベルが高いような話も含まれていて驚きました。だからこそ子どもに読ませたい本でもあります。
19	びりっかすの神さま	岡田 淳	最後に子どもたちが たどり着いた答えが、感動的。そして、ラストページまで読者の心をつかんで離さない展開に、読み終えて大きな満足感が残る、一冊です。
20	ぼくらシリーズ	宗田 理	ぼくらシリーズをもう何回も読んでいます。何度読んでも飽きなくておもしろいです！！
21	マジック・ツリーハウスシリーズ	メアリー・ポープ・ オズボーン	久しぶりに読み返すとその頃の記憶がわずかながら蘇ってきました。今も残る歴史への好奇心はここが出発点だったのかもしれない。子どもでも読みやすい作品なのでおすすめです。
22	引き出しの中の家	朽木 祥	実はそんな世界もあるんじゃないかと、本の内容に吸い込まれるような素敵なお話です。
23	銀河鉄道の夜	宮沢 賢治	幻想世界のお話ですが、心地よい夢旅行を体感できました。
24	十年屋シリーズ	廣嶋 玲子	それぞれの“大切なもの”をめぐる不思議であたたかい物語です。
25	星の王子さま	サン=テグジュペリ	普段の生活は、奇跡的なことで、当たり前だとは思ってはいけないと改めて感じる作品です。
26	守り人シリーズ	上橋 菜穂子	舞台となるのは、異界と人の世界が交錯する世界。ヒューマンドラマでシリーズを通して楽しめる作品です。
27	赤毛のアン	ルーシー・モード・ モンゴメリ	空想好きのアンが、学校や家庭で繰り広げるエピソードの数々。作品の舞台となっているアヴォンリーがとても美しいと感じさせる作品です。
28	雪渡り	宮沢 賢治	雪の中でも暖かさがあり、キツネたちの表情の豊かさや作品の中の詩の響きの良さが胸にのこる作品です。

29	冒険者たち ガンバと15ひきの仲間	斎藤 惇夫	作品に登場するネズミたちのセリフが胸に響く名作です。
30	夢をかなえるゾウ	水野 敬也	自分のこれからをどのようにしたいかを考えることのできる作品なので、おすすめです。

中学生編

NO	タイトル	作者	おすすめの理由
1	かがみの孤城	辻村 深月	「自分」とはなにか、人とかがわかることはどういうことか人間関係など様々なことを考えることができる作品です。
2	橋のない川	住井 すゑ	部落差別を取り上げた本ですが、この時期にぜひ読んでほしい作品です。
3	空想科学読本	柳田 理科雄	ゲームやアニメ、漫画のキャラクターが現実だったら？ありえない現象に思わず笑ってしまいます。
4	アンネの日記	アンネ・フランク	戦争やユダヤ人への迫害について、アンネの目を通して考えることができます。
5	こども六法	山崎 聡一郎	子ども向けに法律をわかりやすく伝えています。
6	時をかける少女	筒井 康隆	時間と記憶をめぐるSF小説。思春期の少女が体験した不思議な世界と、甘く切ない思いを描いています。時を超えて愛され続ける物語です。
7	ばくはイエローでホワイトでちょっとブルー	プレイティみかこ	多様性について考えるのにピッタリな話。無知のくだりが特に良かったです。
8	ワンダー	R・J・パラジオ	生まれつき顔に障がいを持っている子の学校生活を描いた本です。
9	星の旅人	小前 亮	伊能忠敬の足跡を少年の視点で描く歴史読み物です。
10	西の魔女が死んだ	梨木 香歩	何事も自分で考え判断することや自立への葛藤の末の少女の成長を描いた作品です。
11	友だちいないと不安だ症候群につける薬	斎藤 孝	「友だちいない自分は変？」別になんてことはないと思える作品です。
12	数字でわかる!こどもSDGs: 地球がいまどんな状態かわかる本	バウンド	今が旬。「世界に目を向けてみよう。」という気持ちでよみたいです。
13	フェイクニュースがあふれる世界に生きる君たちへ	森 達也	情報が多い時代に、何が真実かメディアリテラシーを身に付けてほしい。という気持ちでお勧めします。
14	犬部!	片野 ゆか	行き場を失った犬や猫を救うために奔走する現役獣医学生たちのお話です。
15	カラフル	森 絵都	生前の罪を負った主人公が自殺を図った中学三年生の少年の体に「ホームステイ」し、自分の犯した罪とは何かを思い出していく不朽の名作です。
16	桜風堂ものがたり	村山 早紀	桜風堂という書店に訪れたお客さんとの物語です。
17	オルゴール	朱川 湊人	親と東京に住む小学生のハヤトは、同じ団地のトンダじいさんから「一生に一度のお願い」と古いオルゴールを鹿児島に届けることを頼まれます。その旅を通じた少年の成長物語です。
18	失はれる物語	乙一	どういう結果になるのかドキドキする読みやすい短編集です。
19	きみの友達	重松 清	友だちとは？小学校のある事件から大人になるまでを描いた物語です。

20	世界のはての少年	ジェラルディン・マ コックラン	1727年に、実際にこの地で起きた史実を 基に書かれた、孤島に取り残された12人 のサバイバル物語です。
----	----------	--------------------	--

「子どもに読んであげたい本」

NO	タイトル	作者	おすすめの理由
1	ぼくを探しに	シェル・シルヴァス タイン	その人その人それぞれの感じ方があり、自 分探しもまたそれぞれの考え方があるこ と分かる作品です。
2	どんなにきみがすきだかあ ててごらん	サム・マクブラッド ニィ	子どもがウサギのまねをしたり、好きを表 現してくれたりします。家族のコミュニケ ーションが増える作品です。愛情を言葉だ けではなく、本の内容で伝えることができ る作品です。
3	いやいやえん	中川 李枝子	短い話が入った絵本なので、読み聞かせで 1話ずつ読むのがおすすめです。
4	へいわってすてきだね	安里 有生	平和についての確に言い表している、子ど もと一緒に平和を考えるのにぴったりの絵 本です。
5	世界は気になることばかり	五味 太郎	違った視点から物を見てみると、違った新 たな発見があります。そして仕掛け絵本 のように楽しんで読めます。
6	いくらなんでもいくらくん	シゲタ サヤカ	どんな姿にも変身できるいくらくん。子ど もの心をつかめるストーリーで楽しめま す。
7	たいせつなこと	マーガレット・ワイ ズ・ブラウン	当たり前だけど大切なことを、美しい挿 絵とともに語り掛けてくれています。家族 を抱きしめたくなる作品です。
8	うずらちゃんのかくれんぼ	きもと ももこ	うずらちゃんと一緒に、楽しいかくれんぼ 遊びのできる絵本です。
9	ことらちゃんの冒険	石井 桃子	どのお話もかわいくて、面白くて、子ど もと楽しく読める作品です。
10	イソップ物語	アイソーボス	イソップ物語には多くのお話があり、読み 聞かせも子どもたちに合わせて読む本を 変えられるのでおすすめです。
11	これはのみのびこ	谷川 俊太郎	子どもたちが声に出して読みたくなる絵 本です。読んでいる大人も楽しめます。
12	どうぞのいす	香山 美子	「どうぞ」にこめられたやさしさが伝わ ってくる絵本です。
13	にじいろのさかな	マーカス・フィスタ ー	とにかく挿絵がきれいです、お話もいろ いろ考えさせられますのでぜひ一度手に取 って読んでいただきたい絵本です。
14	落語絵本シリーズ	川端 誠	テンポがとてもよく読みやすいです。子 どもに落語を知ってもらうには、楽しく 読めるのでお勧めです。
15	とべ バッタ	田島 征三	ちょっと自信をなくしかけている子ども に読みたいです。読むだけで子どもに力 を与えることができる作品です。
16	しもつけの伝説シリーズ	栃木県連合教育会	栃木県の伝説について、子どもでも分 かりやすく描かれている伝記です。
17	フレデリック	レオ・レオニ	子どもにも分かりやすい表現ながら大人 でも楽しめる奥深さがある作品です。
18	ねないこだれだ	せな けいこ	「怖いもの見たさ」という感じでドキ ドキしますが子どもといろいろな事を教 えてくれる絵本です。
19	ぐるんぱのようちえん	西内 ミナミ	「一生懸命やったことはムダにならない。」 というハッピーエンドの絵本です。読後 は、子どもとほっこりしました。

20	よかったねネッドくん	レミー・シャーリップ	この作品は、子どもはもちろん、大人が聞いてもドキドキして面白い作品です。思わず一緒に応援したくなります。
21	もこもこもこ	谷川 俊太郎	声に出して読んでもらおうと、初めてそのおもしろさがわかる絵本です。
22	パンダ銭湯	つぺらつぺら	ストーリーがあっさりしていますが、小物の描画などが微妙に凝っていて面白い作品です。是非、子どもだけでなく、大人にも読んで欲しいオススメの一冊です。
23	みんなのおすし	はらぺこめがね	まるでお寿司屋さんにいるようなライブ感たっぷりの楽しい絵本です。
24	ごんぎつね	新美 南吉	小学校の教科書に掲載されています。ゴンの可愛らしさやひたむきさが伝わり、子どもには読み聞かせたり、読み深めさせたい物語です。
25	1つぷのおこめ	デミ	マジックのような面白い感覚とともに、生きていく知恵が詰まった絵本でした。

*今後も継続して募集し追加する予定です。



那珂川町子ども読書活動推進計画(第3期)
令和4年3月
那珂川町教育委員会 生涯学習課
〒324-0692 栃木県那須郡那珂川町馬頭 555
Tel 0287-92-1135
Fax 0287-92-3039